
レンタサイクル利用実態調査 報告書

平成 30 年 10 月
水戸市

－ 目 次 －

1. 調査概要	1
2. 調査時期・期間、目標サンプル数	1
3. 収集データと調査実施方法	1
4. 期間中の主要施設におけるイベント情報	8
5. 調査結果	9
5.1. サンプル数の取得状況	9
5.2. 利用者の属性	10
5.3. 移動経路	20
5.4. 水戸市サイクリングマップとの比較	28
5.5. バス路線図との比較	29
5.6. 滞在場所及び滞在時間	30
5.7. 利用時間	38
5.8. 利用目的の整理	39
5.9. レンタサイクルを利用した時間帯	44
5.10. 属性別の集計	45
5.11. 水戸の梅まつり期間と平常時の利用実態のまとめ	109

1. 調査概要

水戸観光コンベンション協会が運営する既存のレンタサイクルの利用者について、位置情報技術を用いて以下のことを調査した。

- ① 属性（性別・年代・居住地）
- ② 移動経路及び利用時間（経由地及びその場所における滞在時間も含む）
- ③ レンタサイクルを利用した時間帯・日時

2. 調査時期・期間、目標サンプル数

調査実施の時期・期間、目標サンプル数は、以下の通りである。

表 1 調査時期、期間と目標サンプル数

調査時期	調査期間	目標サンプル数
第 122 回水戸の梅まつり期間中	2018 年 3 月 2 日(金) ～2018 年 3 月 16 日(金)	合計で 100 サンプル
平常時	2018 年 4 月 9 日(月) ～2018 年 4 月 22 日(日)	

3. 収集データと調査実施方法

南口貸出所 11 台（すべて普通自転車）、北口貸出所 18 台（すべて電動自転車）にサドルバッグを設置した。利用者に貸し出す際に調査協力を依頼し、同意を得られた場合にサドルバッグ内に GPS 機器を設置し、以下の情報を収集した。

なお、グループでの利用の場合は、移動経路は全員同じであると考えられるため、代表者一人のみに GPS 機器の設置を依頼した。従って、サンプル数は調査に協力いただいたグループ数である。

表 2 収集データ

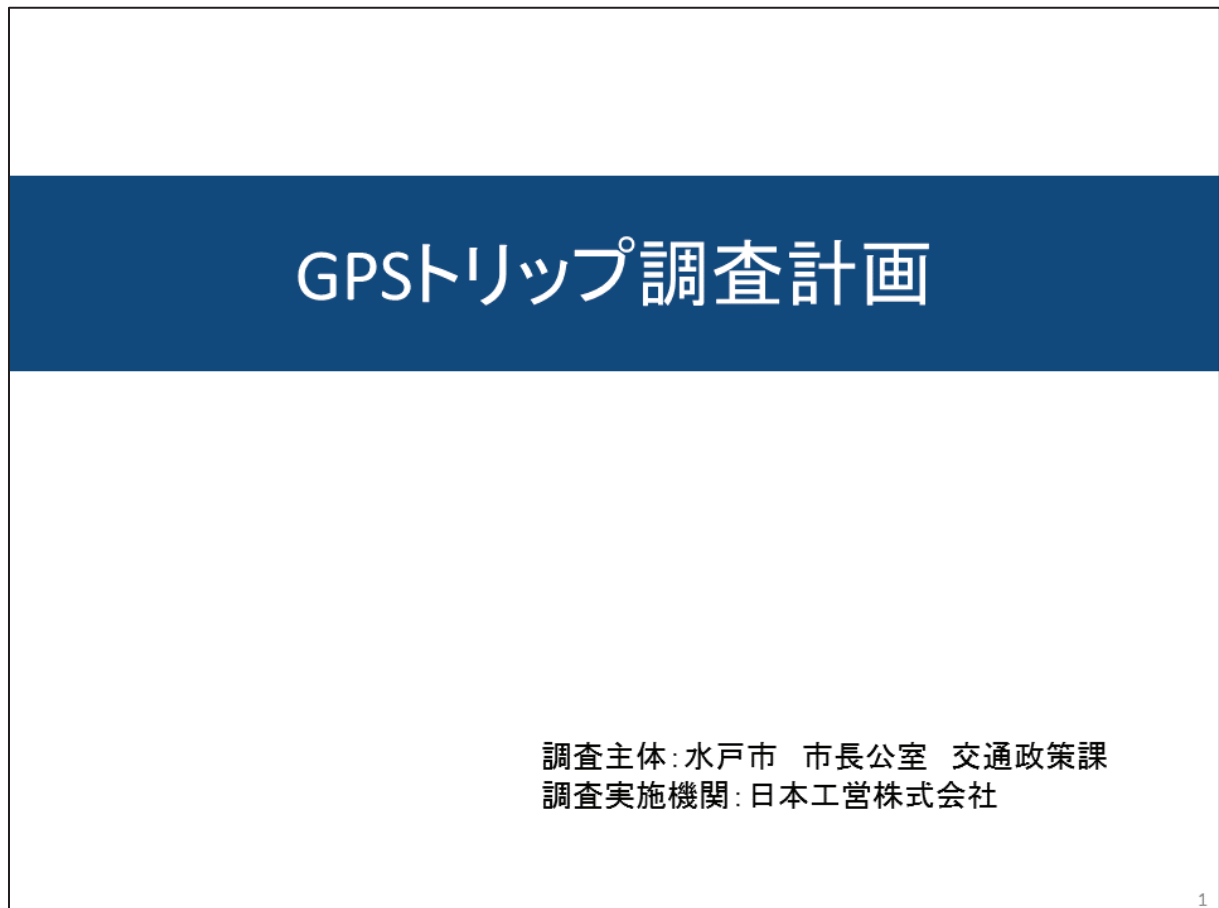
調査項目		調査方法
属性情報	性別	調査員（駐輪場職員）が見た目から判断
	年齢	
	居住地	利用申込用紙から読取り
	利用車両	
	利用目的	立ち寄った場所から判断
位置情報	緯度経度	GPS 機器の記録から読み込み
	走行速度	

なお、調査実施は各貸出所の職員に依頼した。調査内容と調査手順の周知徹底のため、事前に各貸出所の職員に対して説明会を開催し、調査実施中は作業マニュアルを手元に置いていただき、確認しながら調査を実施していただいた。

以下に、調査計画書（事前説明会資料）と作業マニュアルを示す。

■調査計画書（事前説明会資料）

図1 調査員への事前説明会資料



①レンタサイクル調査 調査の概要

- 既存の水戸市のレンタサイクルの自転車にGPS機器を設置
- 貸出日におけるレンタサイクルの利用実態を調査する
 - ①第122回水戸の梅まつり期間中の土日休日と平日の各2日以上
実施予定期間:3/2(金)～3/16(金) ※サンプル数確保のため2週間実施
 - ②平常時の土日休日と平日の各2日以上
実施予定期間:4/2(月)～4/16(月) ※サンプル数確保のため2週間実施
 - ③調査対象10台(南口貸出所5台、北口貸出所5台)
 - ④上記①②を合わせて100サンプル以上を目標とする
- 使用機器 canmore製(機器の概要は次ページ参照)

2

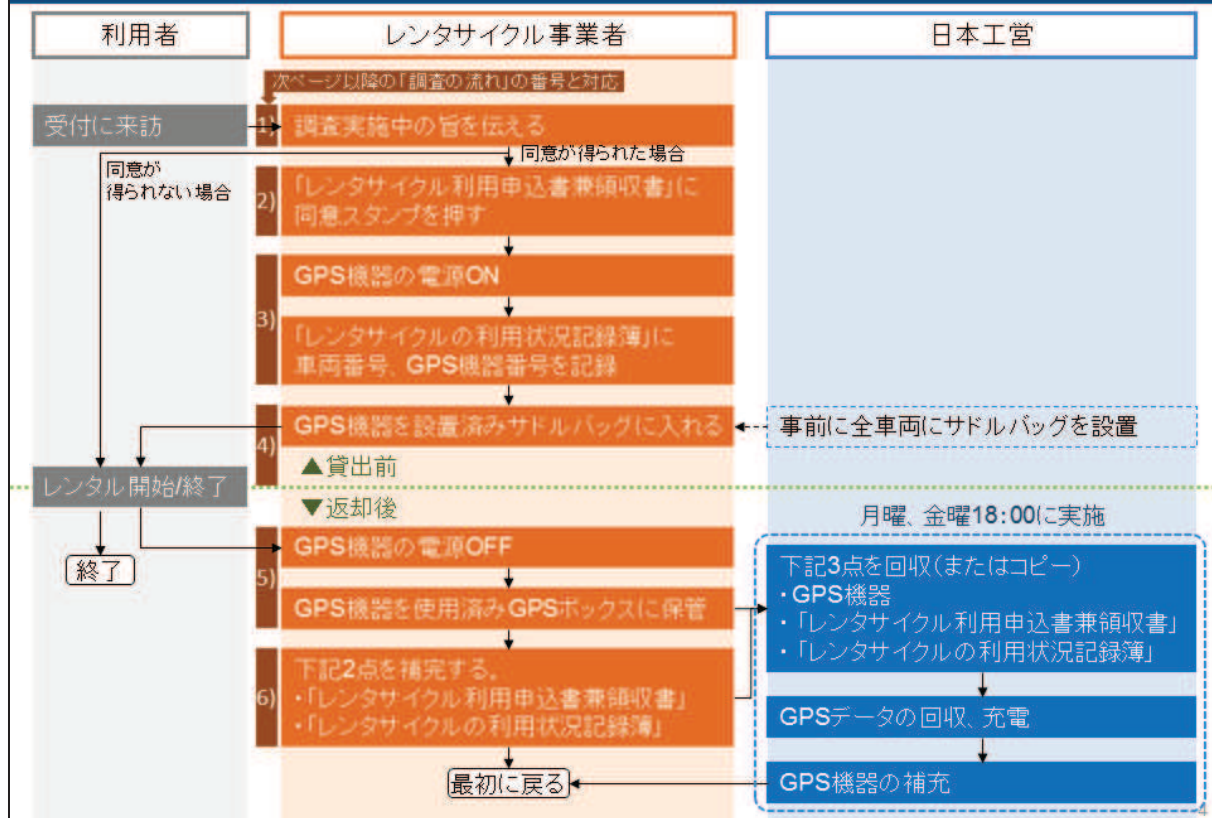
②GPS機器の概要

- GT-730FL-S USB dongle ロガー canmore製
- SIRF-IV採用 48チャンネル
- USB端子をCOMポートとして使用するドライバー(CD内にDriverフォルダ内に収録)をインストールしてから利用。
- コールドスタート 34秒
- ホットスタート 1秒
- サイズ 77.48(L) X 28(W) X 17.77(H)mm
- 重量 33g
- 動作温度 -40℃～85℃
- 充電式、電池は10～12時間程度持続
- 1秒ピッチで1日～2日分は取得可能



3

調査の全体フロー



③調査の流れ

1) 受付時に、調査実施中の旨を伝えてください。

- 調査中であり、GPS機器を自転車に取り付ける旨を伝えてください。

【例】「レンタサイクルの利便性向上に向けた調査を実施中で、自転車にGPS機器を取り付けております。特別やっていただくことはなく、普段通りにご利用していただければ幸いです。また、個人情報か特定されることはありませんので、ご安心ください。調査にご協力いただいてもよろしいでしょうか？」

※利用者向けの調査の案内を、受付に設置させてください。→写真①

2) 同意をいただき、同意スタンプを押してください。

- 調査に同意いただけた場合は、「レンタサイクル利用申込書兼領収書」に同意スタンプを押してください(原本、控えの2枚に押す)。→写真②

※同意いただけなかった場合は、無理に協力していただく必要はありません。

※グループでの利用に対しては、原則として、その中の1名を調査対象としてください。

写真①：調査の案内



写真②：同意スタンプ



③調査の流れ

3)GPS機器の電源を入れ、車両番号、GPS機器番号を記録してください。

- ・(1)未使用GPSボックスからGPS機器を一つ取り出し、(2)GPS機器の電源を入れ、(3)「レンタサイクルの利用状況記録簿」の記入欄左側に、調査対象の「車両番号」(1、2、3...)と「GPS機器番号」(A、B、C...)を記録してください。→写真③④

4)GPS機器と自転車の貸し出しをしてください。

- ・GPS機器をサドルバッグに入れ、貸し出ししてください。
- ※すべての自転車に、予めサドルバッグの設置をさせていただきます。

5)自転車が返却されたら、GPS機器を回収してください。

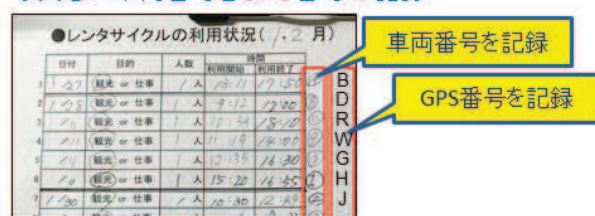
- ・自転車が返却されたら、(1)サドルバッグからGPS機器を回収し、(2)電源をOFFにし、(3)使用済みGPSボックスに入れ、保管してください。
- ※GPS機器は使い切りとし、一度使ったGPS機器は、二度使わないでください。
- ※月曜日と金曜日に、日本工営がGPS機器の回収、交換をします。

6)「レンタサイクル利用申込書兼領収書」と「レンタサイクルの利用状況記録簿」を保管してください。

写真③：電源スイッチ



写真④：車両番号とGPS番号の記録



6

④GPS機器の設置場所

荷台等に設置します。
(事前にすべての車両に設置)



サドルバッグ



GPS機器

お願いするGPS機器の操作は以下の通りです。

- ・電源の入れ切り
- ・サドルバッグへの設置、回収



電源
スイッチ

7

GPS調査にご協力をお願いします！

【調査主体】水戸市 市長公室 交通政策課

【調査実施機関】日本工営株式会社

**GPS機器を搭載したレンタサイクルに乗っていただき、
通常通り、利用していただくだけです。**

《調査の概要》

- 調査の目的 : 水戸市レンタサイクルの利用者の実態を把握し、今後のレンタサイクルの利便性の向上のための基礎データとして活用させていただきます。
- 調査の方法 : レンタサイクルにGPS機器を取り付け、通常通り、利用していただきます。
グループで利用される場合、原則として1名を調査対象とさせていただきます。
- 取得するデータ : 以下のデータを2秒間隔で取得します。
・GPSによる「緯度経度データ」

■ 取り付ける機器



- 分析の視点 : 移動範囲、移動経路はどうなっているか？

※本調査に係る業務名:「水戸市コミュニティサイクル導入調査業務委託」(水戸市発注業務)

調査にご協力いただける方へ

水戸市コミュニティサイクル導入調査業務委託 同意書

1. 調査の内容

別紙の調査説明の通りとします。

2. 個人情報および取得したデータの扱い

取得したデータや個人情報は、「水戸市コミュニティサイクル導入調査業務委託」において分析し、水戸市コミュニティサイクル導入に向けた基礎資料として活用します。

分析においては、個人情報が特定できないよう、統計的処理を行い、上記の目的以外への利用はいたしません。

3. 調査協力者の権利

本調査に協力するか否かは、自由意思で決定してください。また、一度同意した後であっても、いつでも同意を取り消すことができ、それによる不利益はありません。同意を取り消された場合には、データを破棄し、分析に利用することはありません。

4. 調査に協力することによる利益と不利益

調査に協力することによる追加費用の負担はありません。協力されなくても不利益を受けることはありません。

**調査参加に同意していただける場合は、
「利用申込書兼領収書」にスタンプを押させていただきます。**

【問合せ先】

調査主体 : 水戸市 市長公室 交通政策課

中村 TEL: 029-291-3804

調査実施機関: 日本工営会社 都市・交通計画部

上田、胡内、近藤 TEL: 03-3238-8342

■作業マニュアル

図2 調査中の手元用作業マニュアル



4. 期間中の主要施設におけるイベント情報

調査期間中に開催された主要施設におけるイベントは以下のとおりである。「第122回水戸の梅まつり」以外にも、「刀剣プロジェクト」や「一橋徳川家の200年」など、同時開催されているイベントが見られた。

また、下記以外に「花丸遊印録 スタンプラリー～梅の花舞う水戸の陣～」(2/17～3/25)が開催されており、スタンプラリーの場所は、品川駅、上野駅、柏駅、取手駅、土浦駅、石岡駅、友部駅、水戸駅、徳川ミュージアム、弘道館、茨城県立歴史館、常磐神社義烈館である。

表3 所要施設のイベント情報

■第122回梅まつり期間

日付	弘道館	徳川ミュージアム	偕楽園	茨城県立歴史館
3月2日(金)			第6回 全国梅酒祭り in水戸 (3/2～3/4)	
3月3日(土)	夜・梅・祭2018 (第一夜) 18:00～21:00			
3月4日(日)				
3月5日(月)	八卦堂・孔子廟特 別公開・正門開放			
3月6日(火)				
3月7日(水)				
3月8日(木)				
3月9日(金)				
3月10日(土)		徳川水戸家の梅まつり (1/6～4/8)	夜・梅・祭2018 (第二夜) 18:00～21:00	一橋徳川家記念室開設 三十周年記念 「一橋徳川家の200年」 (2/10～3/21)
3月11日(日)		刀剣プロジェクト ～成果展Ⅱ～ (1/6～4/8)	第122回 水戸の梅まつり (2/17～3/31)	
3月12日(月)	八卦堂・孔子廟特 別公開・正門開放			
3月13日(火)				
3月14日(水)				
3月15日(木)				
3月16日(金)				
3月17日(土)				
3月18日(日)				

■平常時調査期間

日付	弘道館	徳川ミュージアム	偕楽園	茨城県立歴史館
4月9日(月)				
4月10日(火)				
4月11日(水)				
4月12日(木)				
4月13日(金)			森の写真教 室 作品展	
4月14日(土)				
4月15日(日)		「明治150年記念 水戸徳川家の名宝 展」		「茨城の歴史を探 る」 (4/1～9/30)
4月16日(月)		「刀 KATANA」 (4/14～2019 3/31)		
4月17日(火)				
4月18日(水)				
4月19日(木)				
4月20日(金)		「葵の系譜」 (4/14～10/17)		
4月21日(土)				
4月22日(日)	記念講演会 「徳川慶喜と明治維 新」			

5. 調査結果

5.1. サンプル数の取得状況

各調査期間のサンプル数は、表 4 に示す通り、計 179 である。

表 4 サンプルの取得状況

調査期間	サンプル数				利用実績 (人数)	サンプル 割合
	北口貸出所	南口貸出所	合計 (グループ数)	合計 (人数)		
梅まつり期間	68	68	136	194	439	44.2%
平常時	25	18	43	60	88	68.2%
合計	93	86	179	254	527	48.2%

また、各日のサンプルの取得状況と気象状況を表 5 に示す。梅まつり期間は、雨天時には利用が少なく、気温が低い日は利用者が多い傾向にある。平常時は、曜日による利用者の増減は見られないが、雨天時には利用が少なく、気温が高い日は、利用者が多い傾向にある。

表 5 サンプルの取得状況と気象状況

		北口貸出所				南口貸出所				天候		
		調査結果		利用実績	割合 (②/③)	調査結果		利用実績	割合 (②'/③')	天候 (6:00-18:00)	最低 気温	最高 気温
		グループ数 ①	人数 ②	人数 ③		グループ数 ①'	人数 ②'	人数 ③'				
梅まつり期間	3/2(金)	6	6	8	75%	2	2	3	67%	晴	2.4	13.0
	3/3(土)	6	9	22	41%	9	13	15	87%	晴のち時々薄曇	-1.0	14.3
	3/4(日)	3	7	23	30%	3	3	18	17%	晴(一時霧)	1.1	21.0
	3/5(月)	0	0	2	0%	0	0	1	0%	曇のち雨	5.9	19.5
	3/6(火)	6	9	14	64%	2	2	3	67%	晴時々曇	1.0	11.5
	3/7(水)	6	8	16	50%	9	10	11	91%	薄曇時々晴	-0.2	6.5
	3/8(木)	0	0	0	-	0	0	0	-	雨一時曇	3.0	16.0
	3/9(金)	2	2	2	100%	1	1	1	100%	雨のち一時曇	6.4	18.1
	3/10(土)	11	18	21	84%	10	13	16	81%	曇のち時々晴	2.0	10.5
	3/11(日)	2	4	23	17%	5	5	20	25%	曇のち晴	1.2	11.5
	3/12(月)	3	5	17	29%	1	3	18	17%	快晴	2.9	13.8
	3/13(火)	4	5	16	31%	7	9	12	75%	晴一時曇	2.6	18.3
	3/14(水)	4	6	13	46%	5	9	13	69%	快晴	4.1	23.2
	3/15(木)	2	3	22	14%	0	0	18	0%	晴時々薄曇	5.8	21.7
	3/16(金)	0	0	2	0%	0	0	11	0%	雨時々曇	4.8	17.9
	3/17(土)	5	10	22	45%	10	13	17	76%	快晴	0.7	9.4
	3/18(日)	8	13	20	65%	4	6	19	32%	曇一時晴	0.1	16.1
平常時	4/9(月)	0	0	1	0%	0	0	1	0%	晴	11.9	20.4
	4/10(火)	3	4	5	80%	0	0	2	0%	晴後時々薄曇	11.2	16.5
	4/11(水)	1	1	2	50%	3	3	3	100%	曇	16.2	21.5
	4/12(木)	3	4	5	80%	2	2	2	100%	曇後晴	16.3	21.2
	4/13(金)	0	0	0	-	0	0	1	0%	晴後時々薄曇	13.5	18.2
	4/14(土)	3	4	4	100%	0	0	0	-	曇一時雨	12.2	17.1
	4/15(日)	1	4	4	100%	1	1	3	33%	雨後曇	15.4	18.9
	4/16(月)	0	0	1	0%	1	1	2	50%	曇時々晴一時雨	12.5	18.0
	4/17(火)	1	2	2	100%	1	2	2	100%	曇時々雨	12.3	14.8
	4/18(水)	0	0	0	-	0	0	0	-	雨後曇一時晴	12.5	15.8
	4/19(木)	1	1	1	100%	1	1	5	20%	晴、霧を伴う	15.4	23.2
	4/20(金)	1	1	1	100%	3	5	7	71%	快晴	16.7	24.6
	4/21(土)	6	8	12	67%	3	3	4	75%	快晴	18.4	26.7
	4/22(日)	5	6	10	60%	3	7	8	88%	晴後一時薄曇	19.3	28.3

- ①、①' : 調査にご協力いただいたグループ数 (=代表者数)
 ②、②' : 調査にご協力いただいた人数 (代表者以外を含む)
 ③、③' : 実際の利用者人数 (水戸市観光コンベンション協会よりデータ提供)

出典：国土交通省 気象庁 Web サイト

(http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/view/daily_s1.php?prec_no=40&block_no=47629&year=2018&month=3&day=&view=)

5.2. 利用者の属性

(1) 年齢

1) 全体

利用者の年代は、30代が34%と最も多く、次いで20代が33%と多くなっており、30代以下が72%を占めている。一方、60代が3人、70代以上が0人と、高齢者の利用はほとんどない。

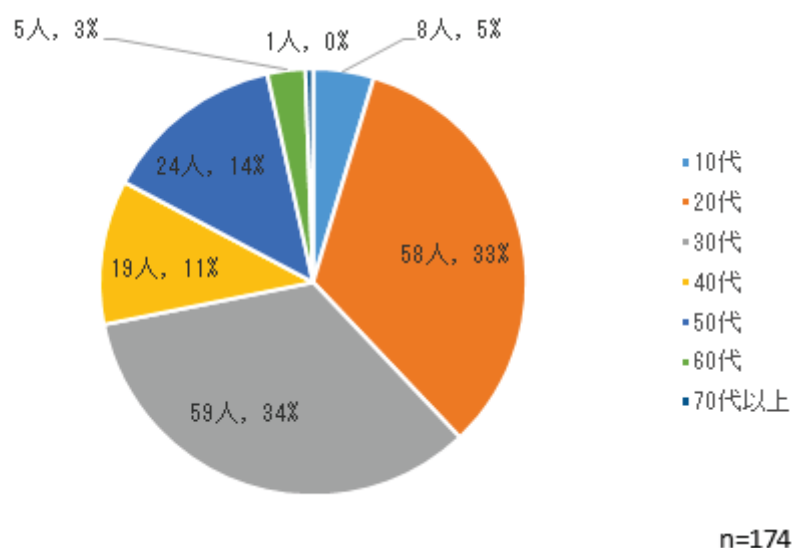


図3 利用者の年代（全体）

2) 梅まつり期間

利用者の年代は、20代が36%と最も多く、次いで30代が34%と多くなっており、30代以下が74%を占めている。一方、60代が3人、70代以上が0人と、高齢者の利用はほとんどない。

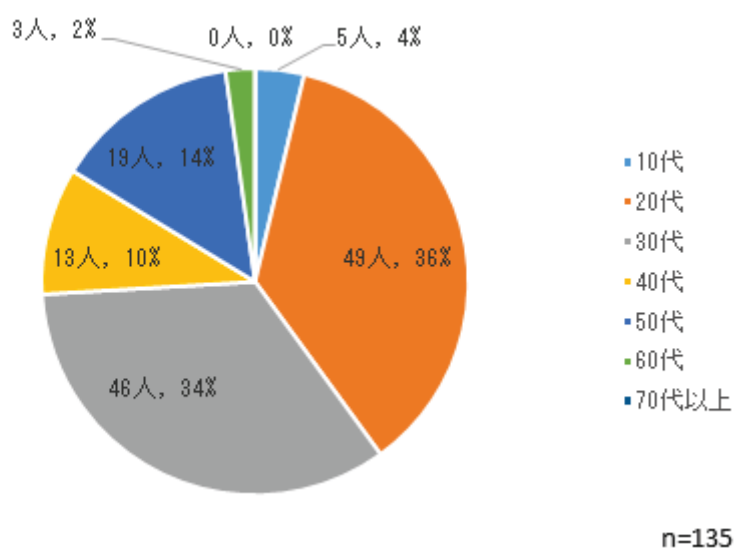


図4 利用者の年代（梅まつり期間）

3) 平常時

利用者の年代は、30代が33%と最も多く、次いで20代が23%と多くなっており、30代以下が64%を占めている。一方、60代が2人、70代以上が1人と、高齢者の利用はほとんどない。

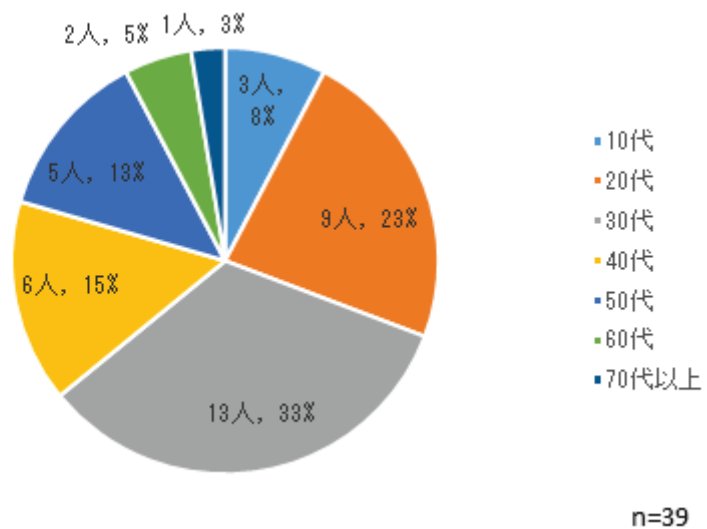


図5 利用者の年代（平常時）

(2) 性別

1) 全体

利用者の性別は、男性が 53%、女性 47%である。

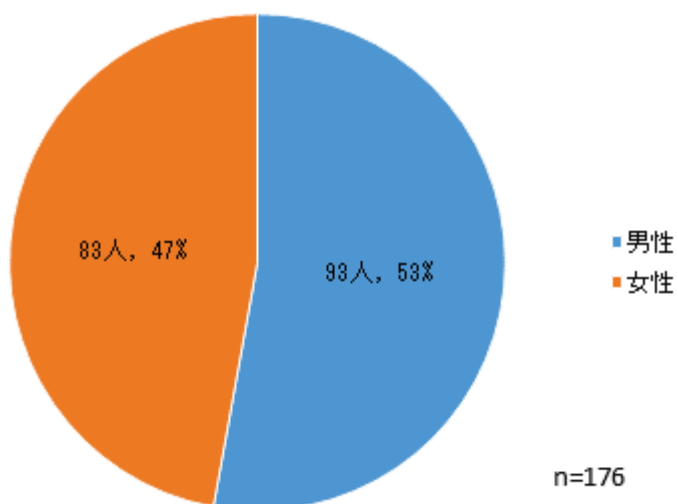


図 6 利用者の性別（全体）

2) 梅まつり期間

利用者の性別は、男性が 44%、女性 56%である。

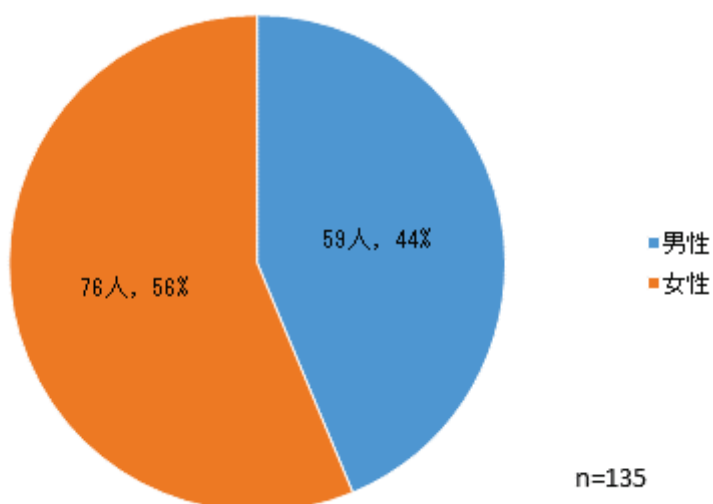


図 7 利用者の性別（梅まつり期間）

3) 平常時

利用者の性別は、男性が 83%、女性 17%であり、男性が多い。

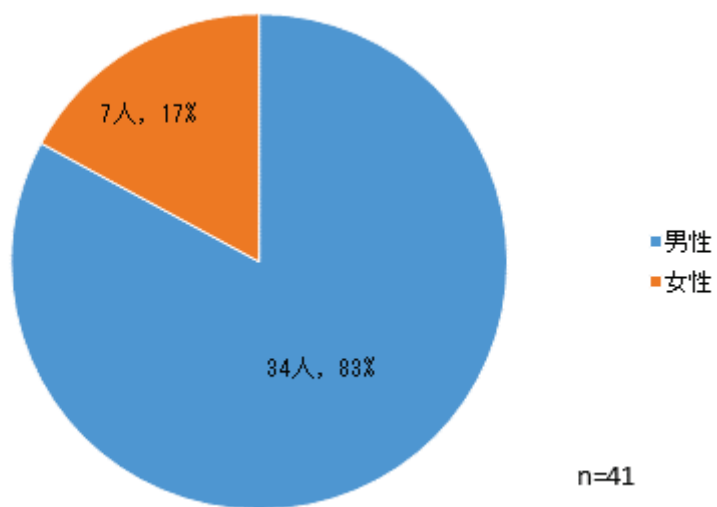


図 8 利用者の性別（平常時）

(3) 居住地

1) 全体

利用者の居住地（都道府県）を平日と休日に分けて整理した。平休の合計でみると、東京都が特に多く、次いで茨城県、埼玉県、千葉県、神奈川県が多くなっており、関東からの利用者が多い。また、海外からの利用者は1人であり、ほとんどいない。

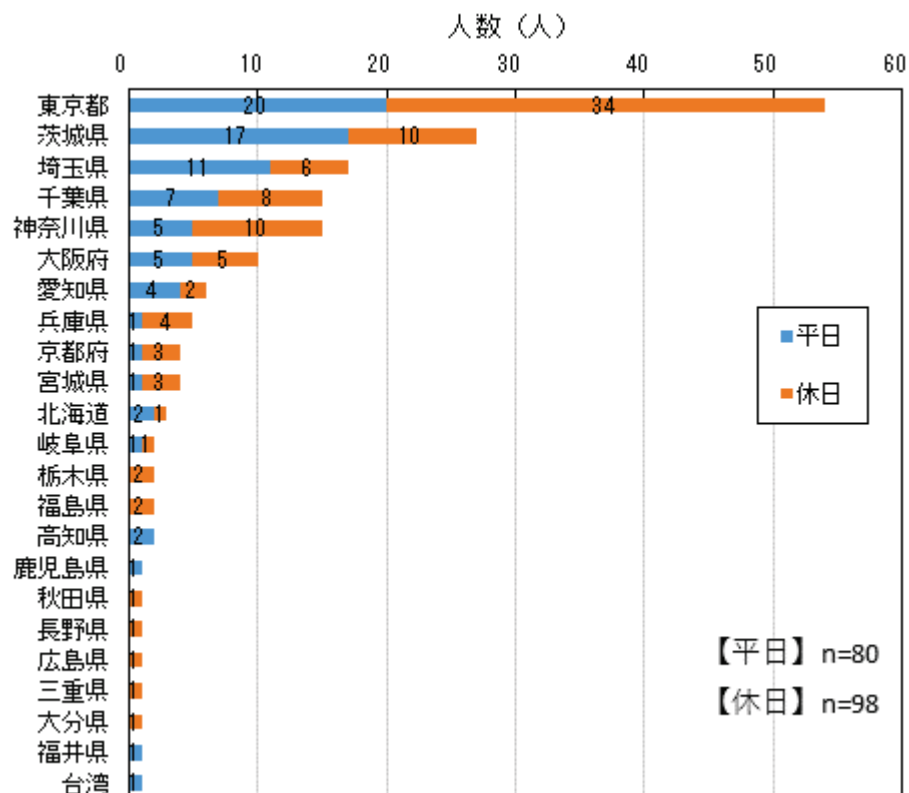


図9 利用者の居住地（都道府県 全体）

また、茨城県内の利用者について、居住地（市町村）をみると、ひたちなか市が最も多く、次いで笠間市、水戸市が多くなっており、水戸市及びその近隣の利用者が多い傾向にある。

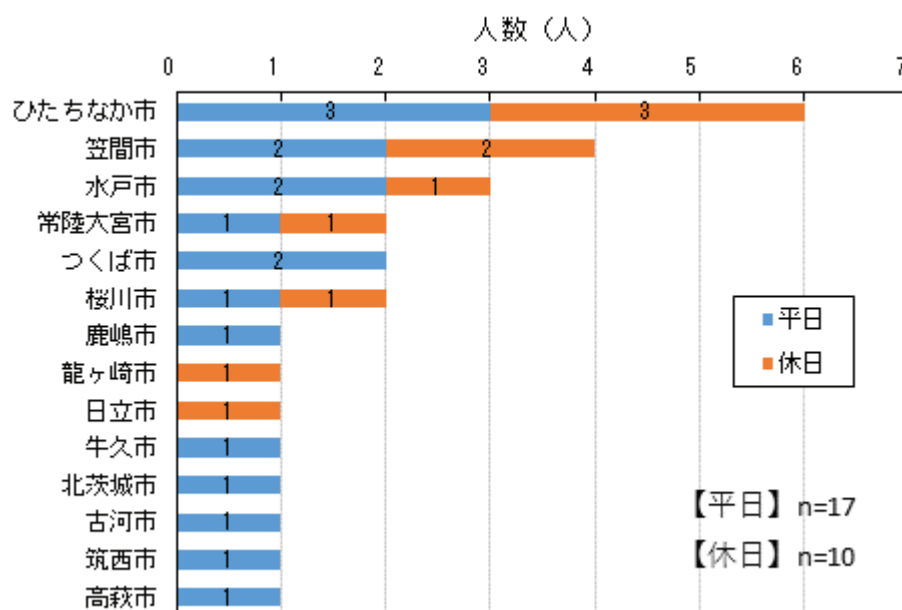


図 10 利用者の居住地（茨城県内 全体）

2) 梅まつり期間

利用者の居住地（都道府県）を平日と休日に分けて整理した。平休の合計でみると、東京都、茨城県が特に多く、次いで埼玉県、千葉県、神奈川県が多くなっており、関東からの利用者が多い。

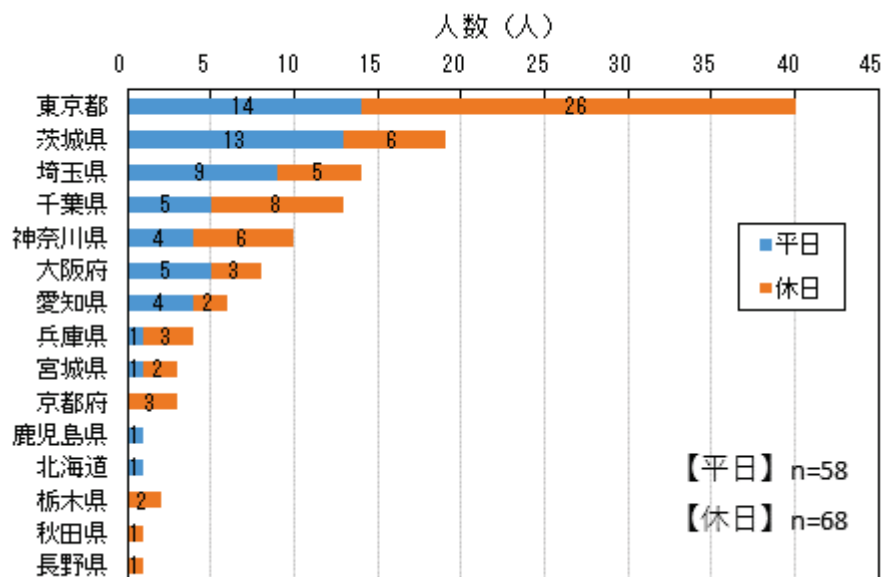


図 11 利用者の居住地（都道府県 梅まつり期間）

また、茨城県内の利用者について、居住地（市町村）をみると、ひたちなか市が最も多く、次いでつくば市、水戸市、笠間市が多くなっている。

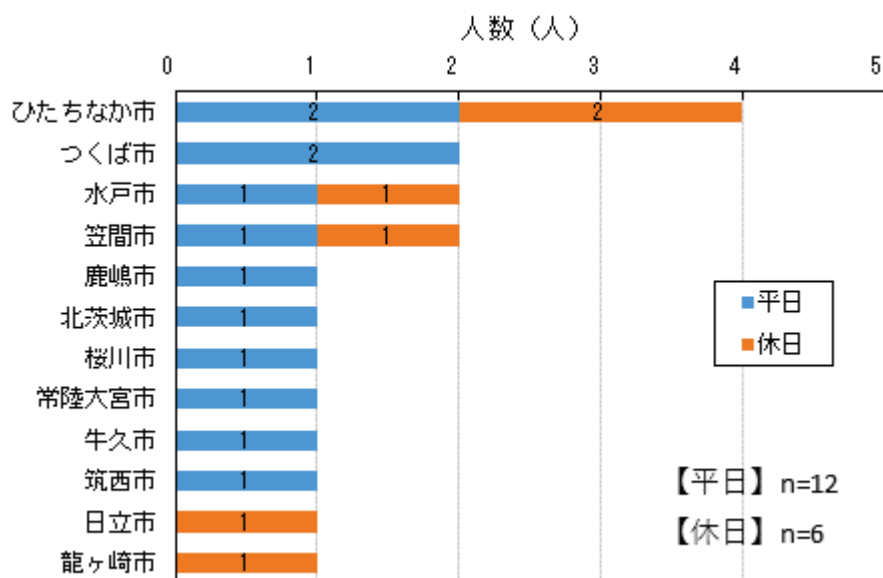


図 12 利用者の居住地（茨城県内 梅まつり期間）

3) 平常時

利用者の居住地（都道府県）を平日と休日に分けて整理した。平休の合計でみると、東京都、茨城県が特に多く、次いで神奈川県、埼玉県が多くなっており、関東からの利用者が多い。また、外国からの利用者が1人いた。

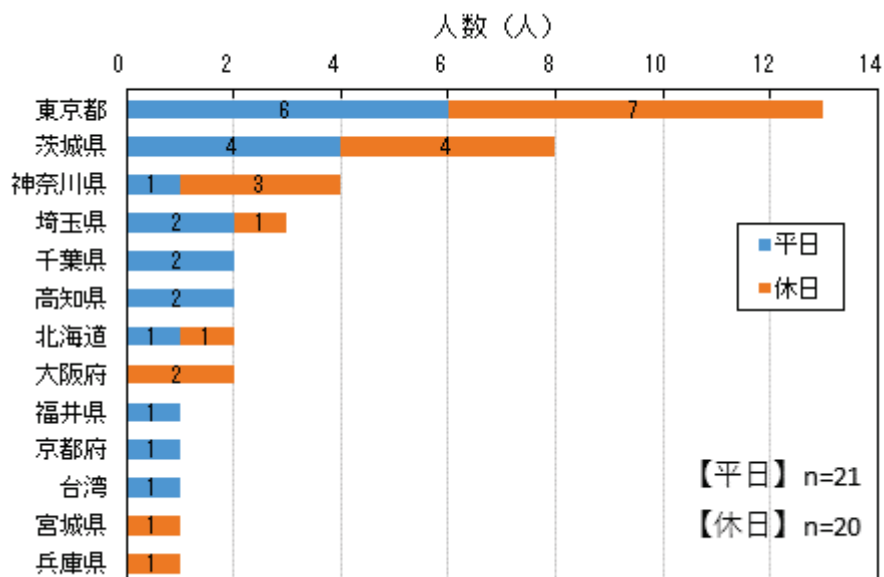


図 13 利用者の居住地（都道府県 平常時）

また、茨城県内の利用者について、居住地（市町村）をみると、ひたちなか市、笠間市がそれぞれ2人、次いで水戸市、高萩市、桜川市、常陸大宮市が1人となっており、水戸市近隣の利用者が多い傾向にある。

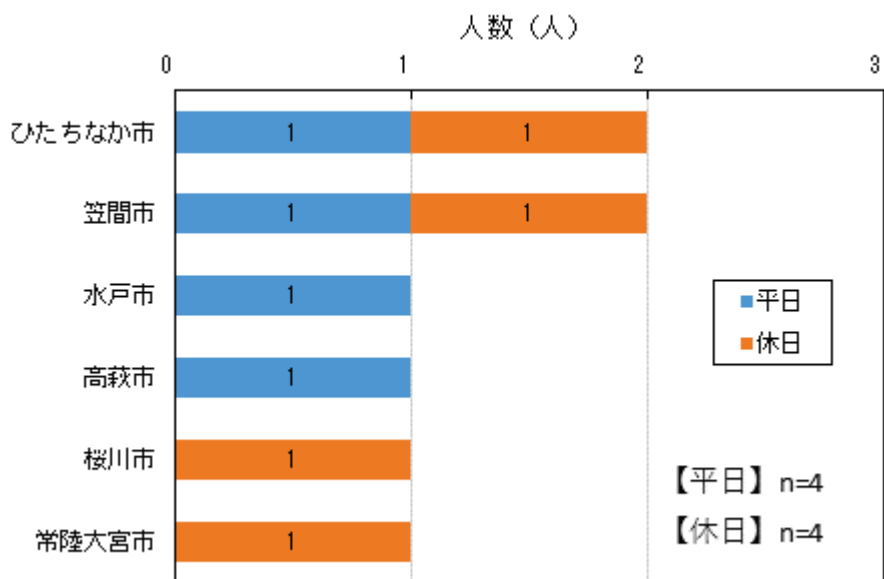


図 14 利用者の居住地（茨城県内 平常時）

(4) グループ人数

1) 全体

グループ人数は、1人での利用での利用が66%と最も多く、2人での利用が29%である。3人以上での利用は5%と少ない。

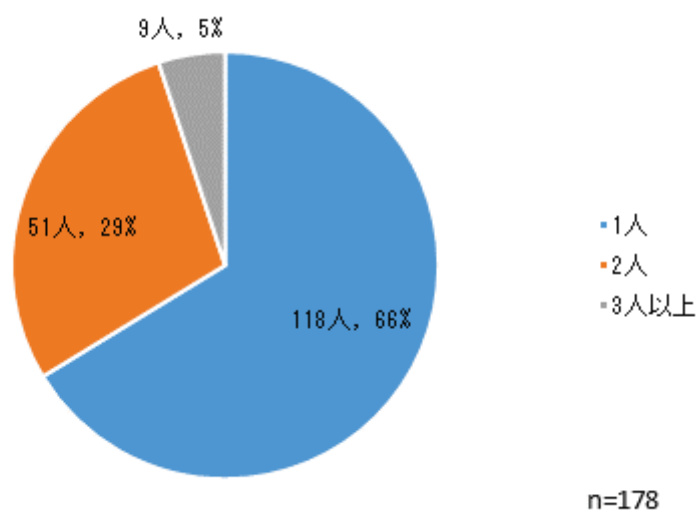


図 15 グループ人数（全体）

2) 梅まつり期間

グループ人数は、1人での利用が64%と最も多く、2人での利用が32%である。3人以上での利用は4%と少ない。

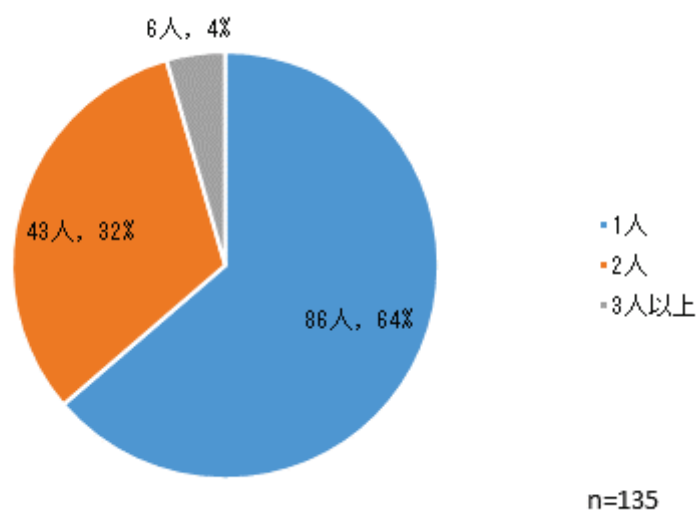


図 16 グループ人数（梅まつり期間）

3) 平常時

グループ人数は、1 人での利用が 74%と最も多く、2 人での利用が 19%である。3 人以上での利用は 7%と少ない。

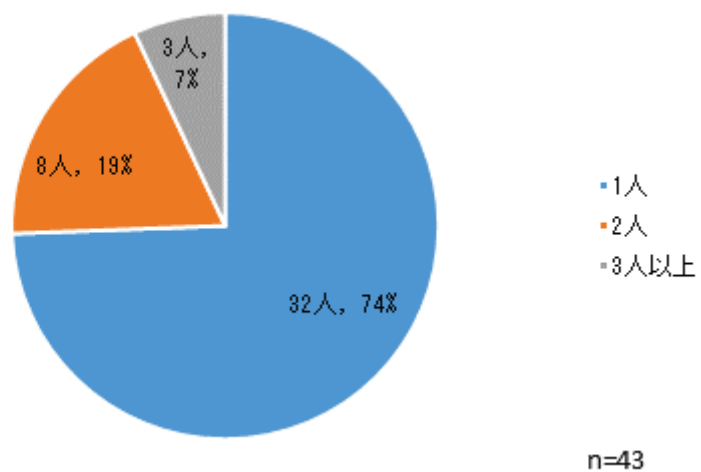


図 17 グループ人数（平常時）

5.3. 移動経路

(1) 利用が多い移動経路

1) 梅まつり期間

利用経路について、25m メッシュで利用の多さを色分けし、整理したものを以下に示す。全体としては、水戸駅から西方面（偕楽園、千波湖方面）への移動が多く、水戸駅・偕楽園臨時駅周辺に集中している。

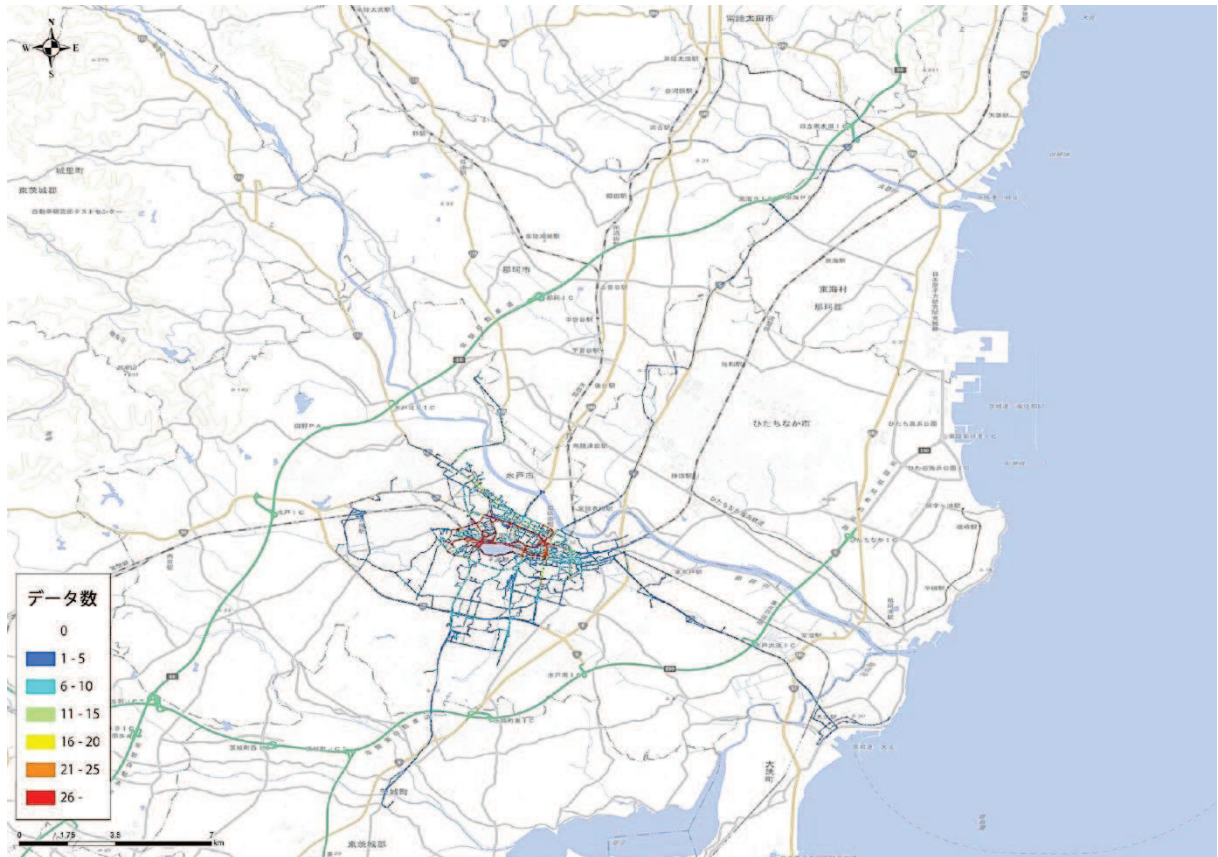


図 18 利用の多い経路（全体 梅まつり期間）

利用の多い水戸駅・偕楽園臨時駅周辺に着目すると、特に以下の経路の利用が多く、比較的道路幅員の広い通りの利用が多いことがわかる。

- ① 弘道館周辺
- ② 国道 50 号（黄門さん通り）
- ③ 県道 30 号水戸岩間線
- ④ 県道 342 号上水戸停車場千波公園線
- ⑤ 県道 178 号常磐公園線
- ⑥ 偕楽園と徳川ミュージアムを結ぶ経路
- ⑦ 県道 50 号水戸神栖線
- ⑧ 千波湖周辺
- ⑨ 市道 39 号線（駅南中央通り）

※連番は、下図中の番号と対応（順不同）

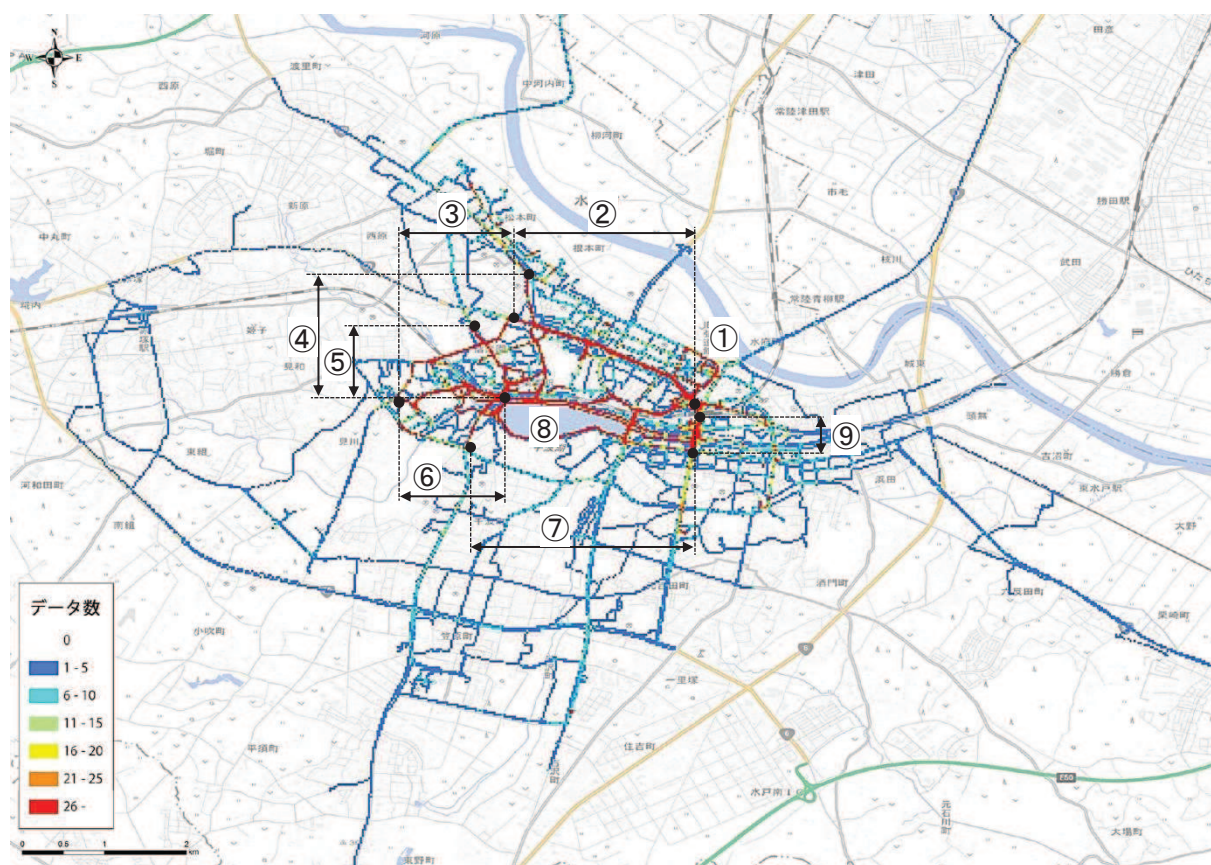


図 19 利用の多い経路（水戸駅・偕楽園臨時駅周辺 梅まつり期間）

2) 平常時

移動経路について、25m メッシュで利用の多さで色分けし、整理したものを以下に示す。全体としては、水戸駅から西方面（偕楽園、千波湖方面）への移動が多く、水戸駅・偕楽園臨時駅周辺に集中している。

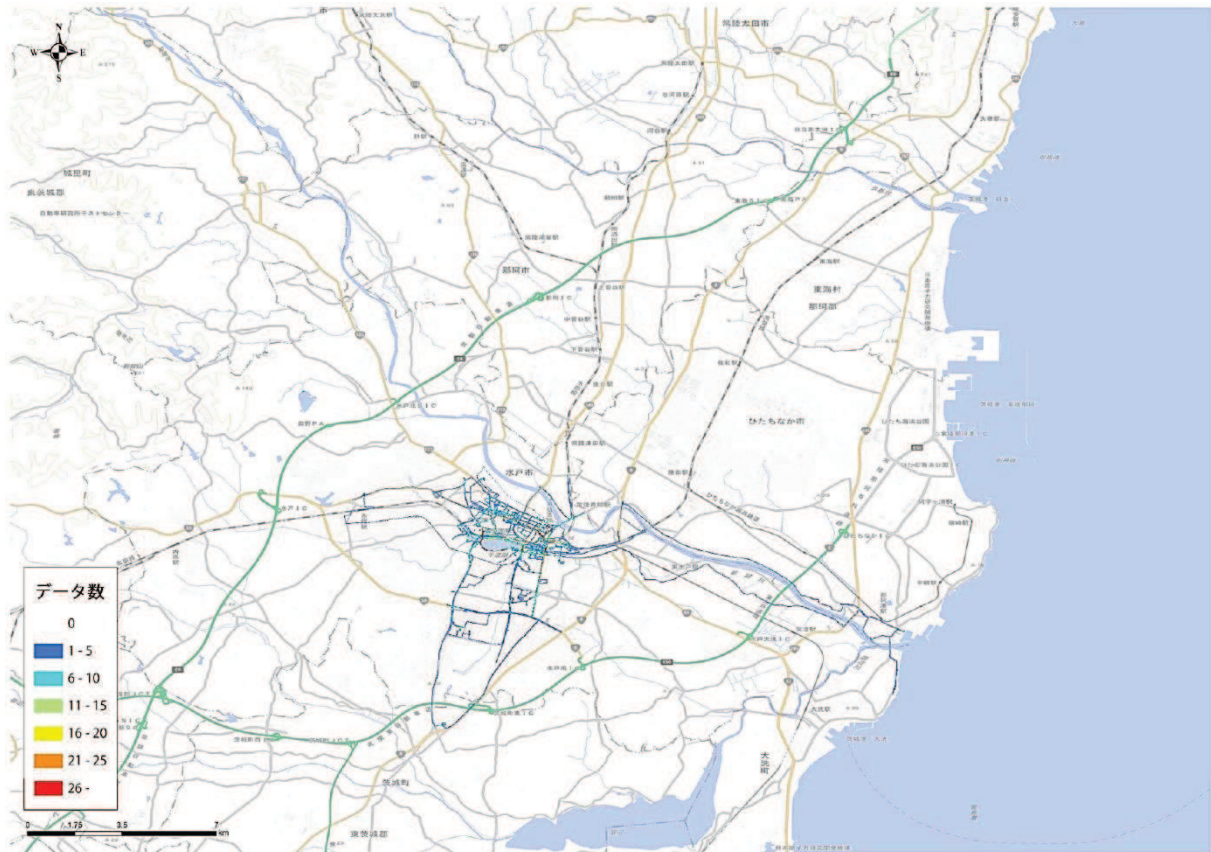


図 20 利用の多い経路（全体 平常時）

利用の多い水戸駅・偕楽園臨時駅周辺に着目すると、特に以下の経路の利用が多く、比較的道幅の広い通りの利用が多いことがわかる。

- ① 弘道館周辺
- ② 国道 50 号（黄門さん通り）
- ③ 県道 342 号上水戸停車場千波公園線
- ④ 県道 178 号常磐公園線
- ⑤ 県道 50 号水戸神栖線
- ⑥ 千波湖周辺
- ⑦ 幹線市道 39 号線（駅南中央通り）

※連番は、下図中の番号と対応（順不同）

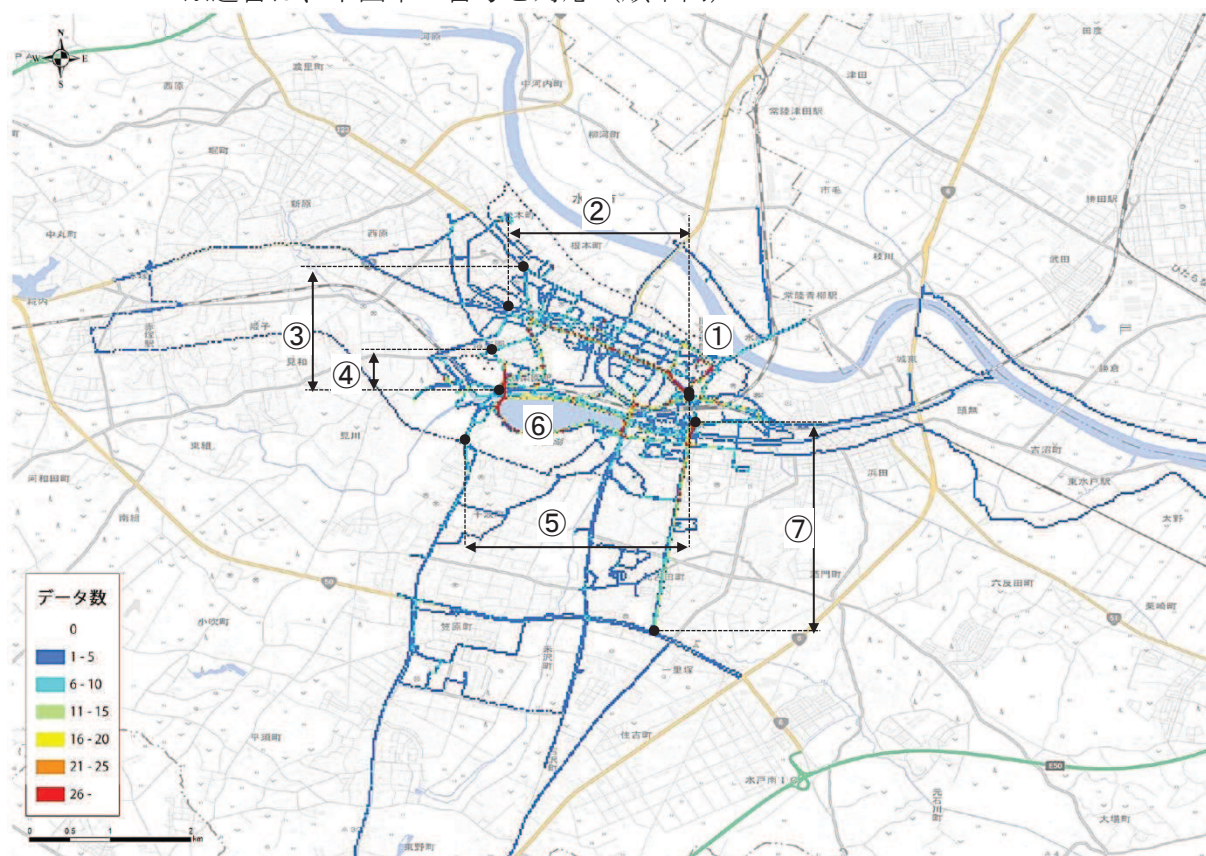


図 21 利用の多い経路（水戸駅・偕楽園臨時駅周辺 平常時）



図 23 目的が観光以外と考えられる経路（水戸駅南部 梅まつり期間）

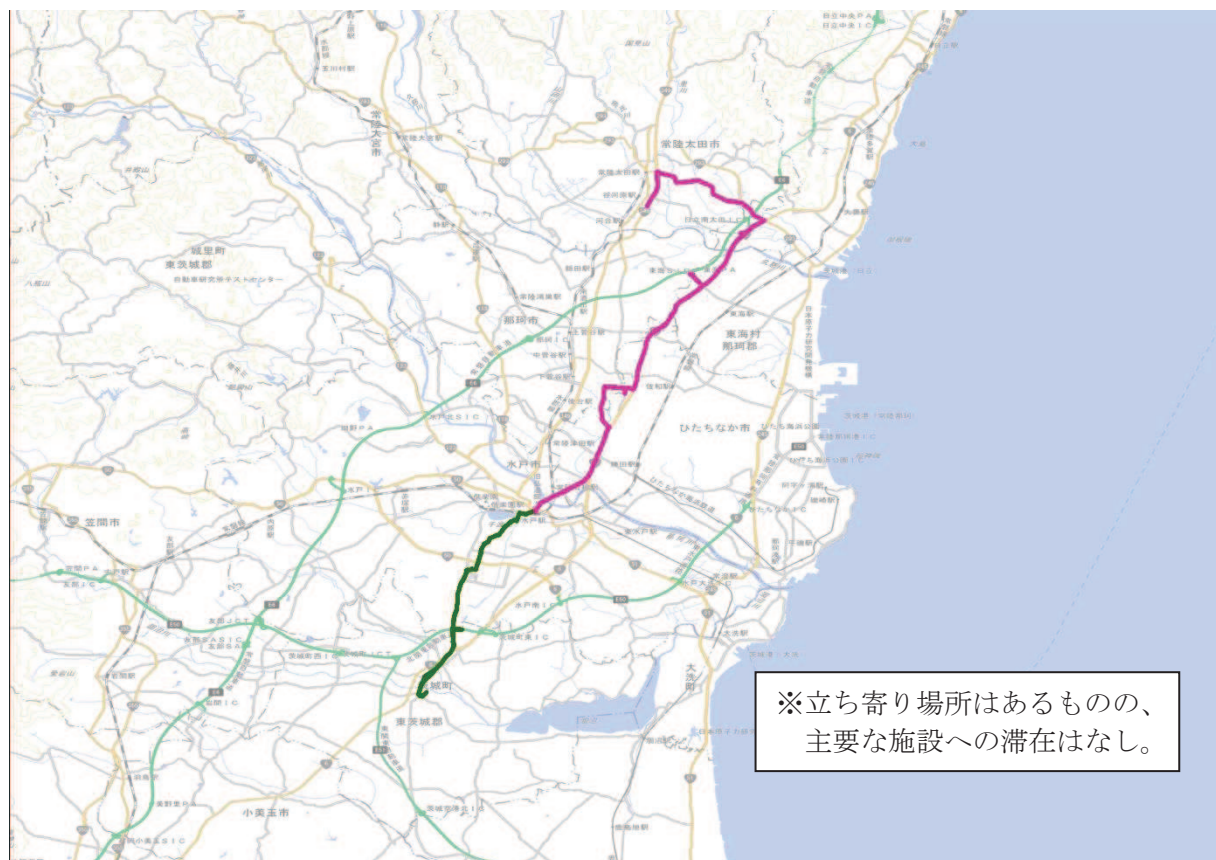


図 24 目的が観光以外と考えられる経路（長距離の移動 梅まつり期間）

2) 平常時

A) 観光が目的と考えられる移動

観光地に滞在している利用者の経路は、主に以下の 2 パターン、またはこれらを組み合わせたパターンがある。県庁方面への利用はほとんどみられなかった。

- ④ 弘道館から国道 50 号（黄門さん通り）を通り、偕楽園、茨城県立歴史館、徳川ミュージアム等、観光地を回る経路
- ⑤ 千波湖を回り、周辺の観光地（偕楽園、茨城県近代美術館等）に寄る経路



図 25 目的が観光と考えられる経路（平常時）

B) 目的が観光以外と考えられる経路

観光地に滞在しておらず、目的が観光以外と考えられる利用者は、全体で17件あり、全体の約40%であった。観光地に滞在している利用者の経路に加え、茨城県庁や茨城県立図書館、京成百貨店など、目的に応じて様々な経路パターンがみられる。

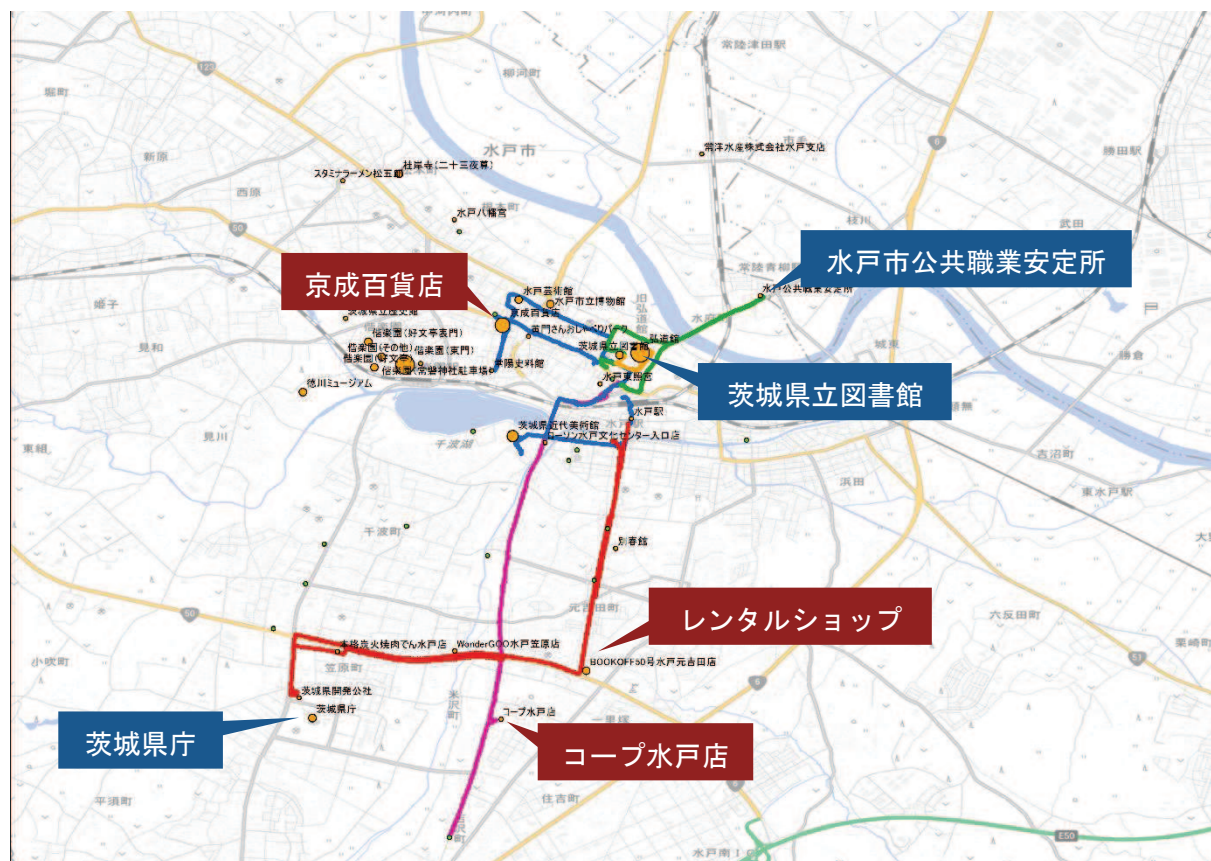


図 26 目的が観光以外と考えられる経路（平常時）

5.4. 水戸市サイクリングマップとの比較

水戸観光コンベンション協会が作成・配布している水戸市サイクリングマップと比較した。上市ルート、千波湖ルートについては、概ね利用実態調査の結果として利用が多かった経路と一致する一方、下市ルート、サイクリングロードについてはあまり利用がなく、必ずしも水戸市サイクリングマップのルートと一致しているとは言えない。水戸市サイクリングマップを参考にしながらも、独自に情報を入手して、ルートを決めている可能性がある。また、観光以外が目的と考えられる利用者は、水戸市サイクリングマップとはほとんど関係性は見られない。



図 27 水戸市サイクリングマップ

5.5. バス路線図との比較

水戸市のバス路線図と比較した。概ね利用実態調査の結果として利用が多かった経路はバス路線と一致することから、公共交通機関で行くことができない場所への移動手段としてレンタサイクルを利用している可能性は低いと考えられる。

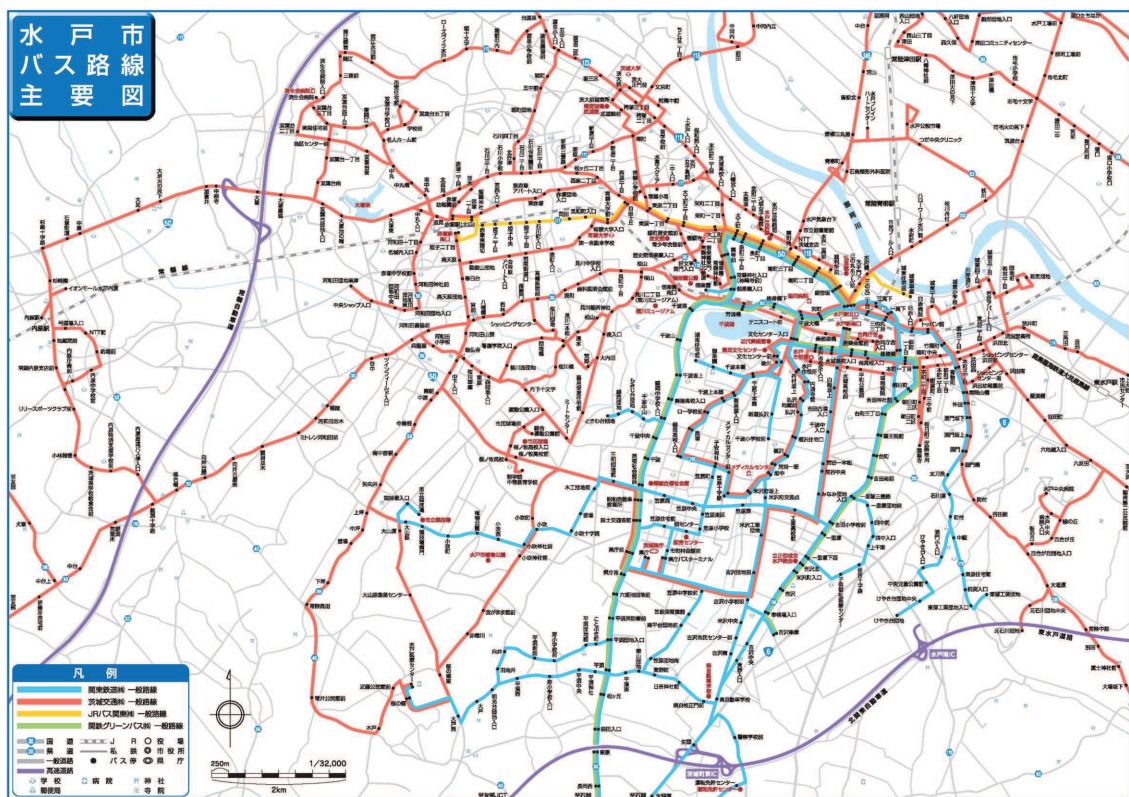


図 28 水戸市のバス路線図

5.6. 滞在场所及び滞在時間

(1) 梅まつり期間

滞在了場所とそこでの滞在時間、人数を整理した。以下に滞在了場所を示す。なお、滞在は「速度が0(km/h)の状態が15分以上継続した場所」と定義した。また、目的地が明らかな場合は周辺施設に集約し、「滞在了場所」として整理したが、目的地が不明な場合は、「立ち寄り場所」として整理した。



図 29 滞在了場所・立ち寄り場所 (全体 梅まつり期間)



図 30 滞在所・立ち寄り場所（水戸駅、信楽園駅周辺 梅まつり期間）

滞在場所、人数、平均滞在時間の一覧を以下に示す。なお、偕楽園は91人の滞在があったが、範囲が広いため、別途滞が多かった主要な箇所（駐車場等）に分けて集計した。

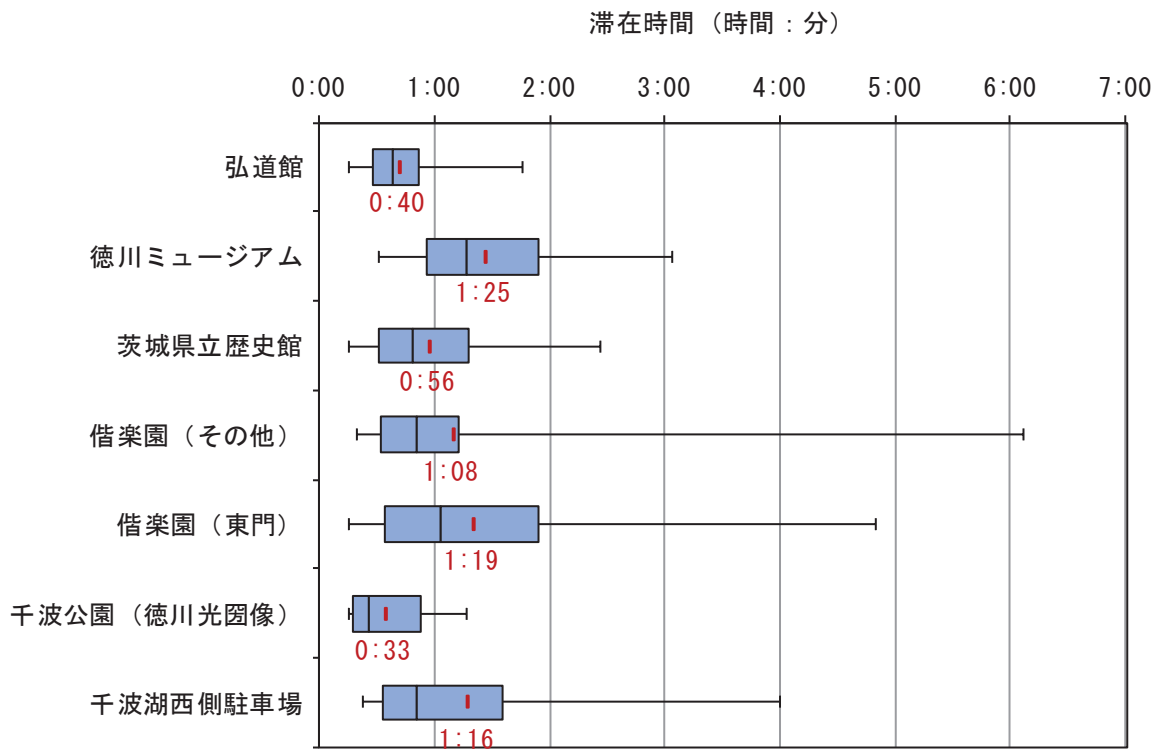
表6 滞在場所一覧

滞在場所	人数 (人)	平均滞在時間 (時間：分)
偕楽園（園内全ての箇所）	91	1:08
弘道館	58	0:40
徳川ミュージアム	56	1:25
茨城県立歴史館	35	0:56
千波公園（徳川光圀像）	15	0:33
千波湖西側駐車場	12	1:16
南町自由広場	8	0:30
ビレッヂ310	5	0:56
茨城県護国神社	4	0:20
水戸芸術館	3	0:22
茨城県近代美術館	2	1:37
大学ボウル水戸店	2	1:25
京成百貨店	2	1:10
五軒駐車場	2	1:07
千波公園D51駐車場	2	0:55
吉田神社	2	0:23
桂岸寺（二十三夜尊）	2	0:22
別雷皇太神	2	0:21
駅南平和公園	2	0:19
港中央公園（大洗町）	1	5:54
茨城県立図書館	1	3:45
カラオケまねきねこ水戸バイパス店	1	3:37
丸山淵明堂跡	1	1:52
回天神社	1	1:29
やまの湯	1	0:52
パーフェクトスタジアム打撃王	1	0:50
茨城県庁	1	0:49
茨城大学	1	0:45
餃子の王将水戸さくら通り店	1	0:43
はま寿司水戸笠原店	1	0:38
そば処久月	1	0:36
WonderREX水戸県庁前店	1	0:28
水戸東照宮	1	0:28
祇園寺	1	0:27
水戸八幡宮	1	0:26
スターバックスコーヒー水戸駅南中央通り店	1	0:23
いそや駐車場（大洗町）	1	0:22
六地藏寺	1	0:22
薬王院	1	0:22
水戸宮町第一駐車場	1	0:18
千波ショッピングプラザ	1	0:16
別春館	1	0:15

表 7 偕楽園の主要な箇所別の滞在場所一覧

滞在場所	人数 (人)	平均滞在時間 (時間：分)
偕楽園（東門）	32	1:19
偕楽園（桜山第二駐車場）	5	1:11
偕楽園（見晴亭）	5	0:58
偕楽園（好文亭表門）	5	0:46
偕楽園（常磐神社駐車場）	5	0:38
偕楽園（桜山第三駐車場）	3	0:52
偕楽園（好文亭）	1	0:26
偕楽園（その他）	35	1:08

また、特にグループ人数が多かった滞在場所（10人以上）については、箱ひげ図にて分布のばらつきをみた。なお、偕楽園については、主要な箇所別に細分化した滞在場所である。



※箱は 25%タイル値、中央値、75%タイル値を示し、髭は最小値、最大値を示す。

※図中の赤字は、平均滞在時間を示す。

図 0-31 人数が多かった滞在場所の滞在時間の分布（箱ひげ図）

(2) 平常時

滞在した場所とそこでの滞在時間、人数を整理した。以下に滞在所を示す。なお、滞在は「速度が0(km/h)の状態が15分以上継続した場所」と定義した。また、目的地が明らかな場合は周辺施設に集約し、「滞在所」として整理したが、目的地が不明な場合は、「立ち寄り場所」として整理した。



図 32 滞在所・立ち寄り場所（全体 平常時）



図 33 滞在场所・立ち寄り場所（水戸駅、信楽園駅周辺 平常時）

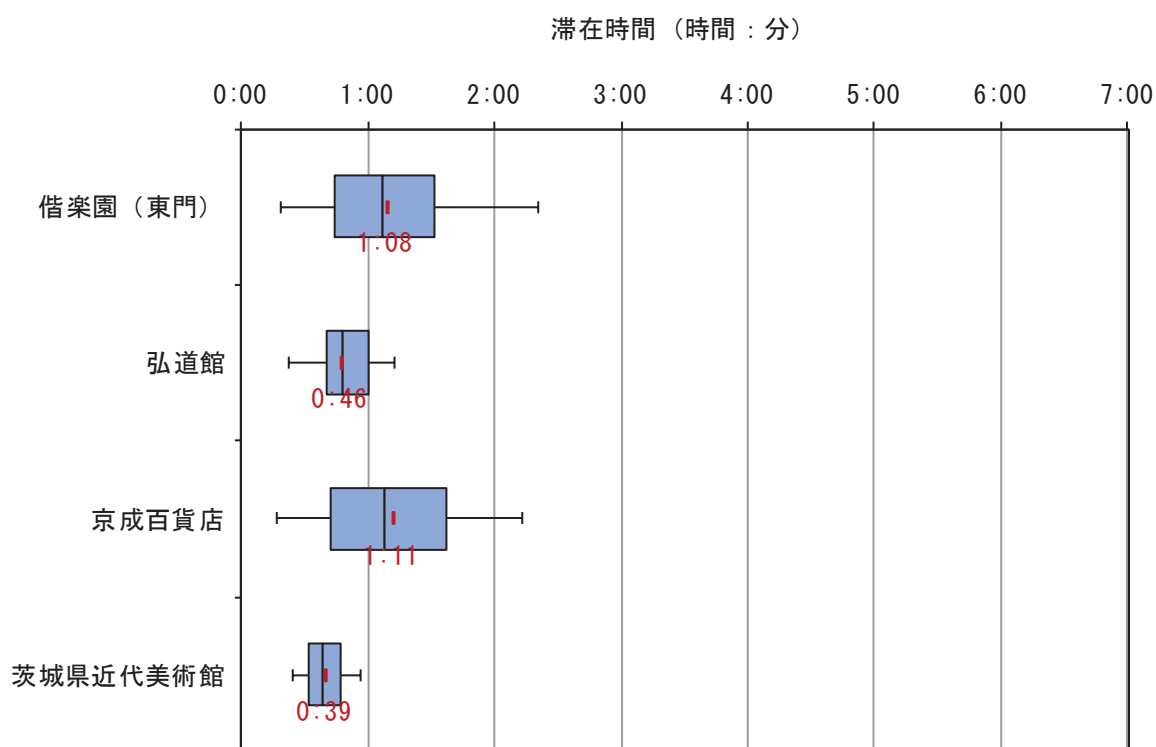
滞在場所、人数、平均滞在時間の一覧を以下に示す。なお、偕楽園は18人の滞在があったが、範囲が広いため、別途滞が多かった主要な箇所（駐車場等）に分けて集計した。

表8 滞在場所一覧

滞在場所	人数 (人)	平均滞在時間 (時間：分)
偕楽園（園内全ての箇所）	18	1:03
弘道館	9	0:46
京成百貨店	4	1:11
茨城県近代美術館	3	0:39
水戸市立博物館	2	0:53
BOOKOFF50号水戸元吉田店	2	1:52
茨城県立図書館	2	2:11
桂岸寺（二十三夜尊）	2	1:17
水戸芸術館	2	0:52
徳川ミュージアム	2	0:34
茨城県庁	2	0:31
茨城県立歴史館	1	0:51
黄門さんおしゃべりパーク	1	0:22
コープ水戸店	1	0:24
常陽史料館	1	0:23
スタミナラーメン松五郎	1	1:02
水戸公共職業安定所	1	0:54
シーフードレストランメヒコ大洗店	1	1:05
ダイナム信頼の森茨城イオンタウン水戸南店	1	0:24
常洋水産株式会社水戸支店	1	0:27
本格炭火焼肉でん水戸店	1	1:09
マルハン赤塚店	1	4:24
水戸駅	1	2:02
水戸東照宮	1	0:15
ローソン水戸文化センター入口店	1	0:17
水戸八幡宮	1	0:19
別春館	1	0:27
茨城県開発公社	1	2:52
WonderG00水戸笠原店	1	0:18

滞在場所	人数 (人)	平均滞在時間 (時間：分)
偕楽園（東門）	11	1:08
偕楽園（その他）	2	1:19
偕楽園（好文亭）	2	1:11
偕楽園（好文亭表門）	2	0:58
偕楽園（常磐神社駐車場）	1	0:46

また、特にグループ人数が多かった滞在場所（3人以上）については、箱ひげ図にて分布のばらつきをみた。なお、偕楽園については、主要な箇所別に細分化した滞在場所である。



※箱は 25%タイル値、中央値、75%タイル値を示し、髭は最小値、最大値を示す。

※図中の赤字は、平均滞在時間を示す。

図 0-34 人数が多かった滞在場所の滞在時間の分布（箱ひげ図）

5.7. 利用時間

(1) 梅まつり期間

レンタサイクルの平均利用時間は、平日が4時間23分、休日が4時間58分であり、平休での差は小さいと言える。一方で、利用時間の分布をみると、平日は「5時間以上6時間未満」が27%と最も多いが、休日は「6時間以上7時間未満」が21%と最も多く、また6時間以上の利用は休日の方が多くなっている。

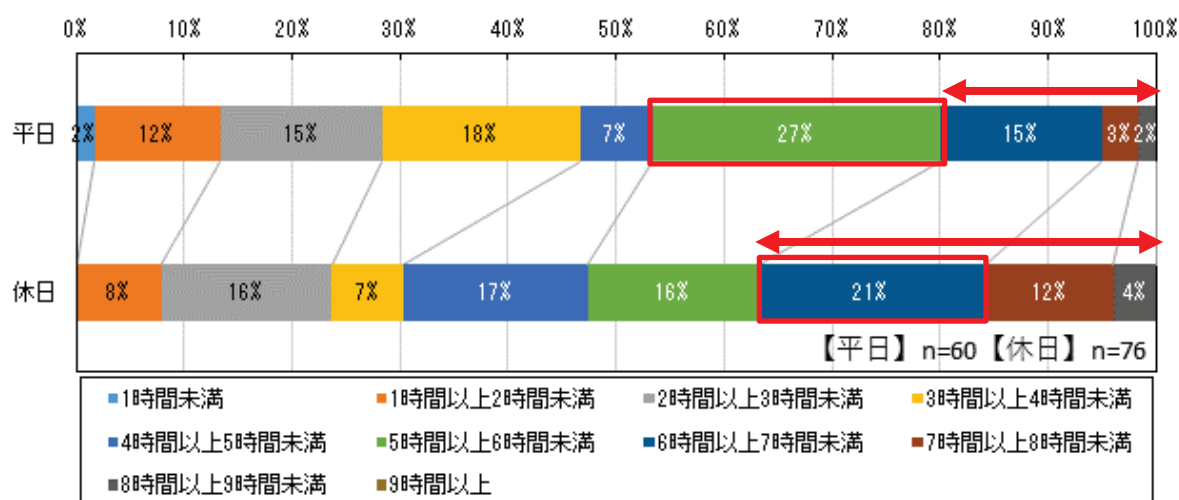


図 35 レンタサイクルの利用時間（梅まつり期間）

(2) 平常時

レンタサイクルの平均利用時間は、平日が3時間14分、休日が3時間57分であり、休日の方が43分長い。一方で、利用時間の分布をみると、平日は2時間未満が29%であるのに対し、休日は5%であり、平日の方が短時間での利用が多い。逆に6時間以上は平日が29%であるのに対し、休日は50%であり、休日の方が長時間の利用が多い。

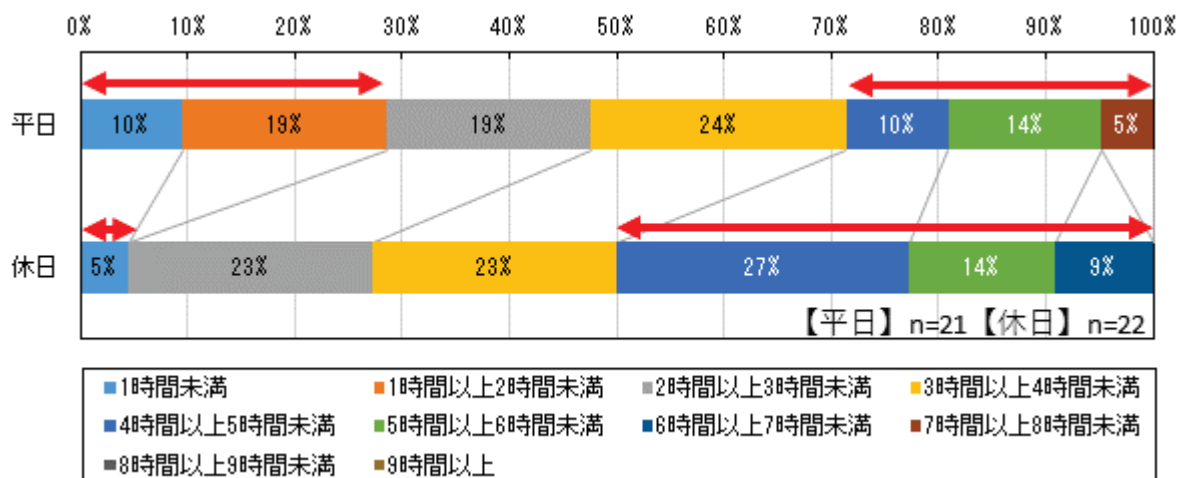


図 36 レンタサイクルの利用時間（平常時）

5.8. 利用目的の整理

(1) 梅まつり期間

利用目的について、観光目的の利用者（観光施設に滞在した利用者）は 90%であるのに対し、その他の利用者は 10%である。

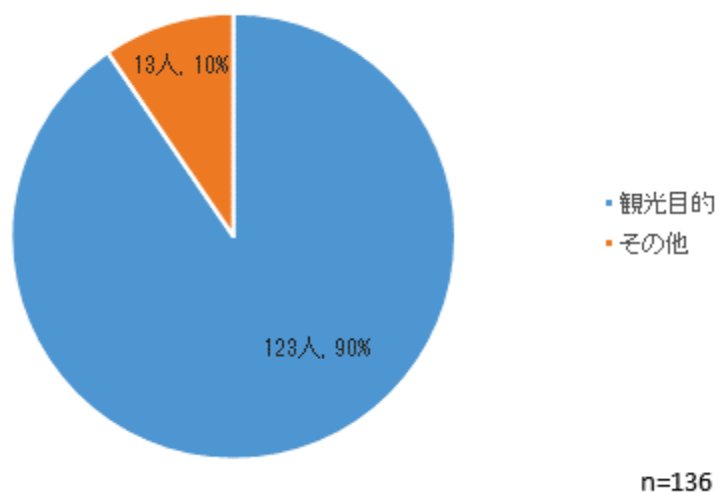


図 37 利用目的（梅まつり期間）

また、観光施設に滞在しなかった利用者の滞在場所を以下に示す。主に、商業施設、飲食店が多く、その他に茨城県庁などがある。

表 9 利用目的が観光以外の利用者の滞在場所

区分	滞在場所
商業施設	千波ショッピングプラザ
	WonderREX 水戸県庁前店
飲食店	餃子の王将水戸さくら通り店
	はま寿司水戸笠原店
娯楽施設	大学ボウル水戸店
	やまの湯
	パーフェクトスタジアム打撃王
その他（公共施設等）	茨城県庁
	駅南平和公園

(2) 平常時

利用目的について、観光目的の利用者（観光施設に滞在した利用者）は 60%であるのに対し、その他の利用者は 40%である。

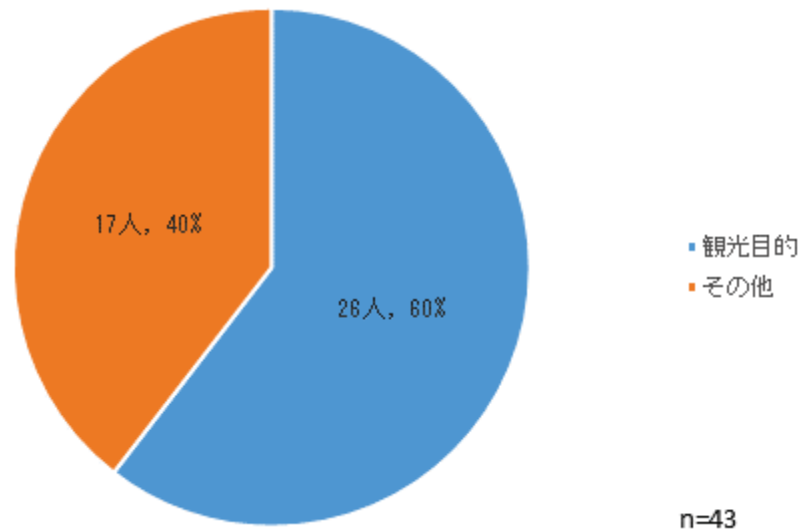


図 38 利用目的（平常時）

また、観光施設に滞在しなかった利用者の滞在場所を以下に示す。主に、商業施設、娯楽施設、茨城県庁等の公共施設が多い。

表 10 利用目的が観光以外の利用者の滞在場所

区分	滞在場所
商業施設	京成百貨店
	コープ水戸店
	ローソン水戸文化センター入口店
	WonderG00 水戸笠原店
	BOOKOFF50 号水戸元吉田店
飲食店	本格炭火焼肉でん水戸店
娯楽施設	マルハン赤塚店
	ダイナム信頼の森茨城イオンタウン水戸南店
その他（公共施設等）	茨城県庁
	茨城県開発公社
	駅南平和公園
	水戸公共職業安定所
	茨城県立図書館
	常洋水産株式会社水戸支店

(3) 目的が観光以外の利用者の属性

(1)、(2)にて、利用目的が観光以外の利用者は、梅まつり期間で 13 人、平常時で 17 人と期間を問わず一定数いることが分かった。そこで、目的が観光以外の利用者の属性を分析した。

1) 年齢

全サンプルの年齢構成と比較すると、30 代以下が多い点は同様だが、特に 10 代の割合が多い。

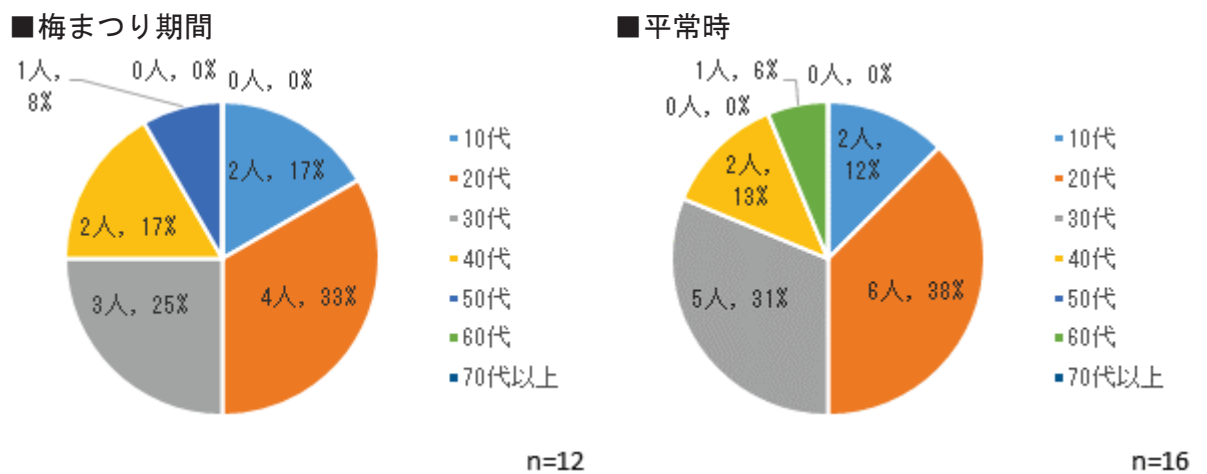


図 39 年齢（目的が観光以外）

2) 性別

性別は、男性が梅まつり期間で 67%、平常時で 88%と、どちらの期間においても男性の方が多い。

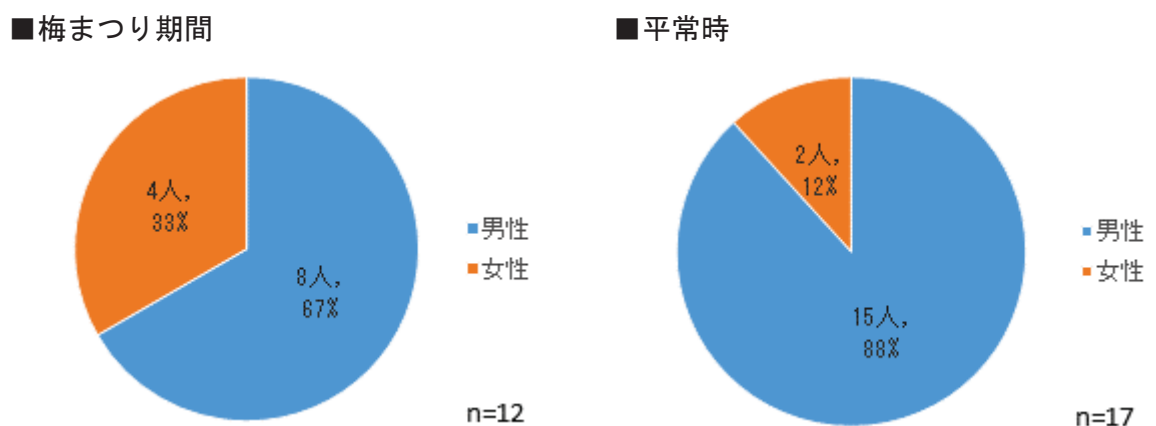
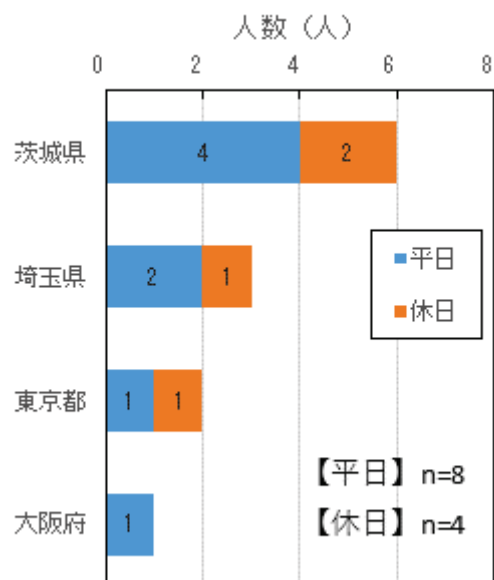


図 40 性別（目的が観光以外）

3) 居住地（都道府県別）

居住地は、どちらの期間も茨城県の人が多い。

■梅まつり期間（都道府県）



■梅まつり期間（県内）

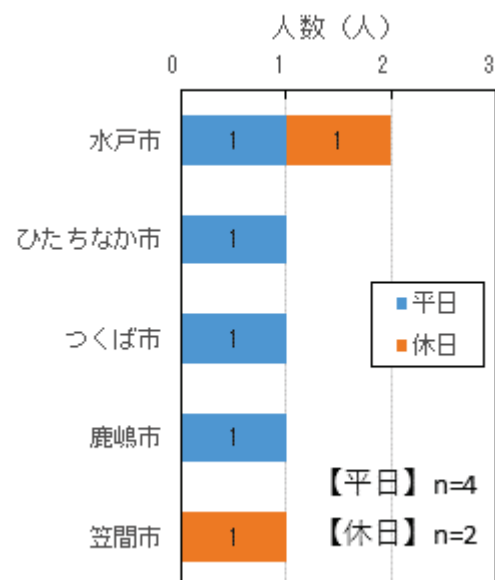
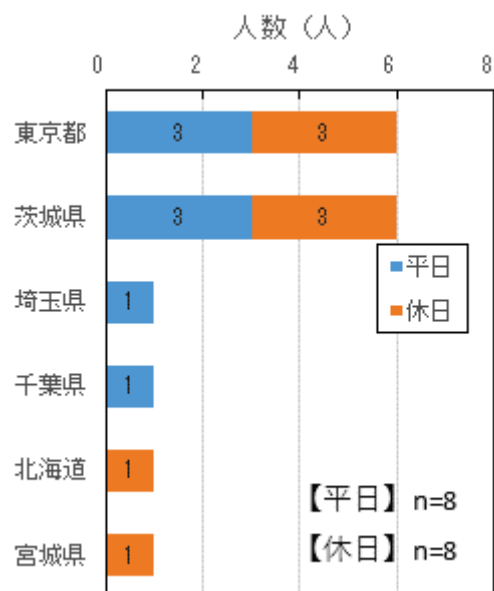


図 41 居住地（目的が観光以外、梅まつり期間）

■平常時（都道府県）



■平常時（県内）

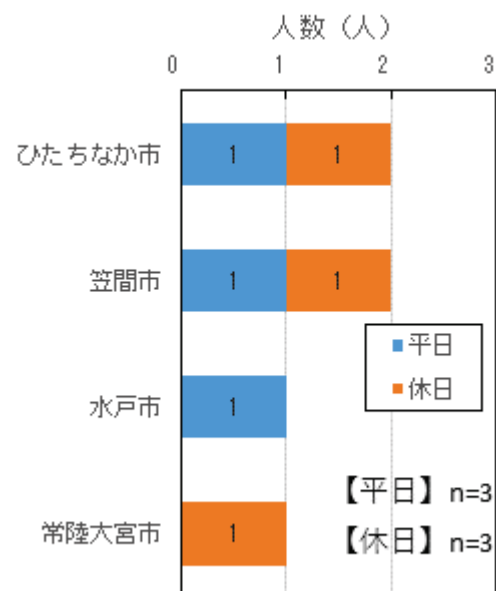


図 42 居住地（目的が観光以外、平常時）

4) グループ人数

グループ人数は、ほとんどが1人での利用である。

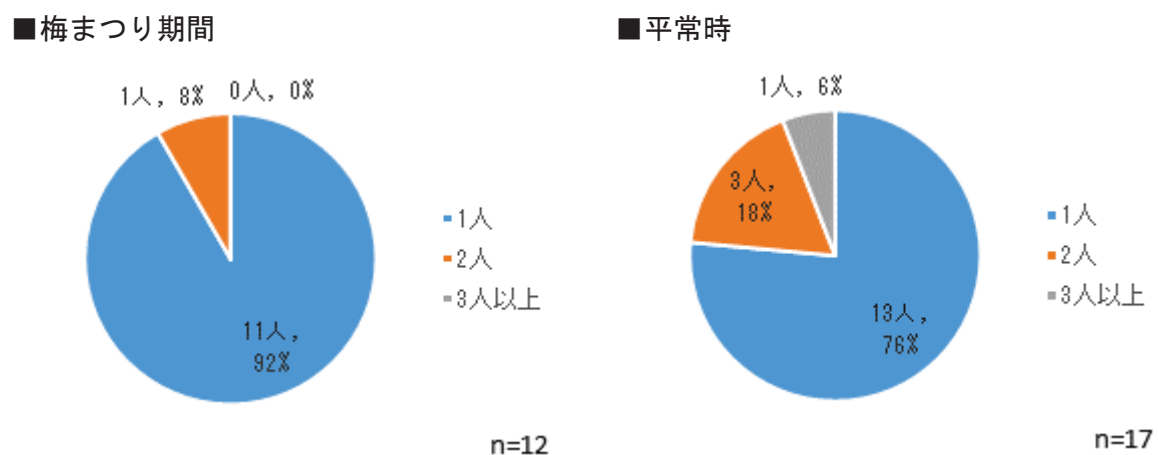


図 43 グループ人数（目的が観光以外）

5.9. レンタサイクルを利用した時間帯

(1) 梅まつり期間

利用者がレンタサイクルを利用した時間帯のピークは、平日が 11 時台～14 時台で約 70%、休日は 10 時台～13 時台で約 80%となっており、休日の方が平日よりもピーク時間帯が早く、またピーク時の利用者割合が高い。

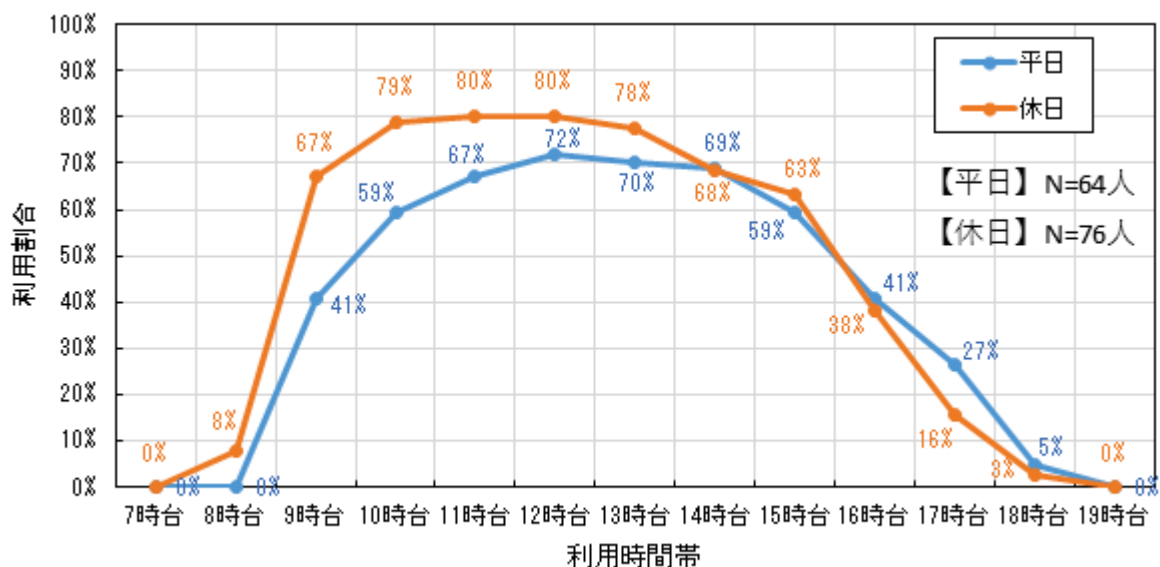


図 44 レンタサイクルの利用時間の分布（梅まつり期間）

(2) 平常時

利用者がレンタサイクルを利用した時間帯のピークは、平日が 11 時台～14 時台で約 65%、休日は 12 時台～14 時台で約 85%となっており、休日の方が平日よりもピーク時間帯が遅く、またピーク時の利用者割合が高い。

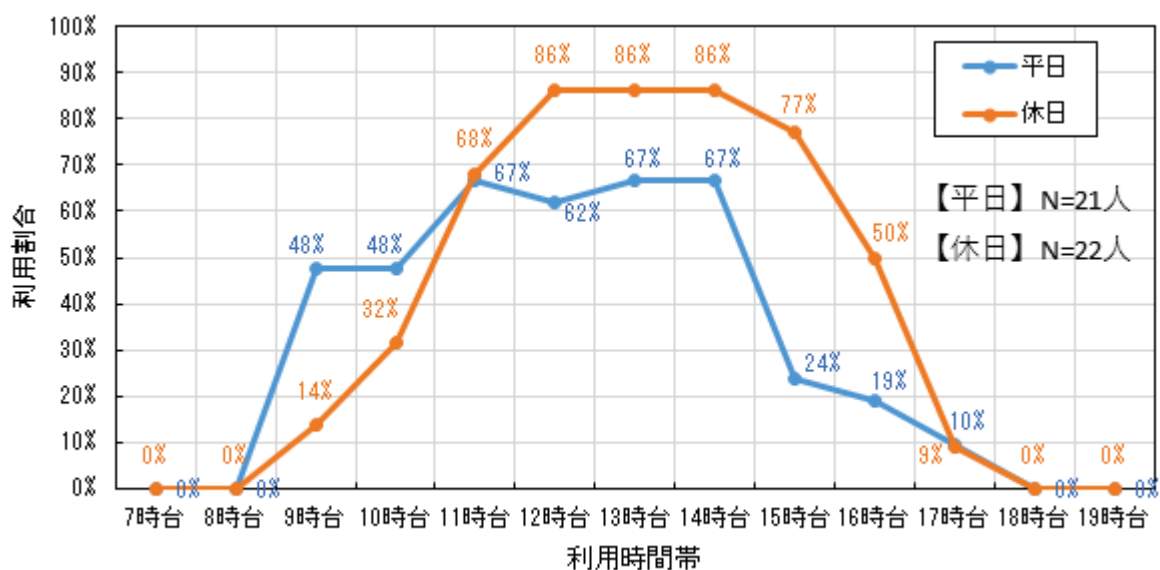


図 45 レンタサイクルの利用時間の分布（平常時）

5.10. 属性別の集計

前項まで、利用者全体での集計結果について掲載した。本項では、以下に示す属性別に集計し、属性ごとの特性を分析する。

表 11 滞在場所一覧

属性項目	比較区分
年齢	10～20 代、30～40 代、50 代以上
性別	男性、女性
居住地	茨城県内、関東（茨城県以外）、関東以外
グループ人数	1 人、2 人、3 人以上
貸出場所（自転車の種類）	北口貸出所（電動自転車）、南口貸出所（普通自転車）

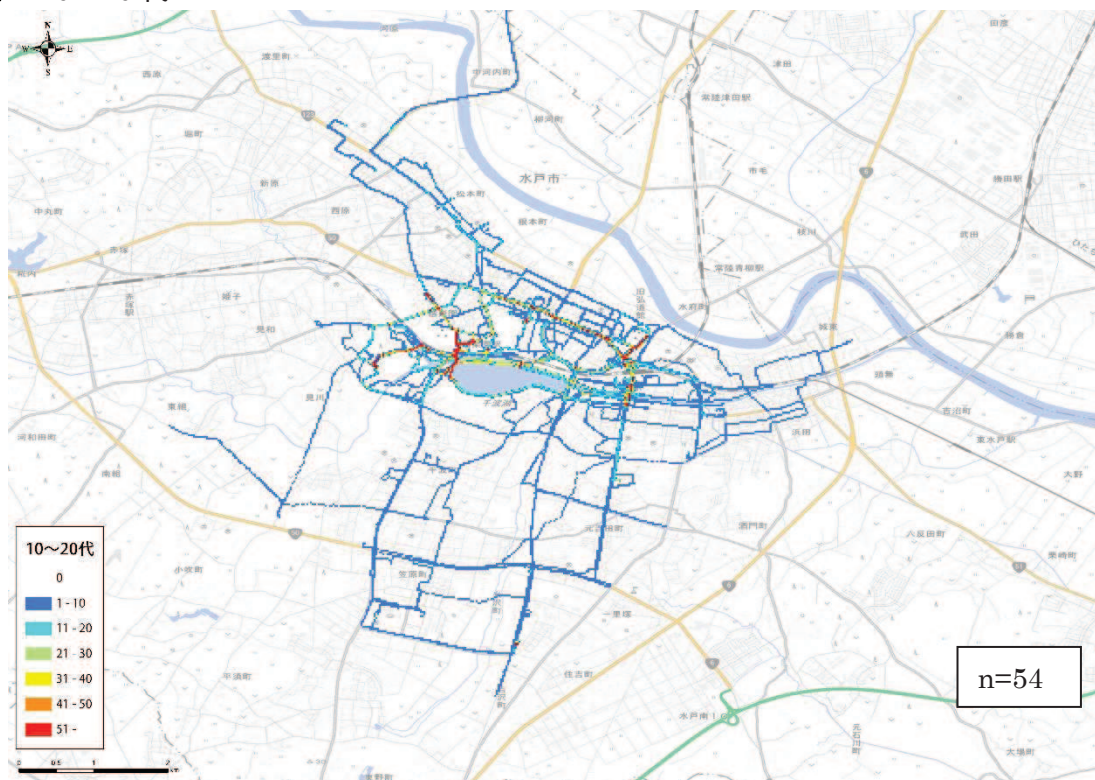
(1) 移動経路

1) 年齢

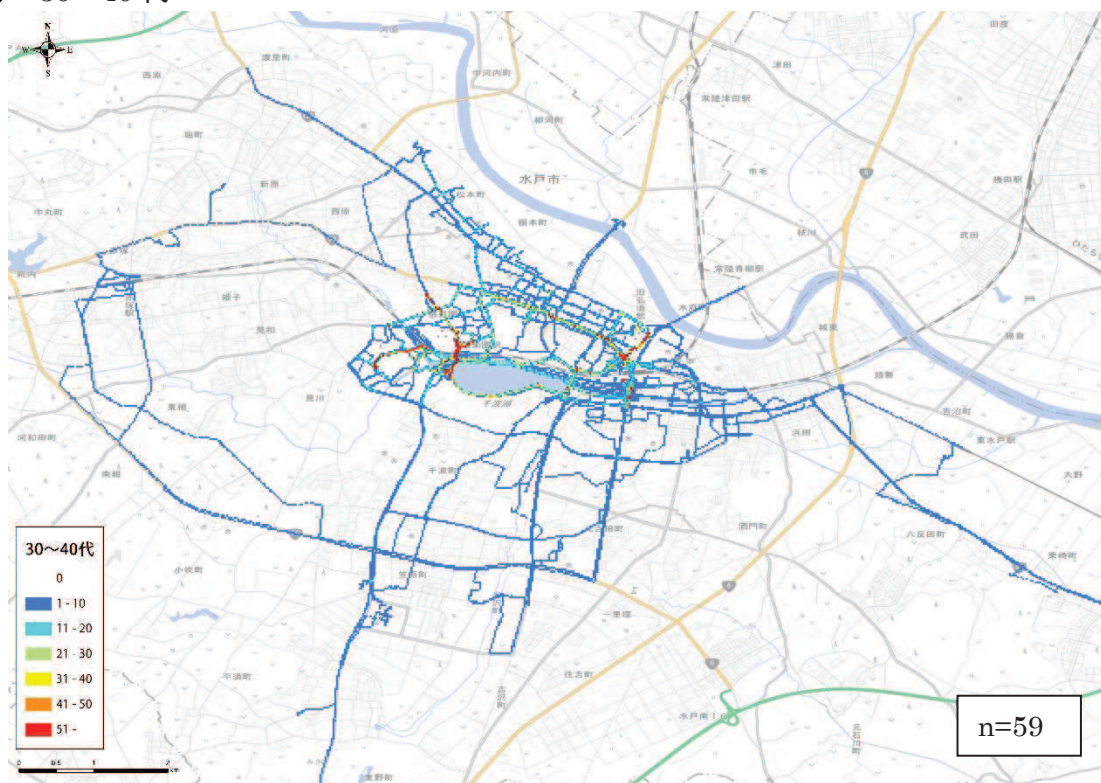
A) 梅まつり期間

30～40代が最も行動範囲が広く、50代以上は行動範囲が狭い。

(a) 10～20代



(b) 30～40代



(c) 50代以上

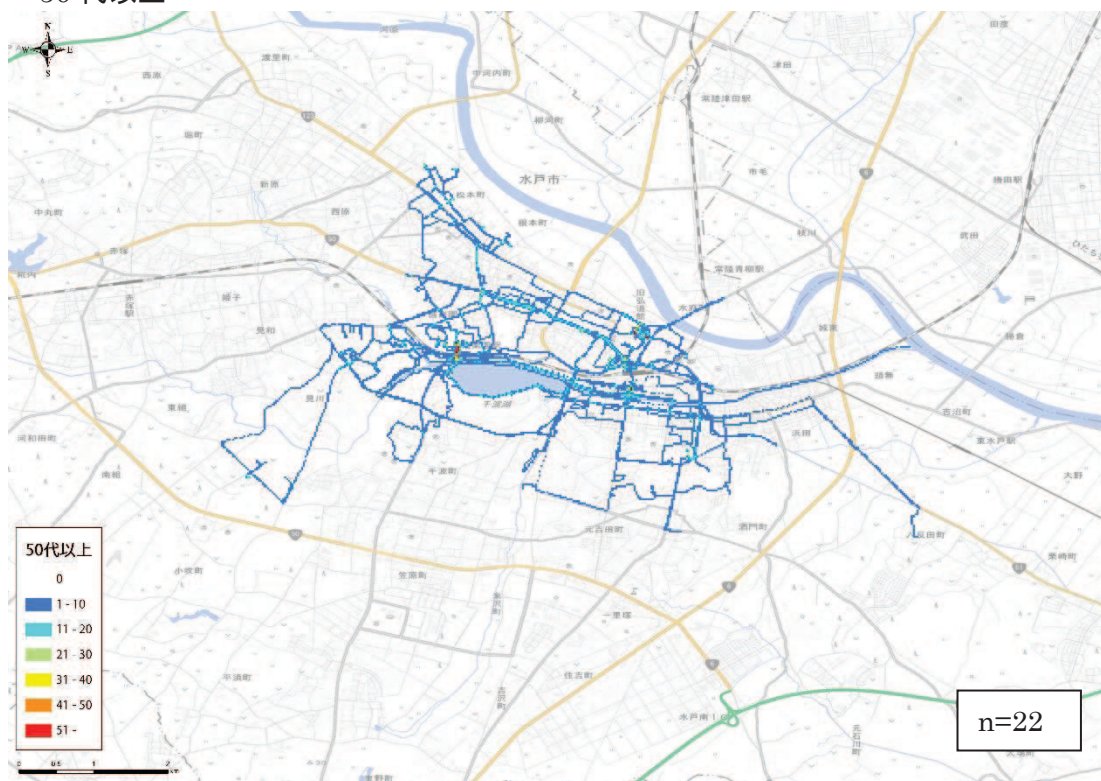
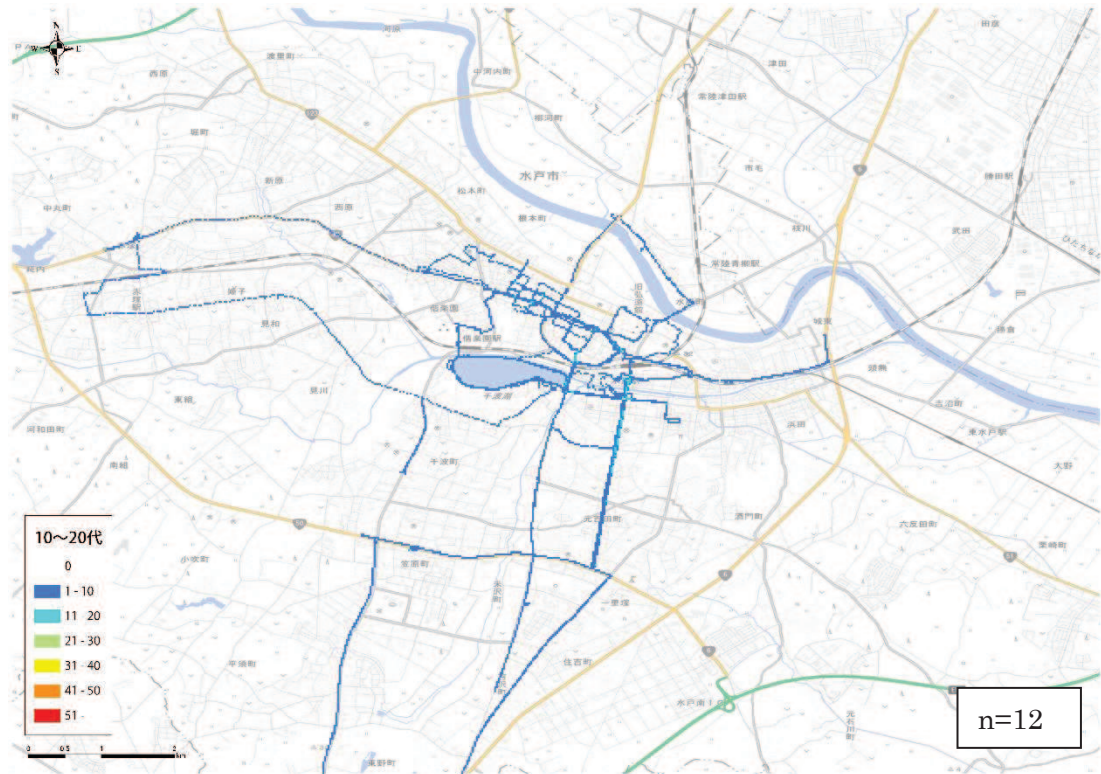


図 46 年齢別の利用経路（梅まつり期間）

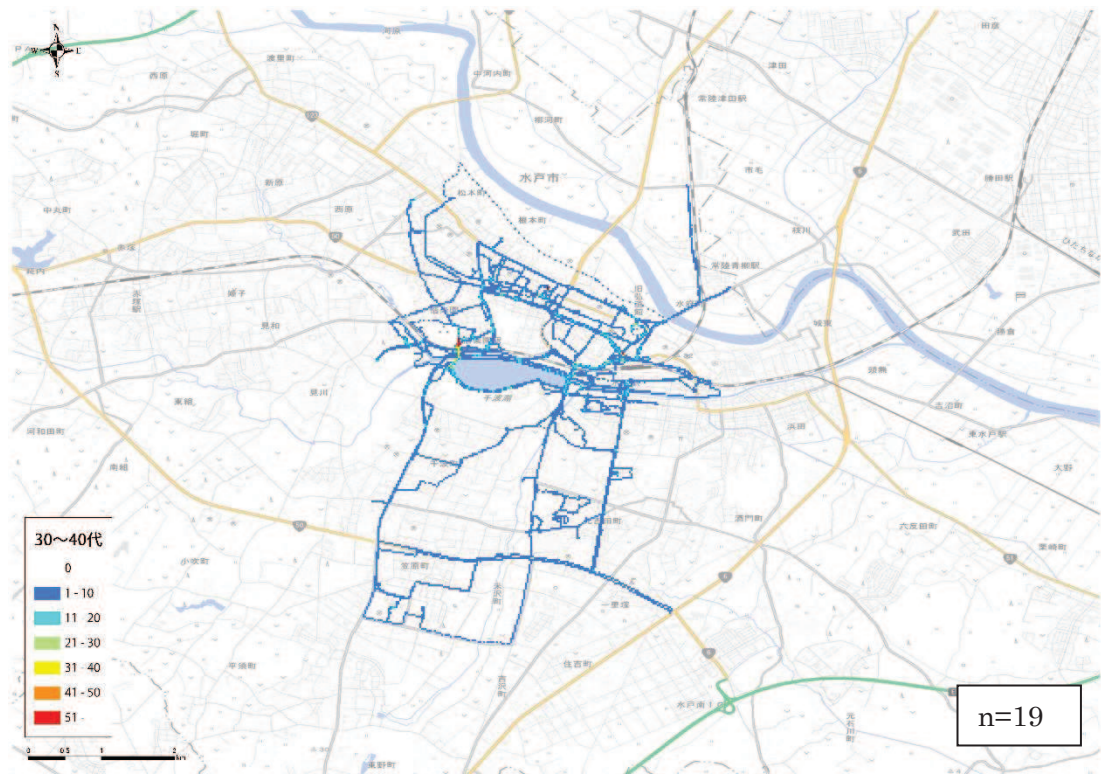
B) 平常時

年齢が若いほど、行動範囲は広い傾向にある。

(a) 10～20代



(b) 30～40代



(c) 50代以上

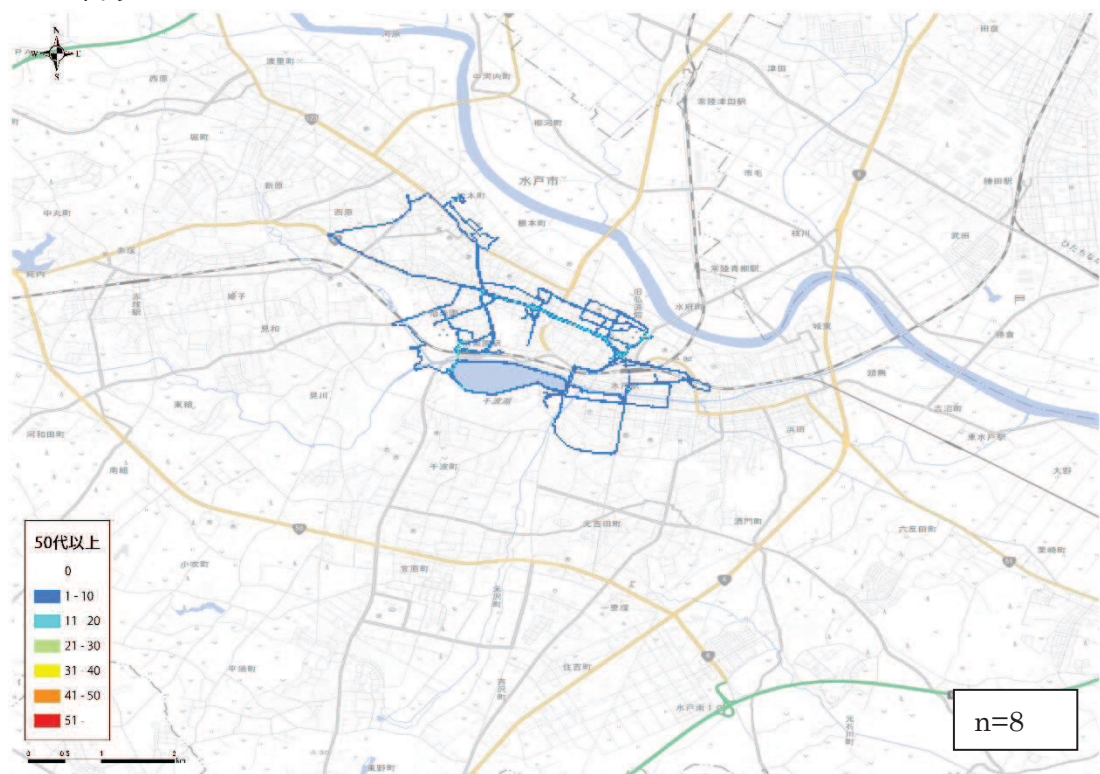


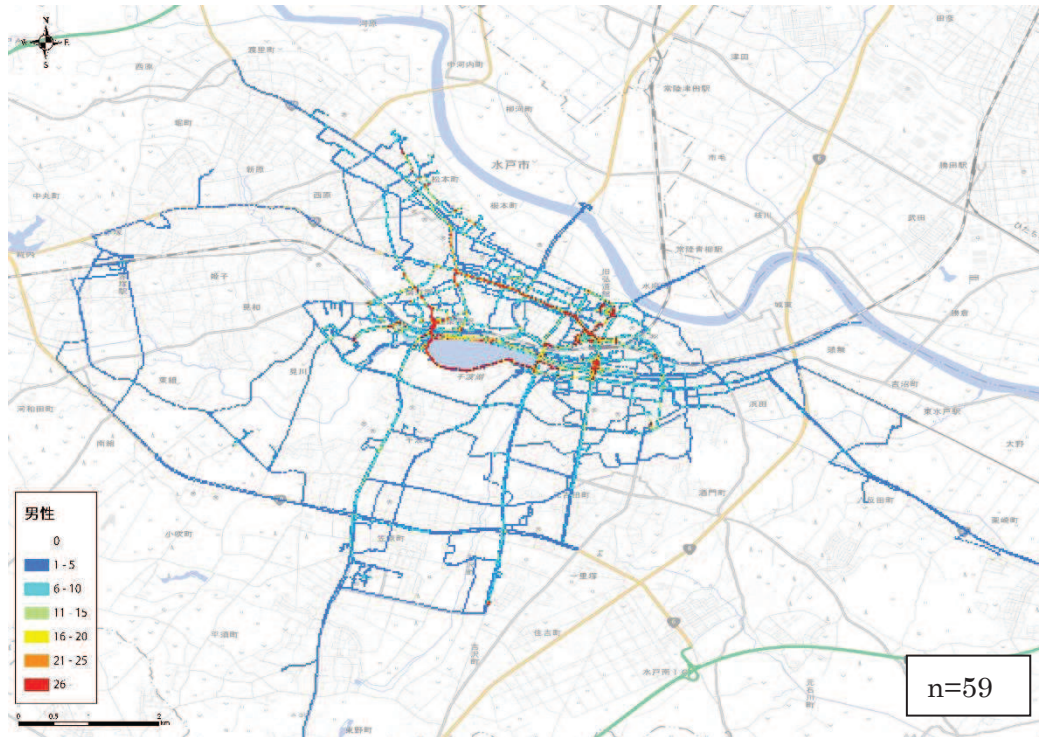
図 47 年齢別の利用経路（平常時）

2) 性別

A) 梅まつり期間

男性の方が、女性と比較して行動範囲が広く、また経路に多様性が見られる。

(a) 男性



(b) 女性

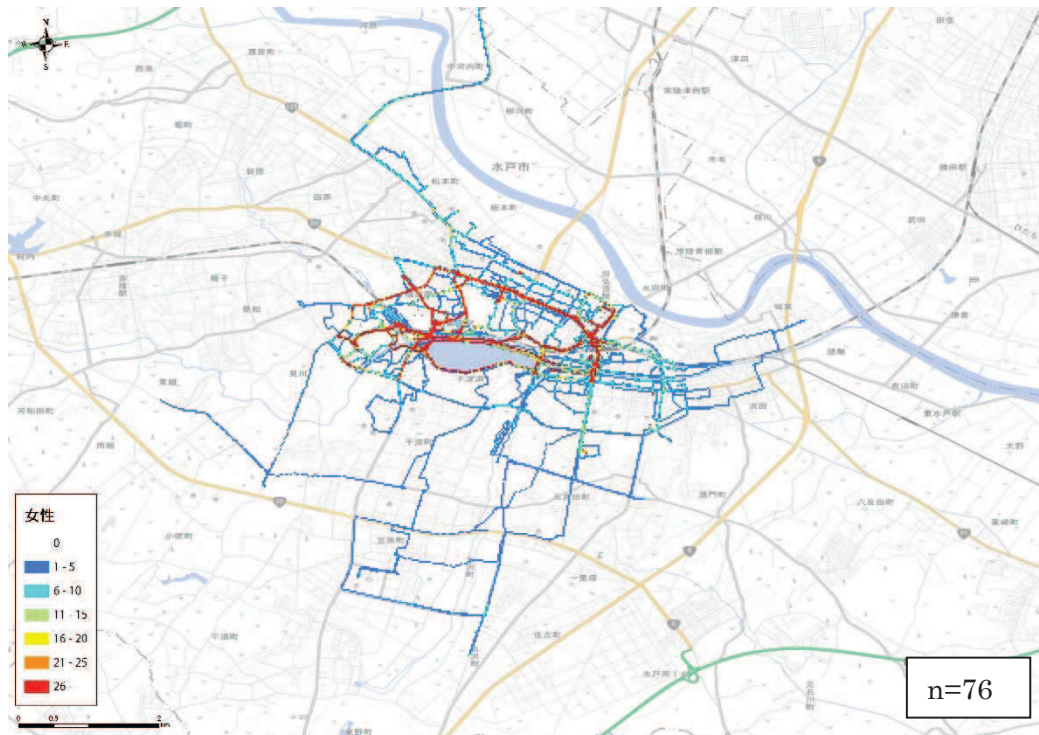
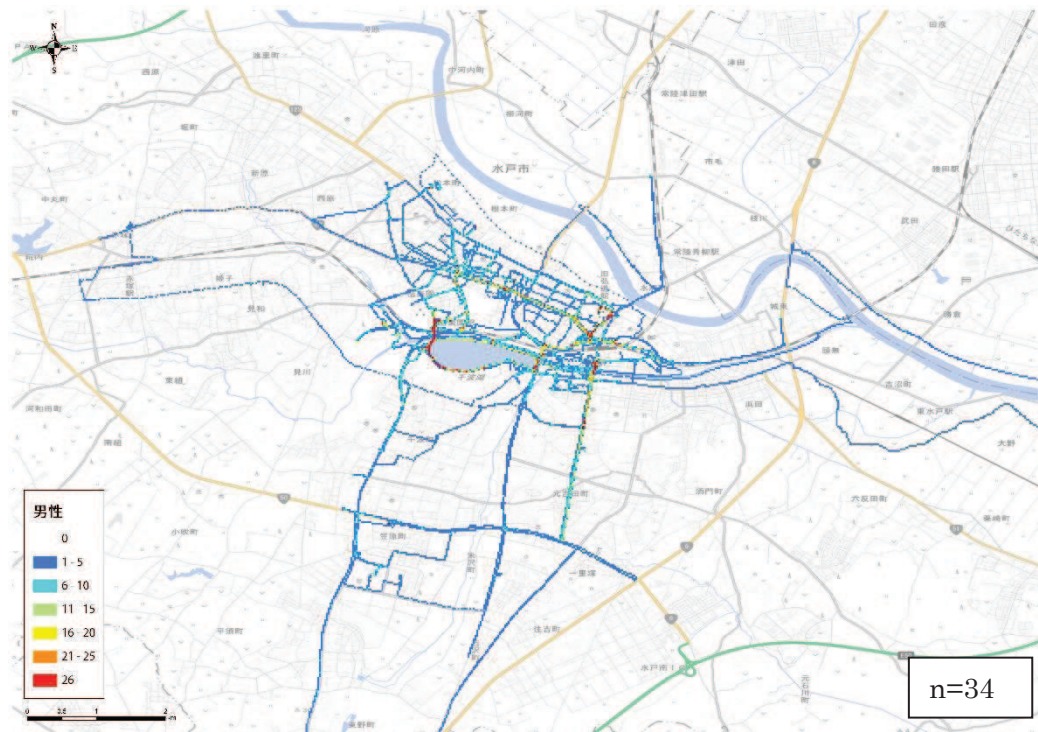


図 48 性別別の利用経路（梅まつり期間）

B) 平常時

男性の方が、女性と比較して行動範囲が広く、また経路に多様性が見られる。

(a) 男性



(b) 女性

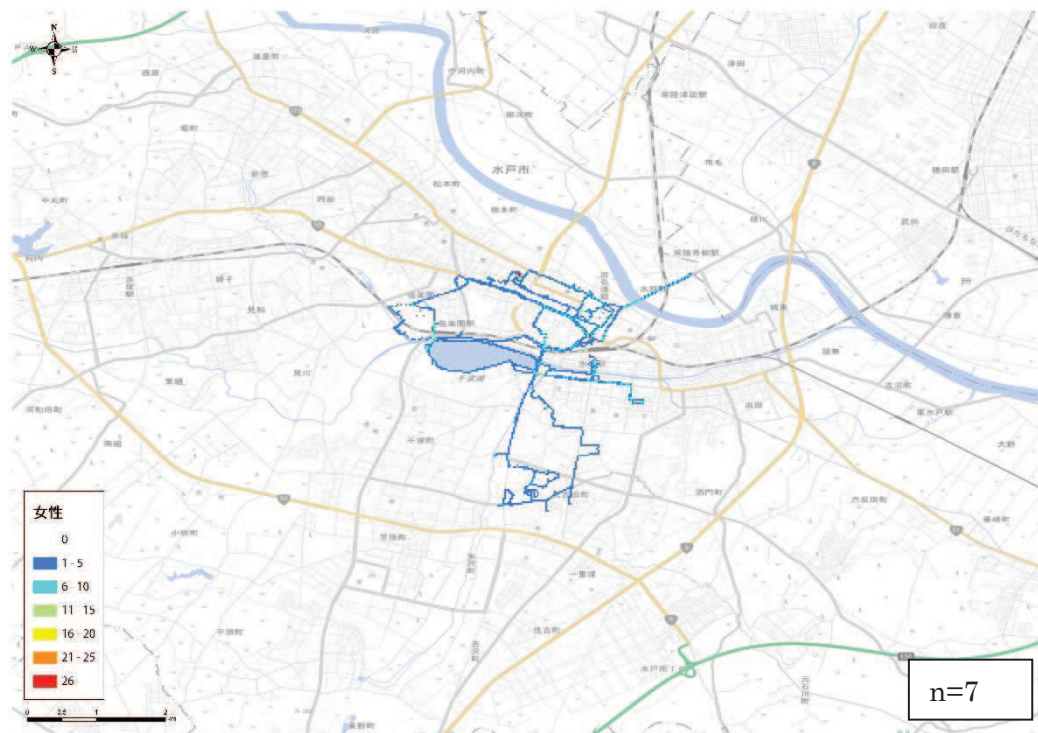


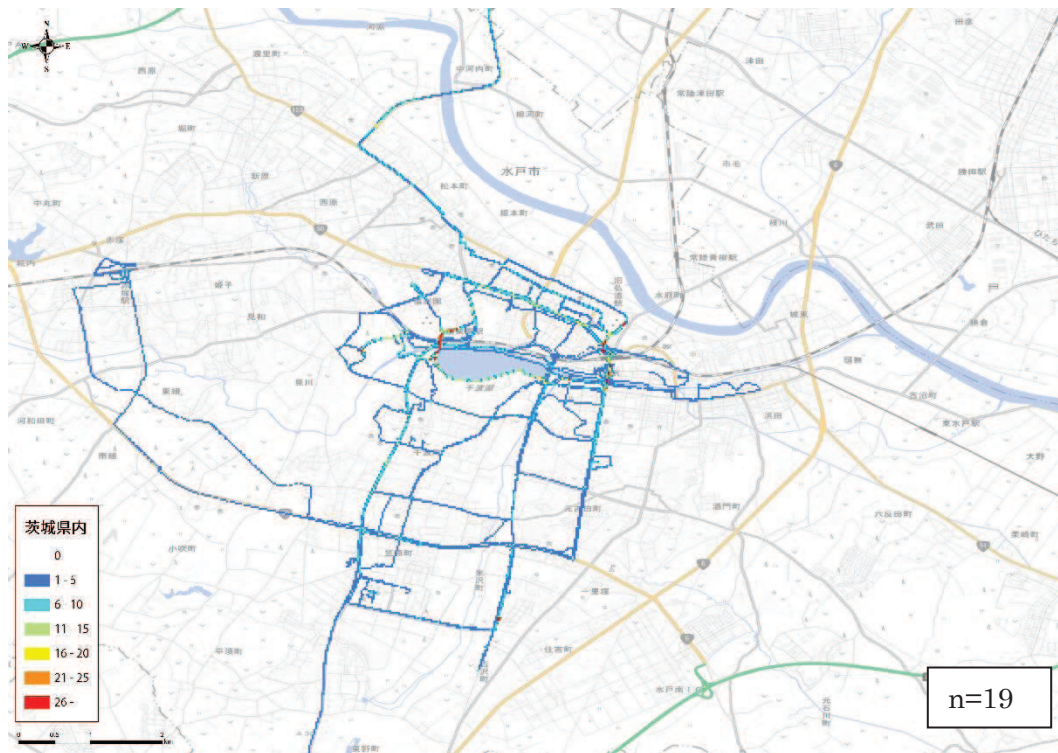
図 49 性別別の利用経路（平常時）

3) 居住地

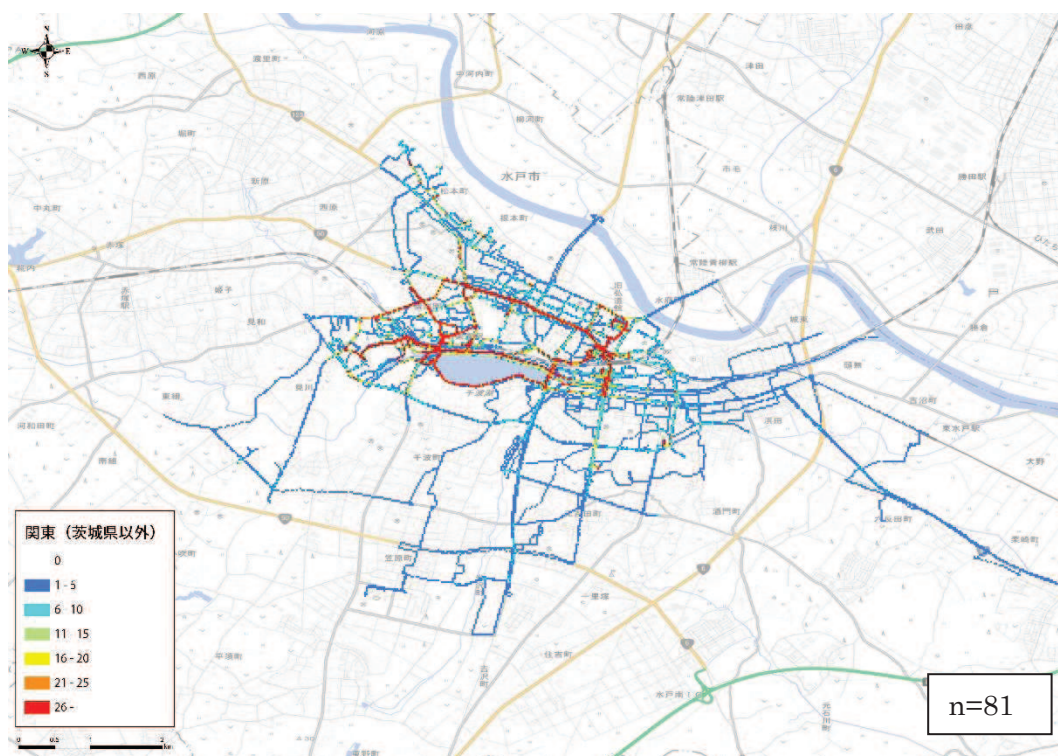
A) 梅まつり期間

茨城県内の利用者は、大きな通りを通る傾向にあり、また関東（茨城県以外）の利用者は経路に多様性が見られる。関東以外の利用者は、行動範囲が広い人も若干いるものの、概ね水戸駅・偕楽園臨時駅周辺の移動経路が集中している。

(a) 茨城県内



(b) 関東（茨城県以外）



(c) 関東以外

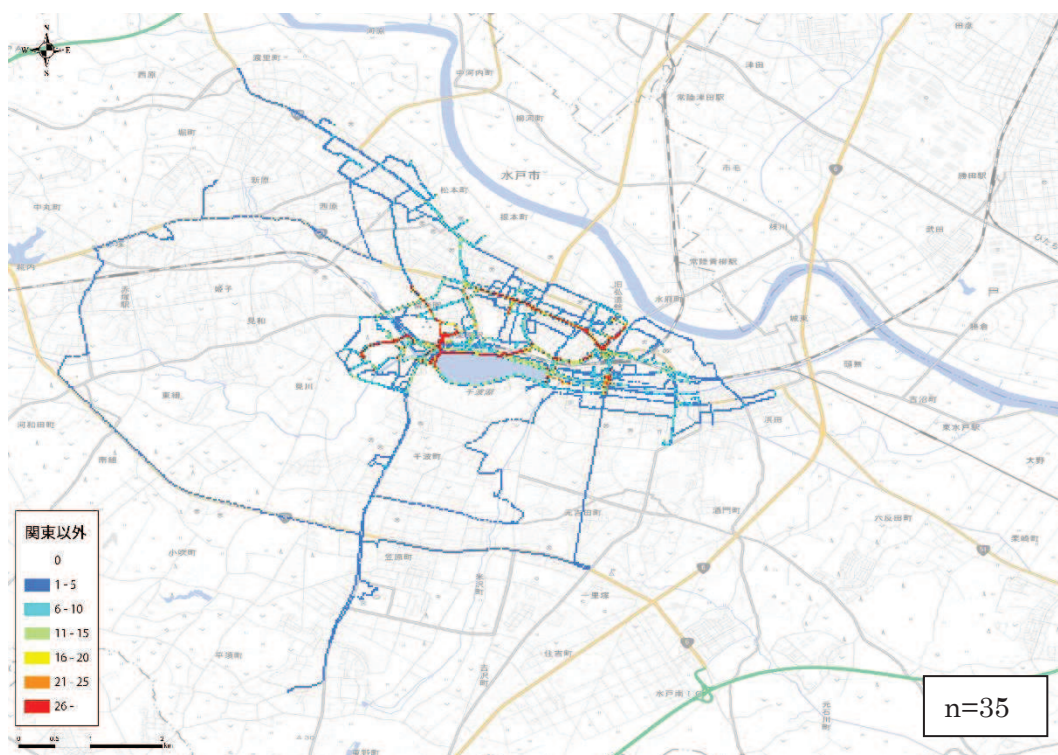
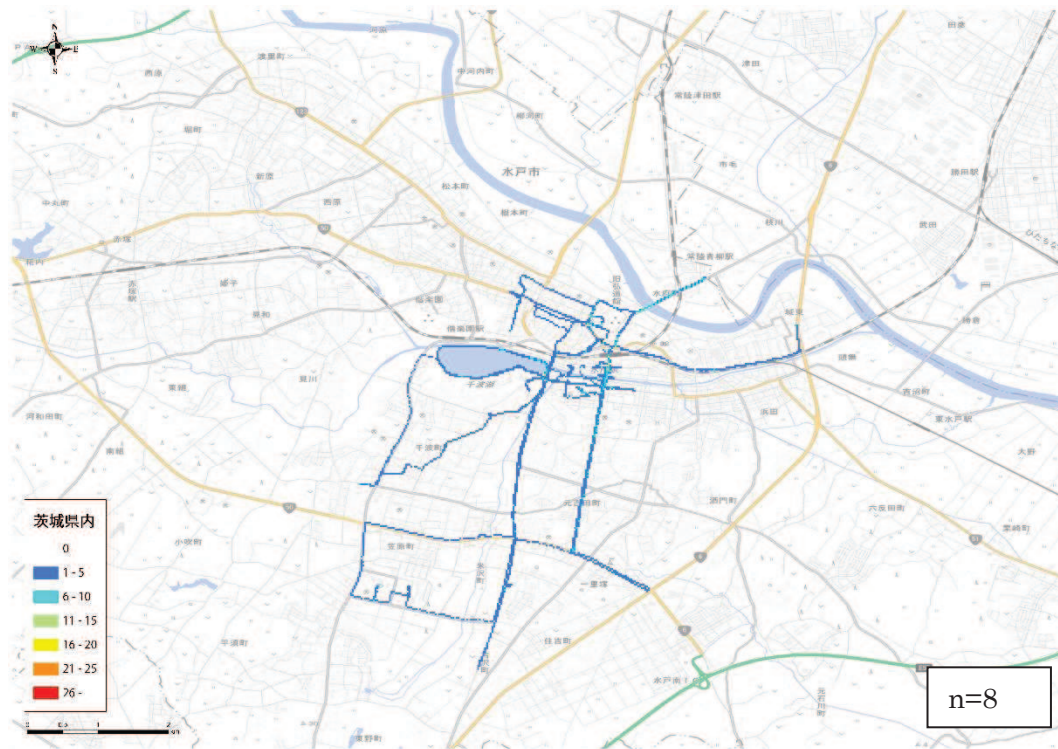


図 50 居住地別の利用経路（梅まつり期間）

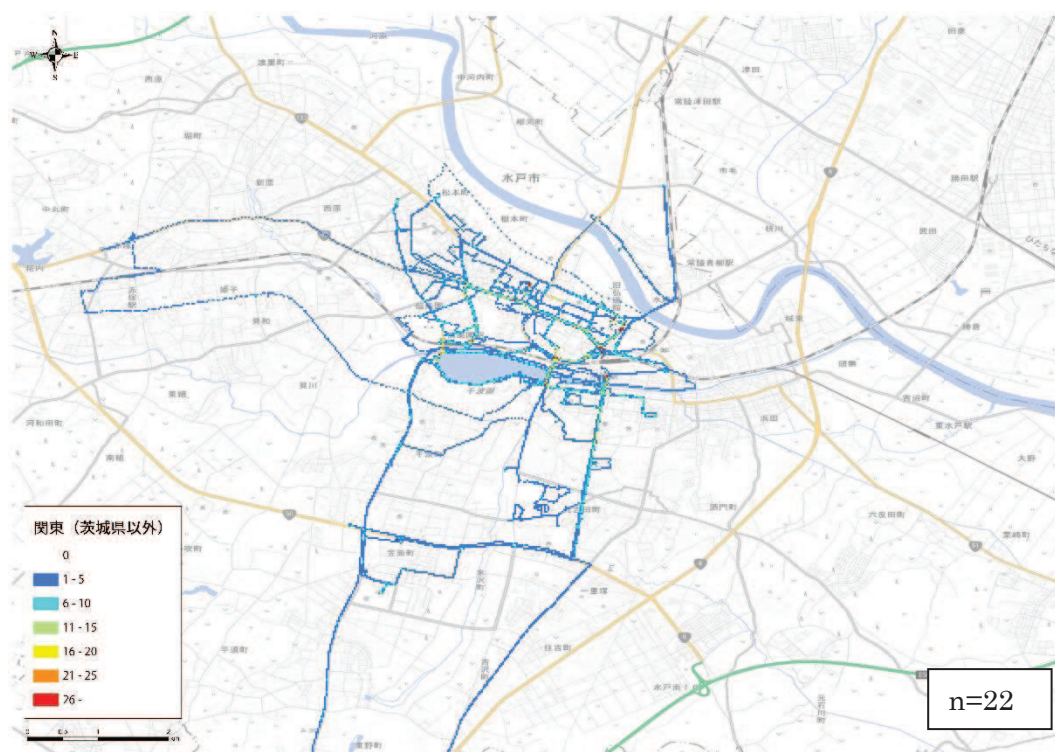
B) 平常時

茨城県内の利用者は、大きな通りを通る傾向にあり、また関東（茨城県以外）の利用者は経路に多様性が見られる。関東以外の利用者は、行動範囲が広い人も若干いるものの、概ね水戸駅・偕楽園臨時駅周辺の移動経路が集中している。

(a) 茨城県内



(b) 関東（茨城県以外）



(c) 関東以外

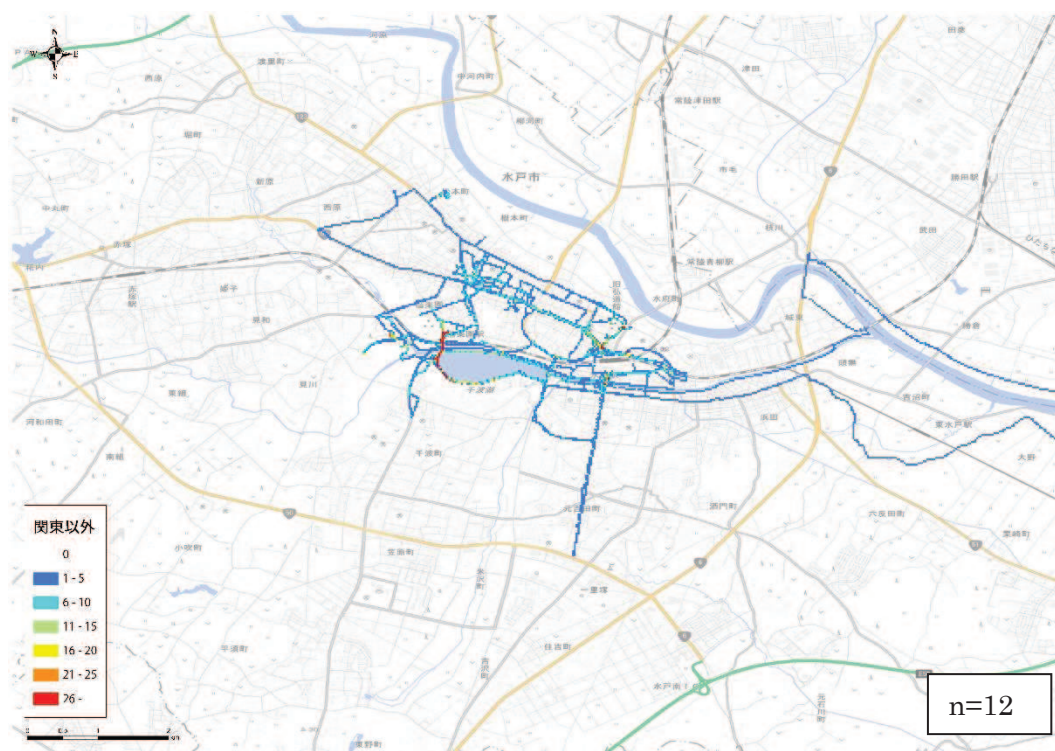


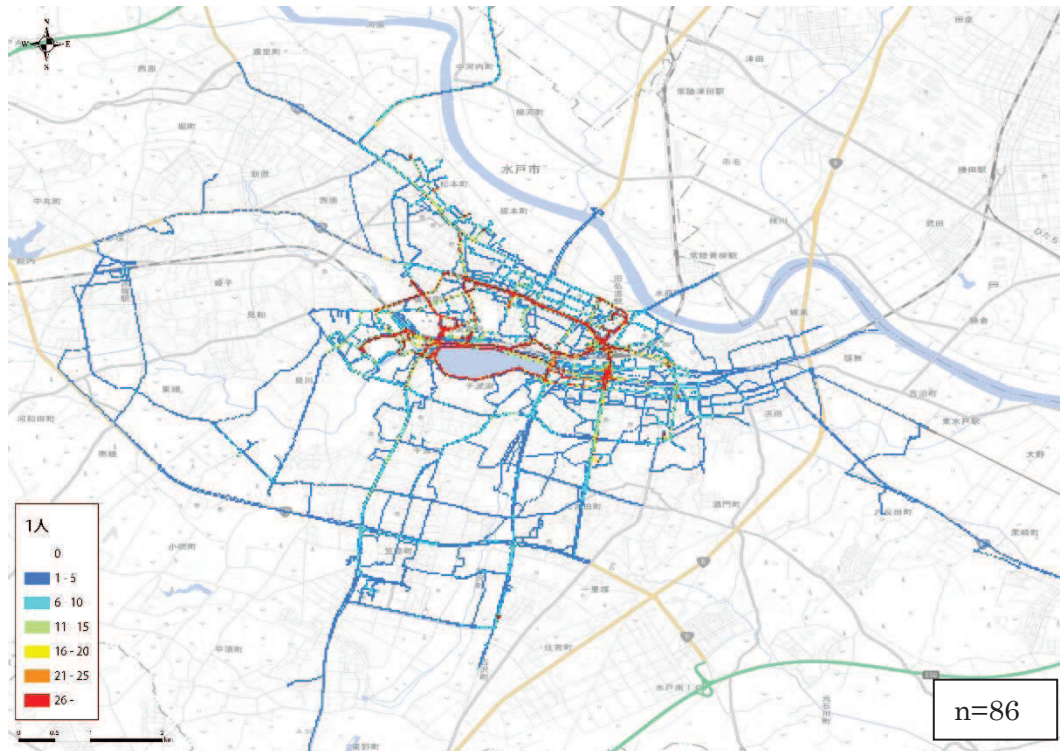
図 51 居住地別の利用経路（平常時）

4) グループ人数

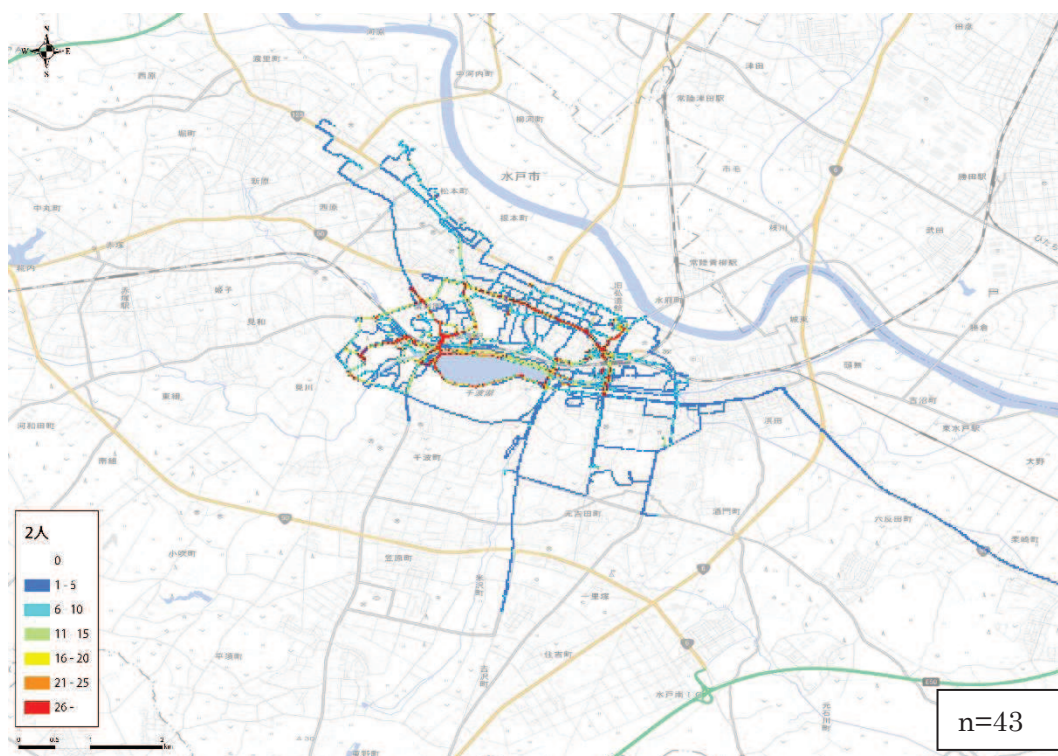
A) 梅まつり期間

グループ人数が多いほど行動範囲は狭まり、大通りを通る傾向にある。

(a) 1人



(b) 2人



(c) 3人以上

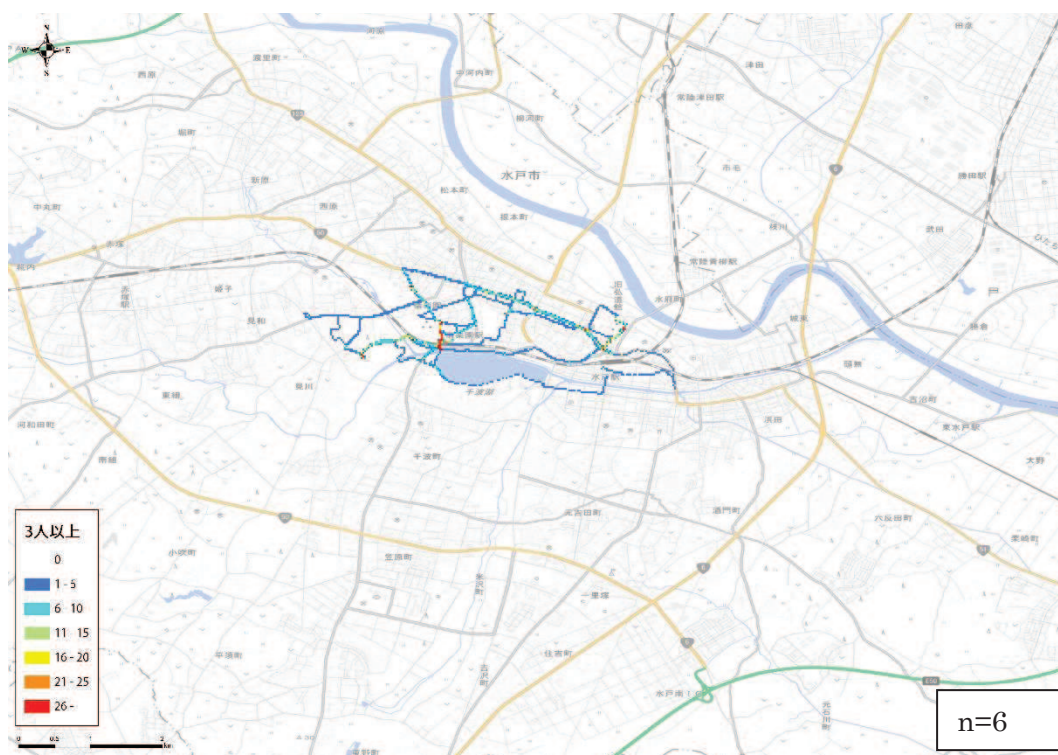
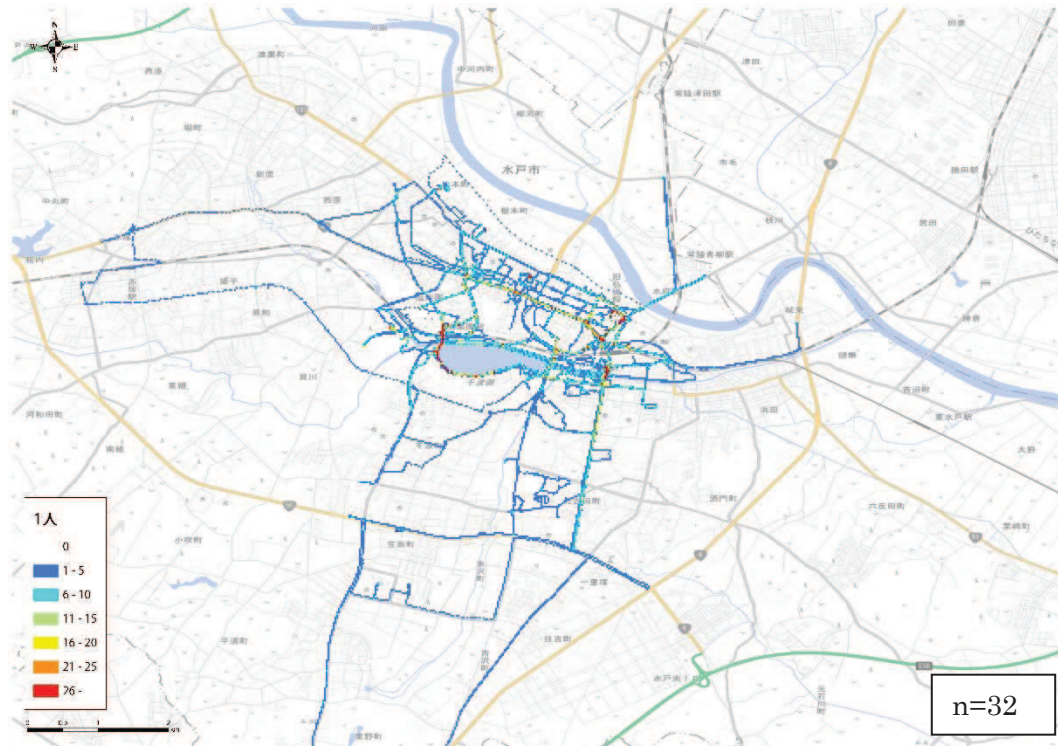


図 52 グループ人数別の利用経路（梅まつり期間）

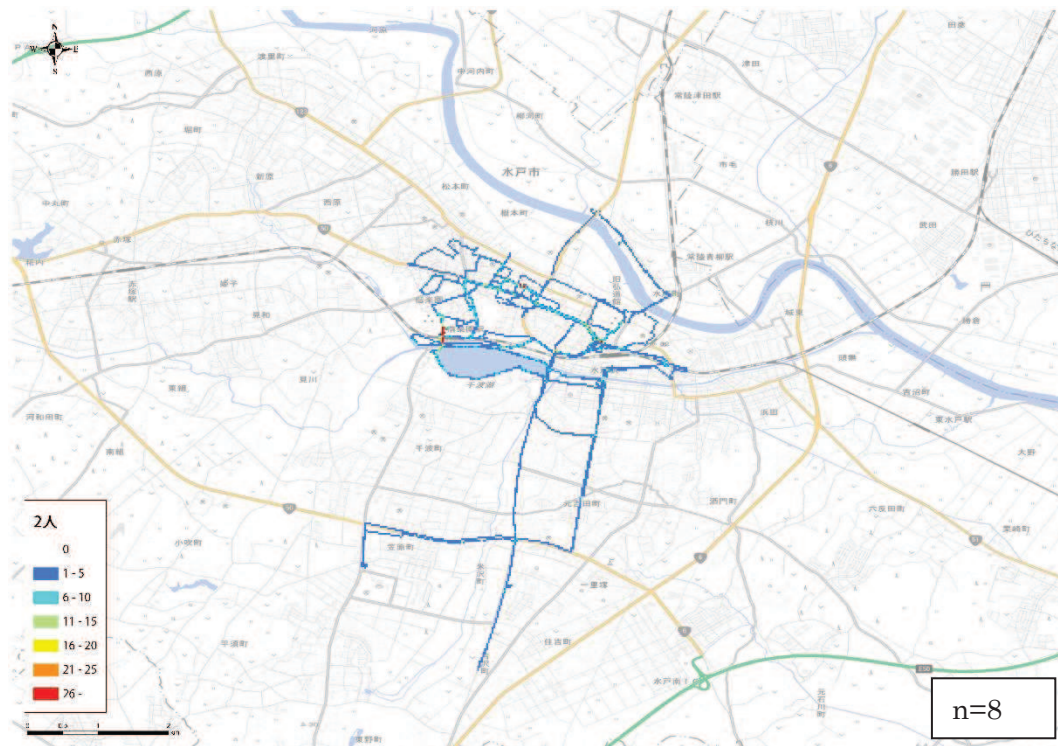
B) 平常時

2人グループは、1人グループより行動範囲が狭まり、大通りを通る傾向にある。

(a) 1人



(b) 2人



(c) 3人以上

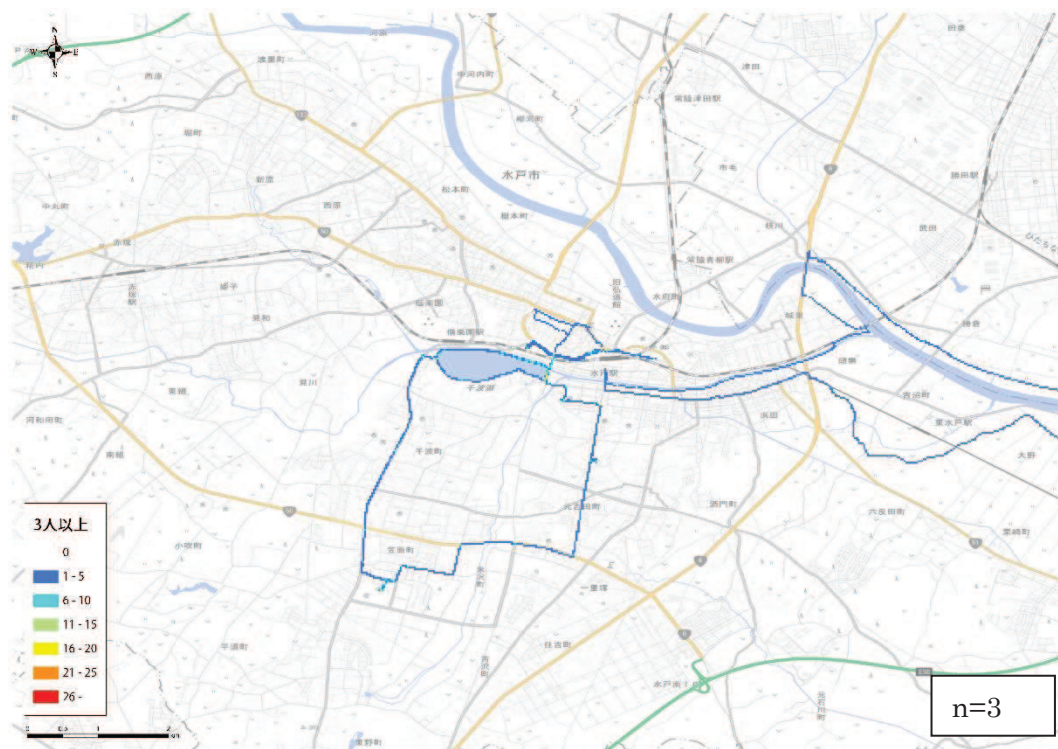


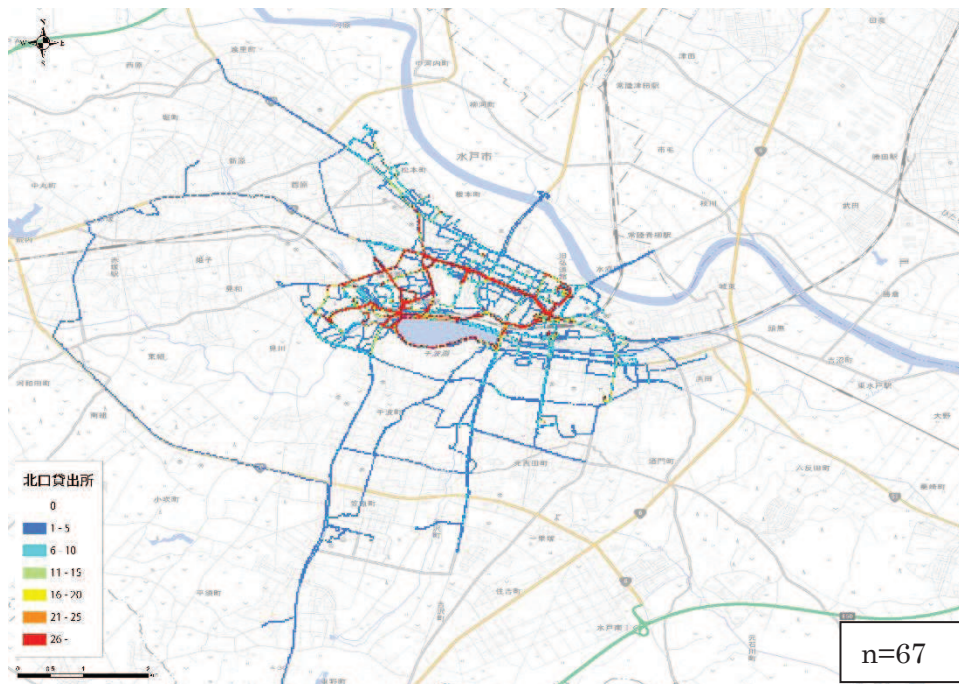
図 53 グループ人数別の利用経路（平常時）

5) 貸出場所（自転車の種類）

A) 梅まつり期間

北口貸出所（電動自転車）の利用者は、南口貸出所（普通自転車）の利用者よりも国道 50 号（黄門さん通り）の利用が多く、大通りを通る傾向にある。行動範囲にはあまり大差は見られない。

(a) 北口貸出所（電動自転車）



(b) 南口貸出所（普通自転車）

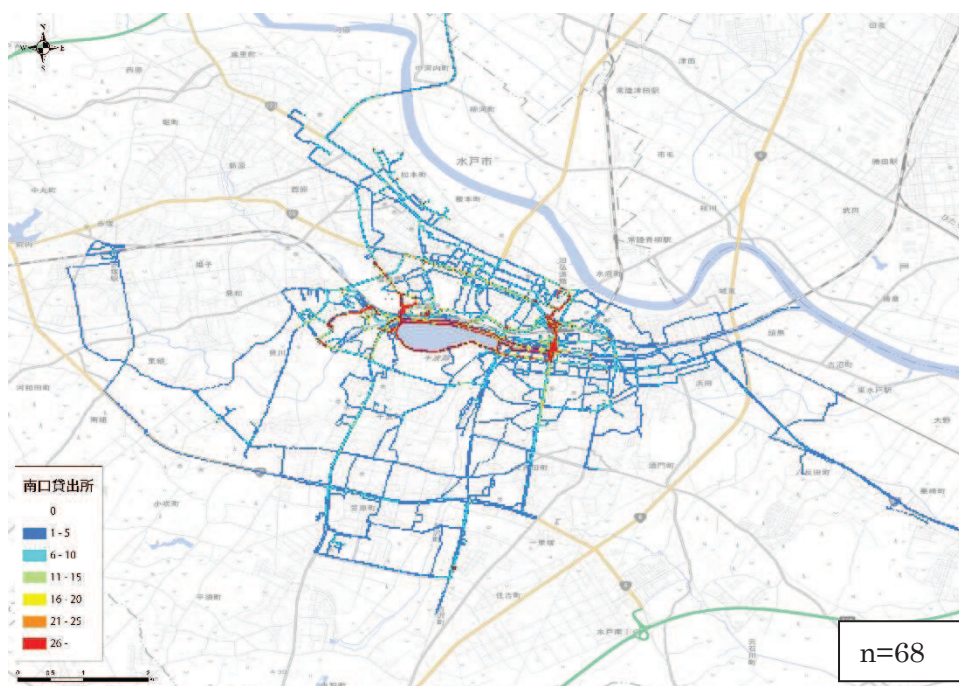
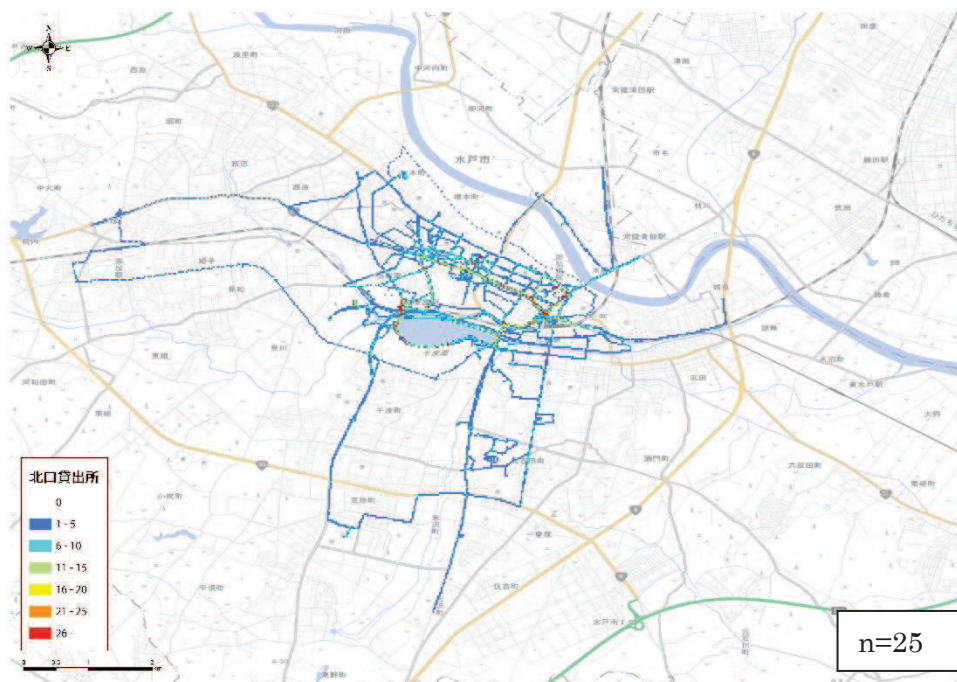


図 54 貸出場所別（自転車の種類別）の利用経路（梅まつり期間）

B) 平常時

北口貸出所（電動自転車）の利用者は、南口貸出所（普通自転車）の利用者よりも国道 50 号（黄門さん通り）及びその周辺道路の利用が多く、比較的幅員が狭い通りの利用が多い。行動範囲には大差は見られないが、南口貸出所で若干名が遠方へ利用している。

(a) 北口貸出所（電動自転車）



(b) 南口貸出所（普通自転車）

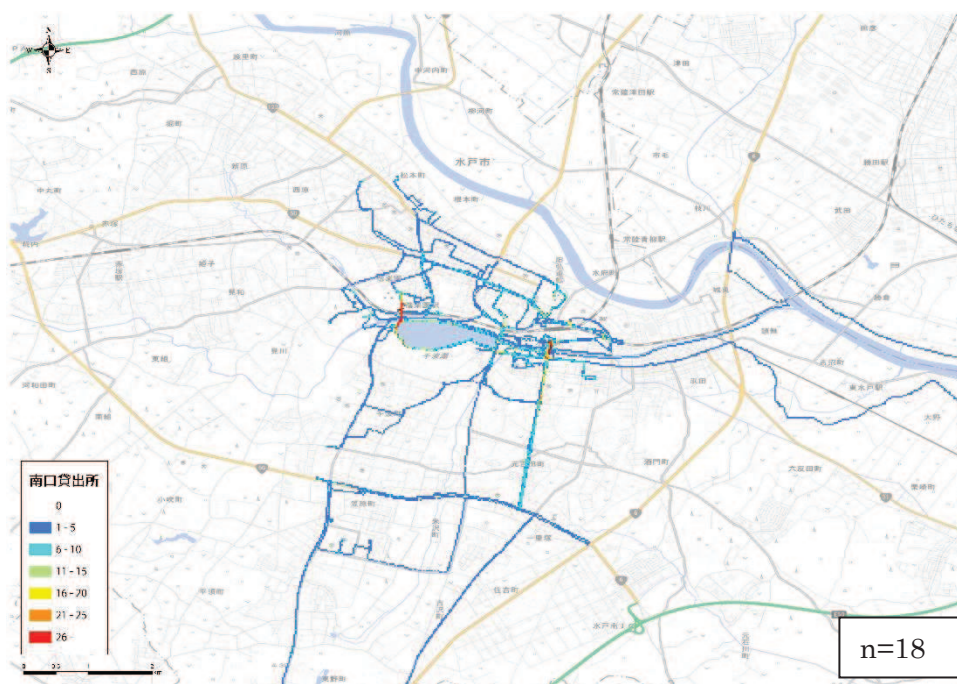


図 55 貸出場所別（自転車の種類別）の利用経路（平常時）

(2) 滞在場所及び滞在時間

1) 年齢

A) 梅まつり期間

50代以上は、弘道館、偕楽園（その他）に多く滞在する傾向にある。

滞在時間は、茨城県立歴史館では50代以上が10～20代、30～40代より30分以上長く、ビレッジ310では10～20代が30～40代より30分以上長い傾向にある。

表 12 年齢別の滞在場所及び滞在時間（梅まつり期間）

滞在場所	滞在延べ人数			平均滞在時間		
	10～20代	30～40代	50代以上	10～20代	30～40代	50代以上
徳川ミュージアム	27	28	1	1:30	1:22	0:51
弘道館	22	30	6	0:38	0:40	0:48
茨城県立歴史館	19	14	2	0:51	0:51	2:16
偕楽園（その他）	16	11	8	1:11	0:46	1:33
偕楽園（東門）	12	18	2	1:04	1:35	0:30
千波公園（徳川光圀像）	8	7	0	0:30	0:37	-
千波湖西側駐車場	5	7	0	0:56	1:31	-
偕楽園（見晴亭）	3	2	0	1:02	0:52	-
偕楽園（桜山第三駐車場）	3	0	0	0:52	-	-
南町自由広場	2	6	0	0:23	0:33	-
偕楽園（桜山第二駐車場）	2	3	0	1:21	1:04	-
ビレッジ310	2	3	0	1:13	0:44	-
偕楽園（常磐神社駐車場）	2	3	0	0:39	0:37	-
偕楽園（好文亭表門）	1	2	2	0:52	-	-
茨城県護国神社	1	1	2	0:15	0:26	0:19
水戸芸術館	0	2	1	-	0:21	0:25
茨城県近代美術館	0	2	0	-	1:37	-

※10～20代 n=54、30～40代 n=59、50代以上 n=22



図 56 年齢別の滞場所（10～20代 梅まつり期間）



図 57 年齢別の滞在場所 (30~40 代 梅まつり期間)



図 58 年齢別の滞在场所（50 代以上 梅まつり期間）

B) 平常時

滞在場所は、10～20代は、京成百貨店、BOOKOFF50号水戸元吉田店など、商業施設への滞在が多い。30～40代は、偕楽園(東門)、弘道館などの観光施設への滞在が多いが、茨城県立図書館や茨城県庁など、図書館や官庁への滞在も多い。50代以上は、京成百貨店が1人いるものの、その他はすべて観光施設への滞在である。

滞在時間は、30～40代が比較的長い傾向にある。

表 13 年齢別の滞在場所及び滞在時間（平常時）

滞在場所	滞在延べ人数			平均滞在時間		
	10～20代	30～40代	50代以上	10～20代	30～40代	50代以上
京成百貨店	3	0	1	1:18	—	0:50
偕楽園（東門）	2	4	4	0:52	1:02	1:16
BOOKOFF50号水戸元吉田店	2	0	0	1:52	—	—
水戸市立博物館	1	1	0	0:45	1:02	—
黄門さんおしゃべりパーク	1	0	0	0:22	—	—
弘道館	0	4	3	—	0:39	0:51
茨城県近代美術館	0	1	2	—	0:55	0:31
偕楽園（その他）	0	2	0	—	0:44	—
茨城県立図書館	0	2	0	—	2:11	—
偕楽園（好文亭）	0	1	1	—	1:48	0:32
桂岸寺（二十三夜尊）	0	1	1	—	2:12	0:23
水戸芸術館	0	2	0	—	0:52	—
徳川ミュージアム	0	2	0	—	0:34	—
偕楽園（好文亭表門）	0	0	2	—	—	0:46
茨城県庁	0	2	0	—	0:31	—
茨城県立歴史館	0	1	0	—	0:51	—
偕楽園（常磐神社駐車場）	0	1	0	—	0:39	—

※10～20代 n=12、30～40代 n=19、50代以上 n=8



図 59 年齢別の滞在场所（10～20 代 平常時）



図 60 年齢別の滞在场所（30～40代 平常時）

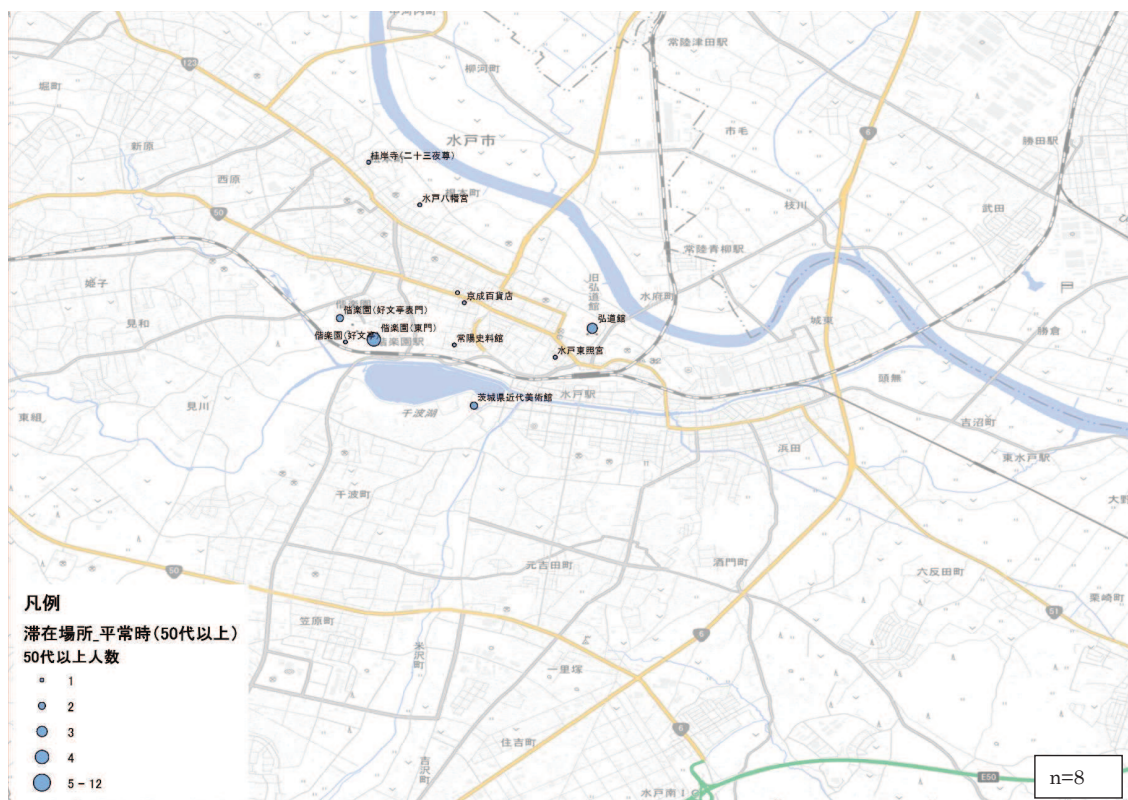


図 61 年齢別の滞在场所 (50 代以上 平常時)

2) 性別

A) 梅まつり期間

滞在場所は、弘道館、徳川ミュージアム、茨城県立歴史館で、特に女性が多く滞在する傾向にある。

滞在時間は、偕楽園（その他）、茨城県立歴史館で、男性が女性よりも平均して 30 分以上滞在時間が長く、反対に徳川ミュージアム、千波湖西側駐車場で、女性は男性よりも平均して 30 分以上滞在時間が長い。

表 14 年齢別の滞在場所及び滞在時間（梅まつり期間）

滞在場所	滞在延べ人数		平均滞在時間	
	男性	女性	男性	女性
弘道館	 17	 41	 0:45	 0:38
偕楽園（東門）	 15	 17	 1:24	 1:14
偕楽園（その他）	 11	 24	 1:36	 0:56
徳川ミュージアム	 6	 50	 0:44	 1:30
茨城県立歴史館	 5	 30	 1:40	 0:49
偕楽園（好文亭表門）	 3	 2	 0:50	 0:40
水戸芸術館	 3	 0	 0:22	—
千波公園（徳川光圀像）	 3	 12	 0:24	 0:35
千波湖西側駐車場	 2	 10	 0:47	 1:22
偕楽園（見晴亭）	 2	 3	 1:10	 0:50
茨城県護国神社	 2	 2	 0:19	 0:20
偕楽園（常磐神社駐車場）	 1	 4	 0:46	 0:36
偕楽園（桜山第三駐車場）	 1	 2	 0:37	 1:00
茨城県近代美術館	 1	 1	 1:18	 1:56
南町自由広場	 0	 8	—	 0:30
偕楽園（桜山第二駐車場）	 0	 5	—	 1:11
ビレッヂ310	 0	 5	—	 0:56

※男性 n=59、女性 n=76



図 62 性別別の滞在场所（男性 梅まつり期間）



B) 平常時

滞在場所は、男性、女性ともに偕楽園（東門）、弘道館が多い。また、男性は、京成百貨店、BOOKOFF50号水戸元吉田店、茨城県庁など、観光施設以外への滞在が多い。

滞在時間は、サンプル数がばらついているため比較が困難であるが、大きな差はないと考えられる。

表 15 年齢別の滞在場所及び滞在時間（平常時）

滞在場所	滞在延べ人数		平均滞在時間	
	男性	女性	男性	女性
偕楽園（東門）	7	2	1:01	1:30
弘道館	6	3	0:49	0:41
京成百貨店	4	0	1:11	－
茨城県近代美術館	3	0	0:39	－
水戸市立博物館	2	0	0:53	－
BOOKOFF50号水戸元吉田店	2	0	1:52	－
桂岸寺（二十三夜尊）	2	0	1:17	－
徳川ミュージアム	2	0	0:34	－
茨城県庁	2	0	0:31	－
偕楽園（その他）	1	1	1:12	0:16
茨城県立図書館	1	1	2:13	2:09
偕楽園（好文亭）	1	1	0:32	1:48
偕楽園（好文亭表門）	1	1	0:44	0:48
茨城県立歴史館	1	0	0:51	－
偕楽園（常磐神社駐車場）	1	0	0:39	－
黄門さんおしゃべりパーク	1	0	0:22	－
水戸芸術館	0	1	－	1:19

※男性 n=34、女性 n=7



図 64 性別別の滞在場所（男性 平常時）



図 65 性別別の滞在场所（女性 平常時）

3) 居住地

A) 梅まつり期間

居住地が関東以外の利用者は、茨城県立歴史館での滞在人数が少ない傾向にある。

滞在時間は、関東（茨城県以外）と関東以外の利用者を比較すると、関東以外の利用者は、偕楽園（その他）で平均にして 28 分長く、偕楽園（東門）で平均にして 43 分短いが、それ以外の滞在所では概ね傾向は類似している。

表 16 居住地別の滞在所及び滞在時間（梅まつり期間）

滞在所	滞在延べ人数			平均滞在時間		
	茨城県内	関東 (茨城県以外)	関東以外	茨城県内	関東 (茨城県以外)	関東以外
徳川ミュージアム	4	36	16	0:55	1:23	1:38
弘道館	3	37	18	0:24	0:42	0:39
千波公園（徳川光圀像）	3	7	5	0:41	0:40	0:18
茨城県立歴史館	2	26	7	0:39	0:59	0:49
偕楽園（その他）	2	21	12	1:17	0:58	1:26
偕楽園（東門）	2	20	10	0:27	1:37	0:54
千波湖西側駐車場	2	5	5	0:45	1:26	1:19
南町自由広場	1	3	4	0:28	0:38	0:26
偕楽園（桜山第二駐車場）	1	3	1	1:33	1:08	0:57
偕楽園（常磐神社駐車場）	1	3	1	0:46	0:37	0:31
偕楽園（桜山第三駐車場）	1	2	0	0:37	1:00	—
偕楽園（見晴亭）	0	5	0	—	0:58	—
ビレッジ310	0	5	0	—	0:56	—
偕楽園（好文亭表門）	0	4	1	—	0:45	0:51
茨城県護国神社	0	3	1	—	0:18	0:26
水戸芸術館	0	2	1	—	0:21	0:25
茨城県近代美術館	0	1	1	—	1:56	1:18

※茨城県内 n=19、関東（茨城県以外）n=81、関東以外 n=35



図 66 居住地別の滞り場所（茨城県内 梅まつり期間）



図 67 居住地別の滞在場所（関東（茨城県以外） 梅まつり期間）

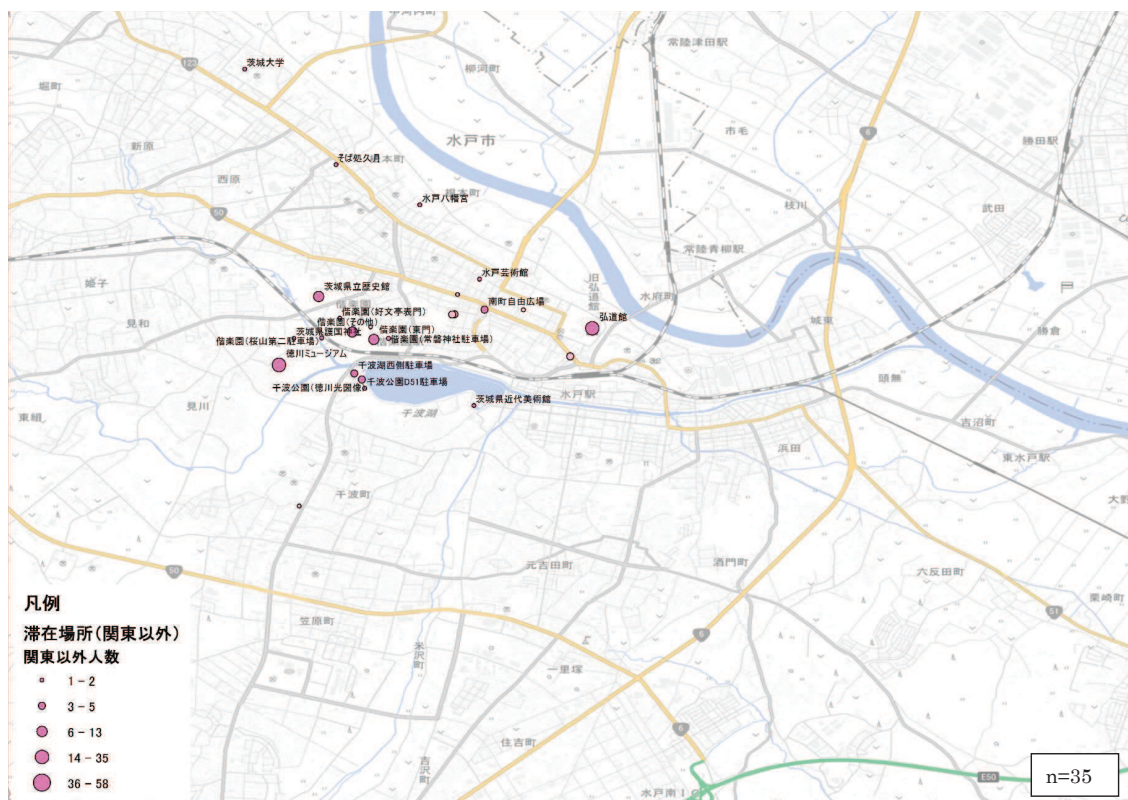


図 68 居住地別の滞り場所（関東以外 梅まつり期間）

B) 平常時

滞在場所は、茨城県内は観光施設への滞在が少なく、それ以外は主に観光施設への滞在が多い。

滞在時間は、茨城県内が短く、関東（茨城県以外）が長い傾向にある。

表 17 居住地別の滞在場所及び滞在時間（平常時）

滞在場所	滞在延べ人数			平均滞在時間		
	茨城県内	関東 (茨城県以外)	関東以外	茨城県内	関東 (茨城県以外)	関東以外
京成百貨店	1	3	0	0:50	1:18	-
茨城県近代美術館	1	2	0	0:24	0:47	-
BOOKOFF50号水戸元吉田店	1	0	1	1:34	-	2:09
茨城県庁	1	1	0	0:29	0:34	-
黄門さんおしゃべりパーク	1	0	0	0:22	-	-
偕楽園（東門）	0	2	8	-	1:55	0:49
弘道館	0	5	4	-	0:42	0:52
偕楽園（その他）	0	2	0	-	0:44	-
水戸市立博物館	0	2	0	-	0:53	-
茨城県立図書館	0	2	0	-	2:11	-
偕楽園（好文亭）	0	1	1	-	1:48	0:32
桂岸寺（二十三夜尊）	0	2	0	-	1:17	-
水戸芸術館	0	1	0	-	1:19	-
徳川ミュージアム	0	0	2	-	-	0:34
偕楽園（好文亭表門）	0	1	1	-	0:44	0:48
茨城県立歴史館	0	1	0	-	0:51	-
偕楽園（常磐神社駐車場）	0	1	0	-	0:39	-

※茨城県内 n=8、関東（茨城県以外） n=22、関東以外 n=12





図 70 居住地別の滞在場所（関東（茨城県以外） 平常時）



図 71 居住地別の滞在場所（関東以外 平常時）

4) グループ人数

A) 梅まつり期間

滞在場所は、1人グループは弘道館、2人グループは徳川ミュージアムでの滞在が多く、3人以上のグループは弘道館、徳川ミュージアム、茨城県立歴史館に滞在分散している。

滞在時間は、グループ人数による違いはあまり見られない。

表 18 グループ人数別の滞在場所及び滞在時間（梅まつり期間）

滞在場所	滞在延べ人数			平均滞在時間		
	1人	2人	3人以上	1人	2人	3人以上
弘道館	36	17	5	0:39	0:41	0:46
徳川ミュージアム	28	23	5	1:24	1:26	1:26
偕楽園（その他）	21	13	1	1:21	0:50	0:34
偕楽園（東門）	20	10	2	1:09	1:34	1:41
茨城県立歴史館	18	13	4	1:02	0:45	1:09
千波公園（徳川光圀像）	6	9	0	0:30	0:35	-
千波湖西側駐車場	6	6	0	1:00	1:33	-
南町自由広場	5	3	0	0:24	0:42	-
偕楽園（見晴亭）	3	0	2	0:48	-	1:13
偕楽園（好文亭表門）	3	2	0	0:50	0:41	-
水戸芸術館	3	0	0	0:22	-	-
偕楽園（桜山第二駐車場）	2	3	0	0:50	1:25	-
偕楽園（常磐神社駐車場）	2	3	0	0:29	0:43	-
ビレッジ310	2	1	2	0:49	0:35	1:13
茨城県近代美術館	2	0	0	1:37	-	-
茨城県護国神社	1	3	0	0:20	0:20	-
偕楽園（桜山第三駐車場）	0	3	0	-	0:52	-

※1人グループ n=86、2人グループ n=43、3人以上のグループ n=6



図 72 グループ人数別の滞在場所（1人グループ 梅まつり期間）



図 73 グループ人数別の滞在場所（2人グループ 梅まつり期間）



図 74 グループ人数別の滞在場所（3人以上のグループ 梅まつり期間）

B) 平常時

滞在場所は、2人グループは京成百貨店で滞が多いが、大きな差は見られない。

滞在時間は、サンプル数が少なく比較が困難ではあるが、グループ人数による違いはあまりないと考えられる。

表 19 グループ人数別の滞在場所及び滞在時間（平常時）

滞在場所	滞在延べ人数			平均滞在時間		
	1人	2人	3人以上	1人	2人	3人以上
偕楽園（東門）	7	5	0	1:16	1:01	-
弘道館	7	2	0	0:41	1:06	-
茨城県近代美術館	3	0	0	0:39	-	-
偕楽園（その他）	2	0	0	0:44	-	-
BOOKOFF50号水戸元吉田店	2	0	0	1:52	-	-
茨城県立図書館	2	0	0	2:11	-	-
桂岸寺（二十三夜尊）	2	0	0	1:17	-	-
徳川ミュージアム	2	0	0	0:34	-	-
偕楽園（好文亭表門）	2	0	0	0:46	-	-
京成百貨店	1	3	0	0:50	1:18	-
水戸市立博物館	1	1	0	1:02	0:45	-
偕楽園（好文亭）	1	1	0	1:48	0:32	-
水戸芸術館	1	1	0	1:19	0:26	-
茨城県庁	1	0	1	0:29	-	0:34
茨城県立歴史館	1	0	0	0:51	-	-
偕楽園（常磐神社駐車場）	1	0	0	0:39	-	-
黄門さんおしゃべりパーク	0	0	1	-	-	0:22

※1人グループ n=32、2人グループ n=8、3人以上のグループ n=3



図 75 グループ人数別の滞在場所 (1人グループ 平常時)





5) 貸出場所（自転車の種類）

A) 梅まつり期間

滞在場所は、北口貸出所（電動自転車）の利用者は、南口貸出所（普通自転車）の利用者よりも弘道館の利用が多い一方で、偕楽園（その他）の利用が少ない傾向にある。滞在時間は、大きな差は見られない。

また、貸出所別の滞在場所数の分布を図 78 に示す。北口貸出所の方が南口貸出所よりも分布は右寄りであり、滞在場所数が多い傾向にある。

表 20 貸出場所別（自転車の種類別）の滞在場所及び滞在時間（梅まつり期間）

滞在場所	滞在延べ人数		平均滞在時間	
	北口貸出所	南口貸出所	北口貸出所	南口貸出所
弘道館	45	13	0:41	0:38
徳川ミュージアム	38	18	1:22	1:31
茨城県立歴史館	27	8	0:56	0:56
偕楽園（東門）	22	10	1:14	1:29
偕楽園（その他）	14	21	1:00	1:14
千波公園（徳川光圀像）	9	6	0:32	0:34
千波湖西側駐車場	9	3	1:16	1:18
南町自由広場	8	0	0:30	—
ビレッヂ310	5	0	0:56	—
偕楽園（好文亭表門）	5	0	0:46	—
偕楽園（常磐神社駐車場）	5	0	0:38	—
偕楽園（見晴亭）	3	2	1:01	0:53
茨城県護国神社	2	2	0:22	0:17
偕楽園（桜山第二駐車場）	1	4	0:43	1:18
偕楽園（桜山第三駐車場）	1	2	0:19	1:09
水戸芸術館	1	2	0:26	0:21
茨城県近代美術館	0	2	—	1:37

※北口貸出所 n=67、南口貸出所 n=68

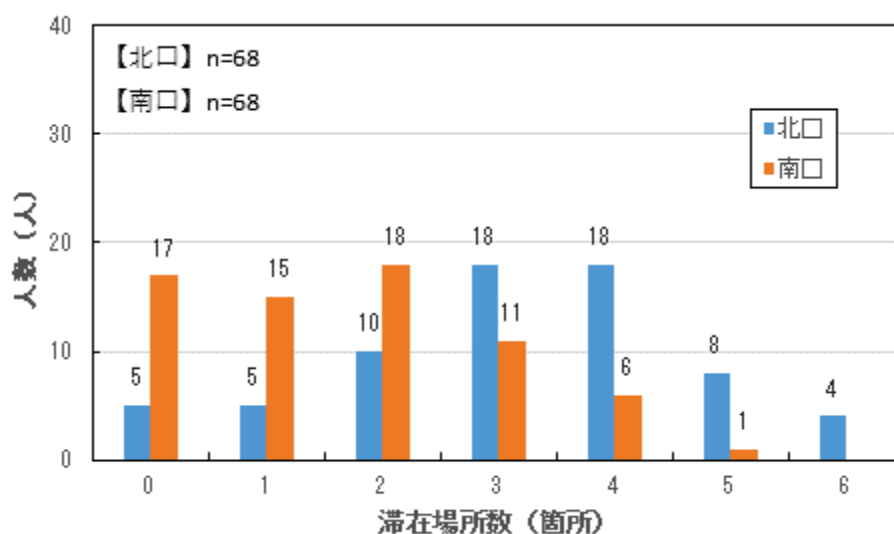


図 78 貸出場所別（自転車の種類別）の滞在場所数（梅まつり期間）



図 79 貸出場所別の滞在场所（北口貸出所（電動自転車） 梅まつり期間）



図 80 貸出場所別の滞在場所（南口貸出所（普通自転車） 梅まつり期間）

B) 平常時

滞在場所は、北口貸出所（電動自転車）の利用者は、南口貸出所（普通自転車）の利用者よりも弘道館の利用が多い一方で、偕楽園（その他）の利用が少ない傾向にある。滞在時間は、サンプル数が少なく比較が困難であるが、南口貸出所は偕楽園（東門）での滞在が30分以上短い。

また、貸出所別の滞在場所数の分布を図81に示す。北口貸出所は南口貸出所と比較すると、滞在場所が1箇所の利用者が多く、0箇所の利用者が少ない。

表 21 貸出場所別（自転車の種類別）の滞在場所及び滞在時間（平常時）

滞在場所	滞在延べ人数		平均滞在時間	
	北口貸出所	南口貸出所	北口貸出所	南口貸出所
弘道館	7	2	0:46	0:49
偕楽園（東門）	4	8	1:33	0:58
京成百貨店	4	0	1:11	－
茨城県近代美術館	2	1	0:40	0:38
偕楽園（その他）	2	0	0:44	－
茨城県立図書館	2	0	2:11	－
偕楽園（好文亭）	2	0	1:10	－
水戸芸術館	2	0	0:52	－
偕楽園（好文亭表門）	2	0	0:46	－
水戸市立博物館	1	1	0:45	1:02
BOOKOFF50号水戸元吉田店	1	1	1:34	2:09
桂岸寺（二十三夜尊）	1	1	2:12	0:23
徳川ミュージアム	1	1	0:33	0:35
茨城県庁	1	1	0:34	0:29
茨城県立歴史館	1	0	0:51	－
偕楽園（常磐神社駐車場）	1	0	0:39	－
黄門さんおしゃべりパーク	1	0	0:22	－

※北口貸出所 n=25、南口貸出所 n=18

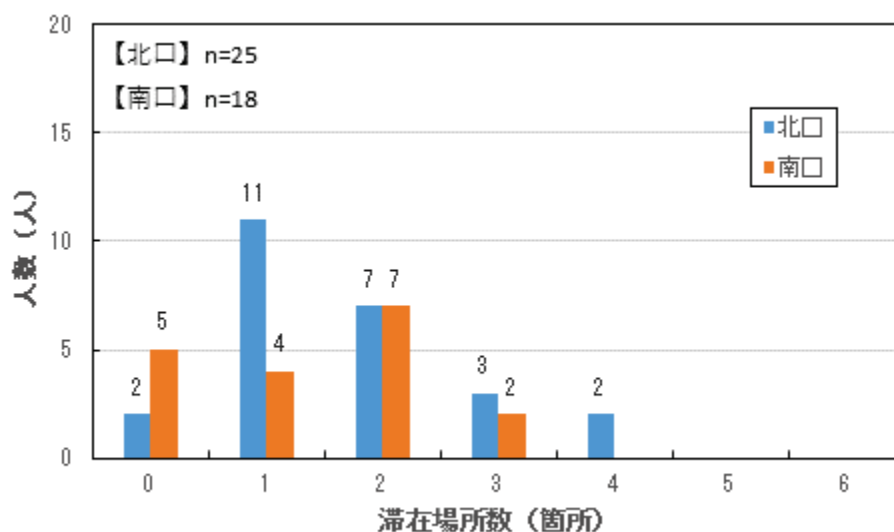


図 81 貸出場所別（自転車の種類別）の滞在場所数（平常時）



図 82 貸出場所別の滞在场所（北口貸出所（電動自転車） 平常時）



図 83 貸出場所別の滞在场所（南口貸出所（普通自転車） 平常時）

(3) 利用時間

1) 年齢

A) 梅まつり期間

10～20代、30～40代は、4時間以上と比較的長い利用が多い一方で、50代以上の利用者は、4時間未満の利用が少なく、比較的短い利用が多い。

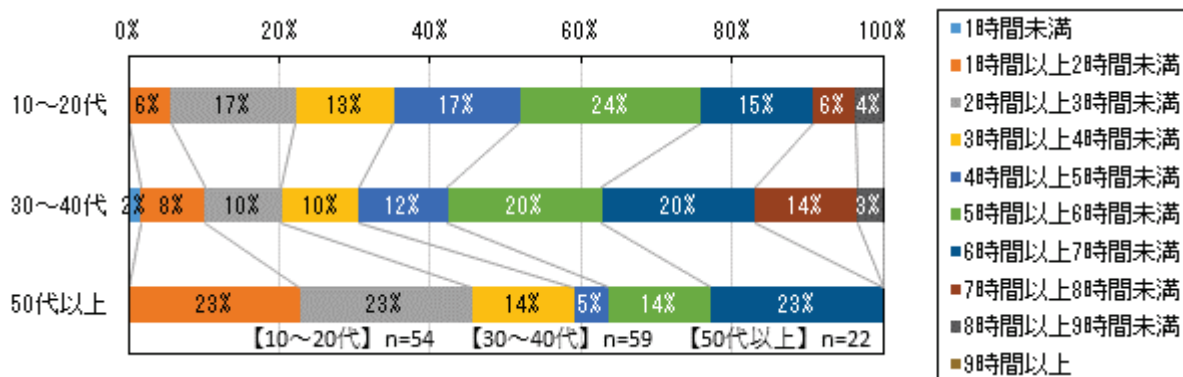


図 84 年齢別の利用時間（梅まつり期間）

B) 平常時

10～20代は2時間未満の短時間の利用が多く、30～40代は2時間未満の短時間の利用が少ない。30～40代は、4時間以上の長い利用が少ない。

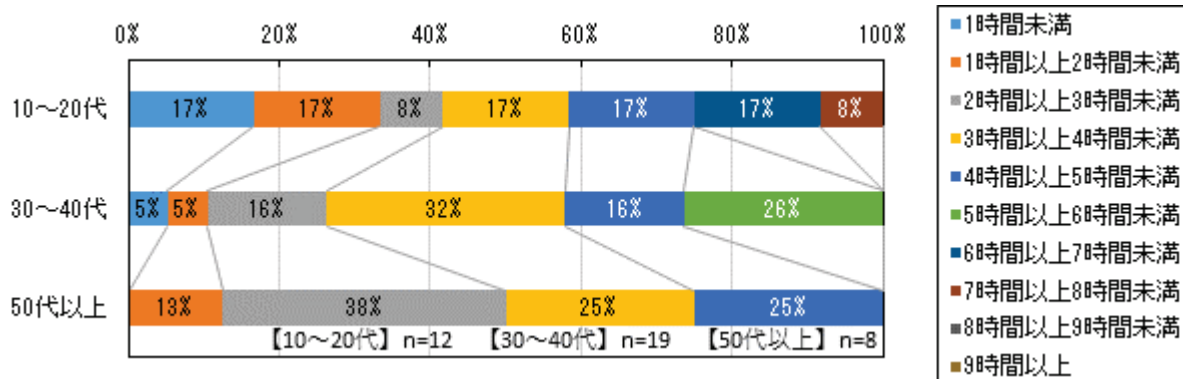


図 85 年齢別の利用時間（平常時）

2) 性別

A) 梅まつり期間

割合が多い利用時間をみると、男性は 2 時間以上 3 時間未満が 22%と最も多く、次いで 1 時間以上 2 時間未満が 17%である。一方、女性は 5 時間以上 6 時間未満が 29%と最も多く、次いで 6 時間以上 7 時間未満が 21%であり、女性の方が男性よりも利用時間が長い傾向にある。

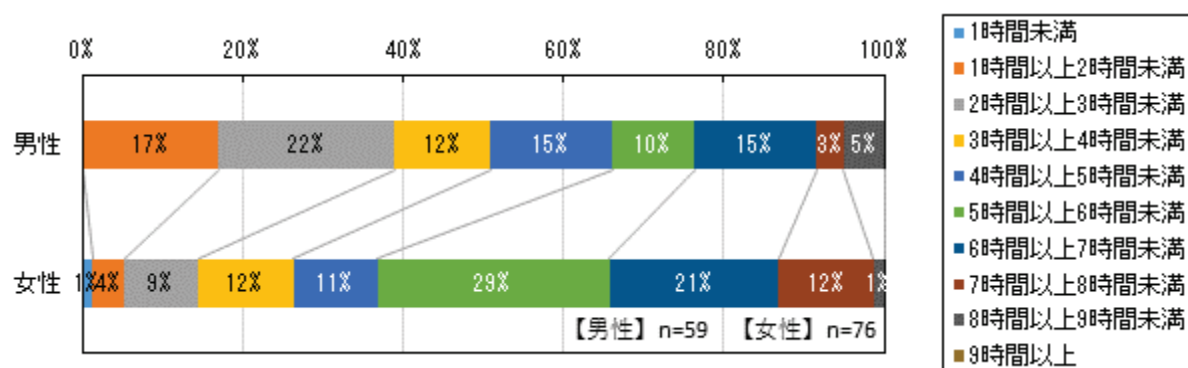


図 86 性別別の利用時間（梅まつり期間）

B) 平常時

男性は、3 時間以上の利用が 66%と多く、利用時間が長い傾向にある。一方、女性は 3 時間未満の利用が 58%と多く、利用時間が短い傾向にある。

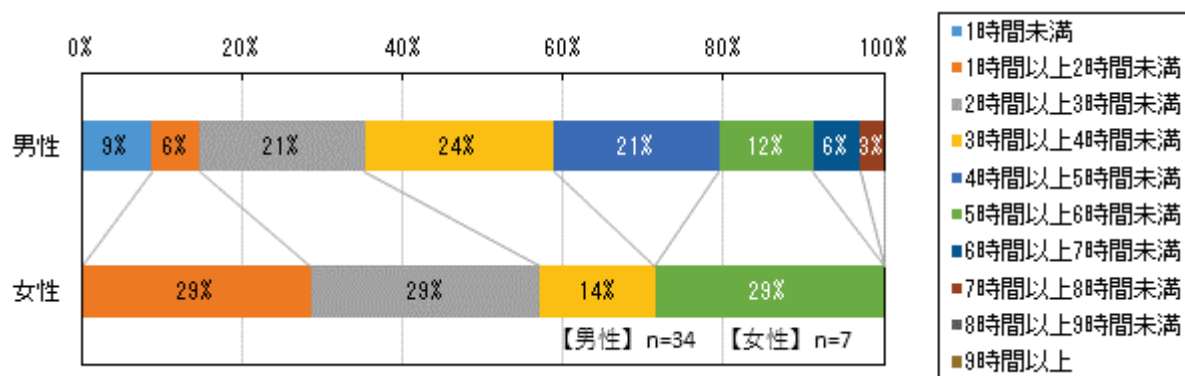


図 87 性別別の利用時間（平常時）

3) 居住地

A) 梅まつり期間

4 時間以上の利用は、関東以外、関東（茨城県以外）、茨城県内の順に割合が多くなり、居住地が水戸市から遠いほど利用時間が長い傾向にある。

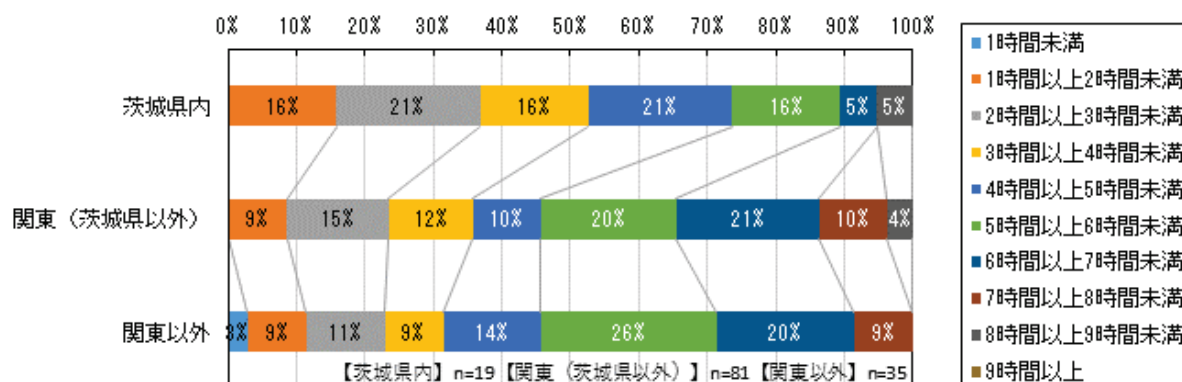


図 88 年齢別の利用時間（梅まつり期間）

B) 平常時

4 時間以上の利用は、関東以外、関東（茨城県以外）、茨城県内の順に割合が多くなり、居住地が水戸市から遠いほど利用時間が長い傾向にある。

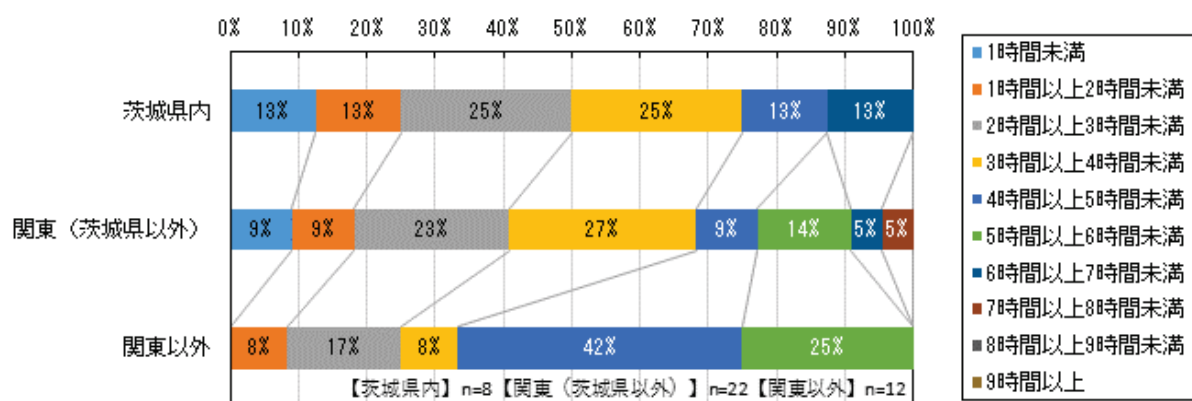


図 89 年齢別の利用時間（平常時）

4) グループ人数

A) 梅まつり期間

4 時間以上の利用は 3 人以上、2 人、1 人の順に多く、グループ人数が多いほど利用時間が長い傾向にある。

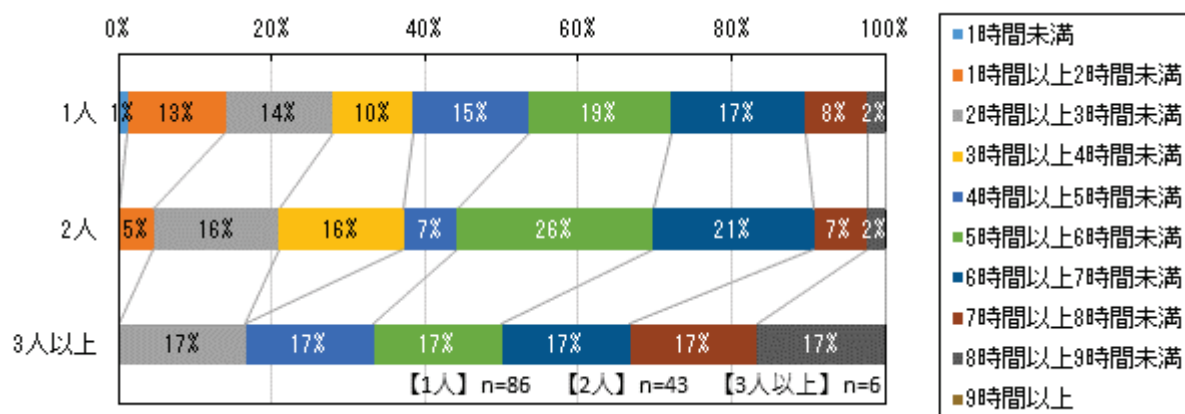


図 90 グループ人数別の利用時間（梅まつり期間）

B) 平常時

1 人グループは、利用時間の分布が比較的均一であるが、2 人グループは 3 時間未満の短い利用が少なく、4 時間以上の長い時間の利用が多い。

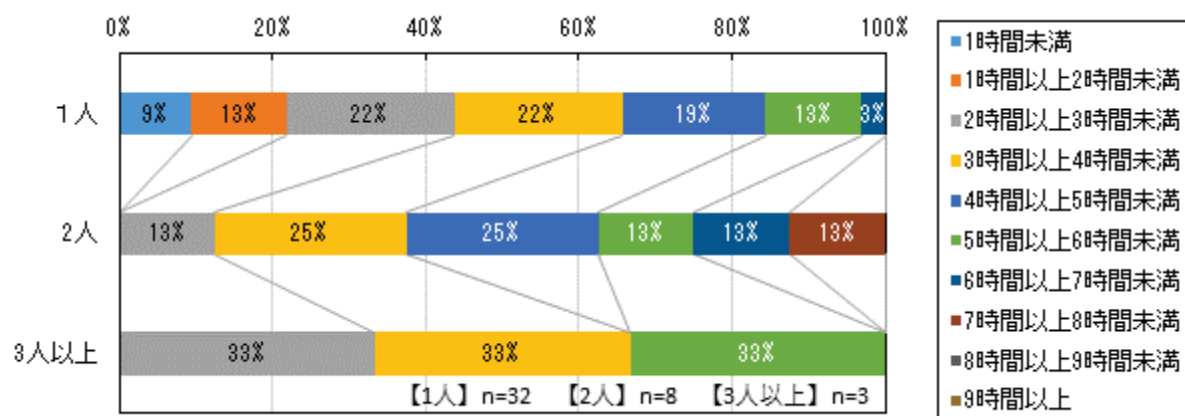


図 91 グループ人数別の利用時間（平常時）

5) 貸出場所（自転車の種類）

A) 梅まつり期間

北口貸出所の利用者は利用時間が長い傾向にあり、逆に南口貸出所の利用者は利用時間が短い傾向にある。これは、調査対象車両が、北口は電動自転車、南口は普通自転車であることによるものと考えられる。

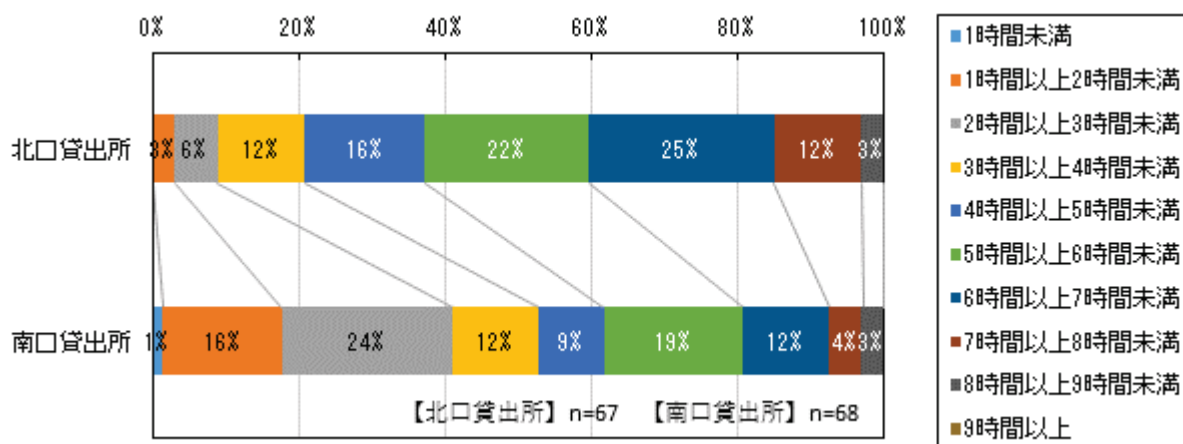


図 92 貸出場所別（自転車の種類別）の利用時間（梅まつり期間）

B) 平常時

北口貸出所の利用者は利用時間が長い傾向にあり、逆に南口貸出所の利用者は利用時間が短い傾向にある。これは、調査対象車両が、北口は電動自転車、南口は普通自転車であることによるものと考えられる。

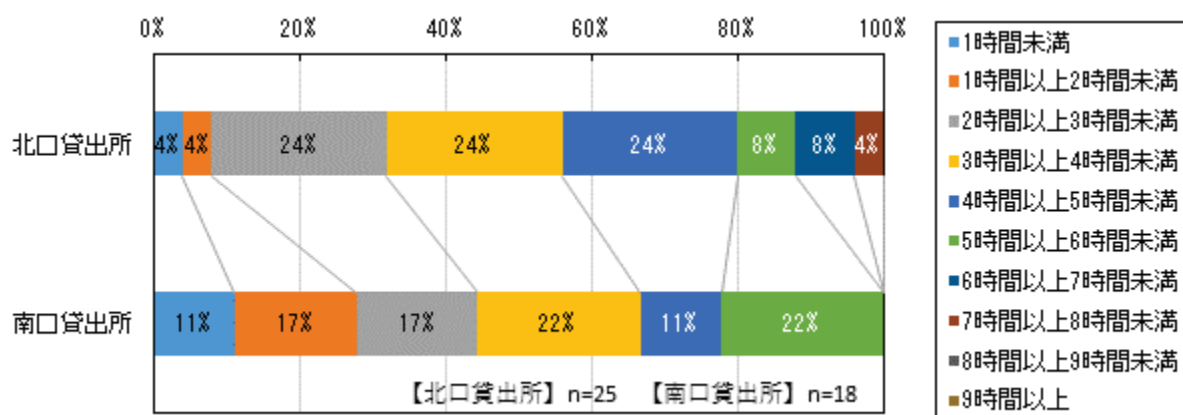


図 93 貸出場所別（自転車の種類別）の利用時間（平常時）

(4) 利用時間帯

1) 年齢

A) 梅まつり期間

利用時間帯の分布は、50代以上の利用者がばらついている。

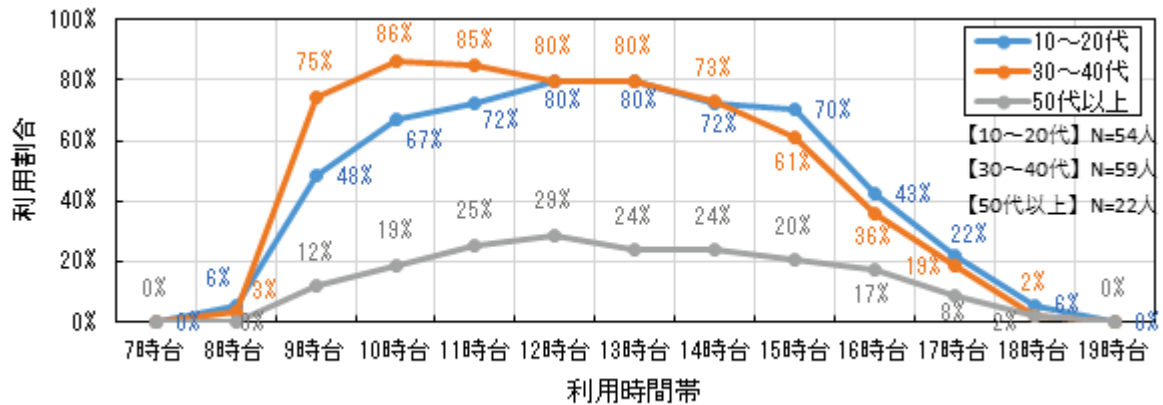


図 94 年齢別の利用時間帯（梅まつり期間）

B) 平常時

利用時間のピークは、10～20代が11時台～12時台で67%と午前中であるのに対し、30～40代は14時台で95%と遅い。50代以上は、13時台が32%とピークであるが、時間による分布に偏りが少ない。

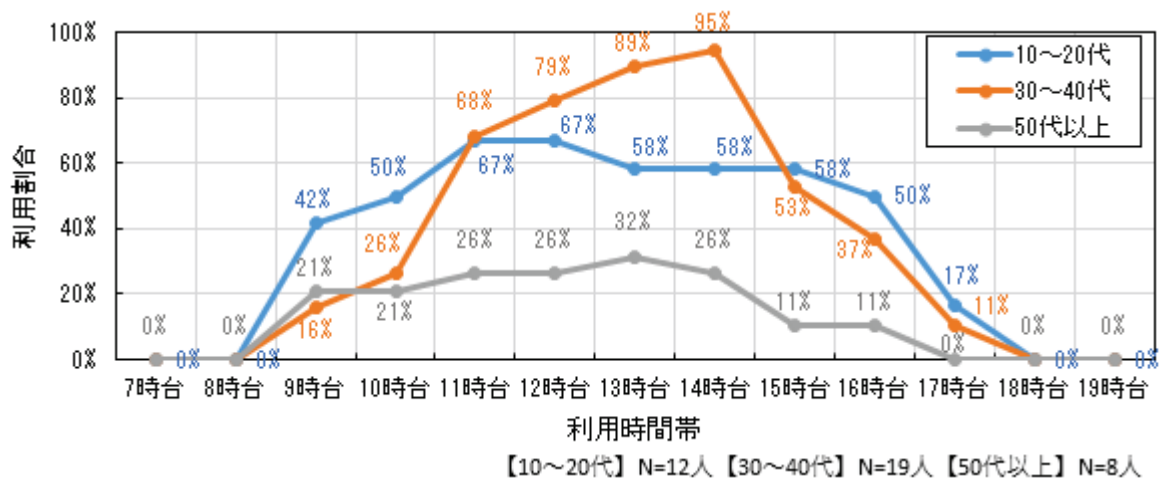


図 95 年齢別の利用時間帯（平常時）

2) 性別

A) 梅まつり期間

女性の方が男性よりも12時以降での利用が多い。

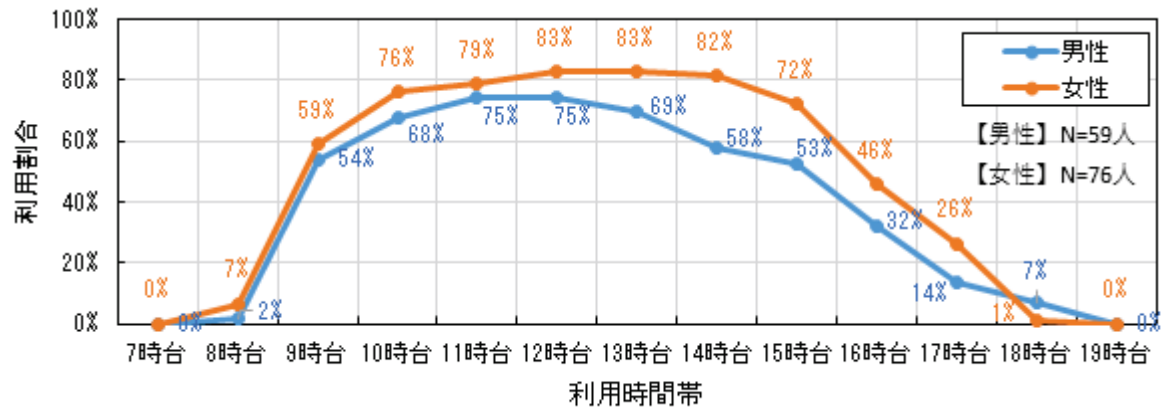


図 96 性別別の利用時間帯（梅まつり期間）

B) 平常時

男性は12時以降の利用が多い一方で、女性は12時以前の利用が多い。

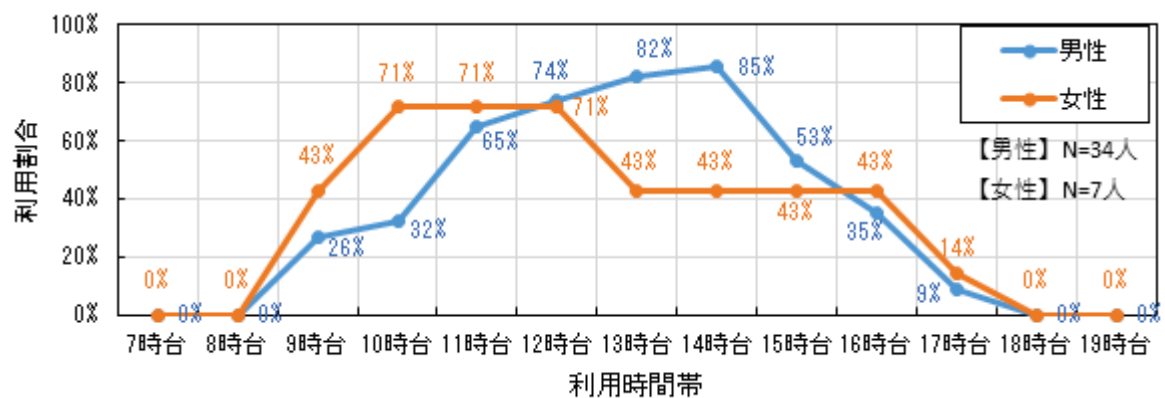


図 97 性別別の利用時間帯（平常時）

3) 居住地

A) 梅まつり期間

茨城県内の利用者は午前中の利用が少なく 14 時台でピークとなるが、関東（茨城以外）の利用者は午前中（10 時台～12 時台）の利用が多く、関東以外の利用者は、正午付近（11 時台～13 時台）の利用が多い。居住地が水戸市から遠いほど、利用時間帯は早い傾向にある。

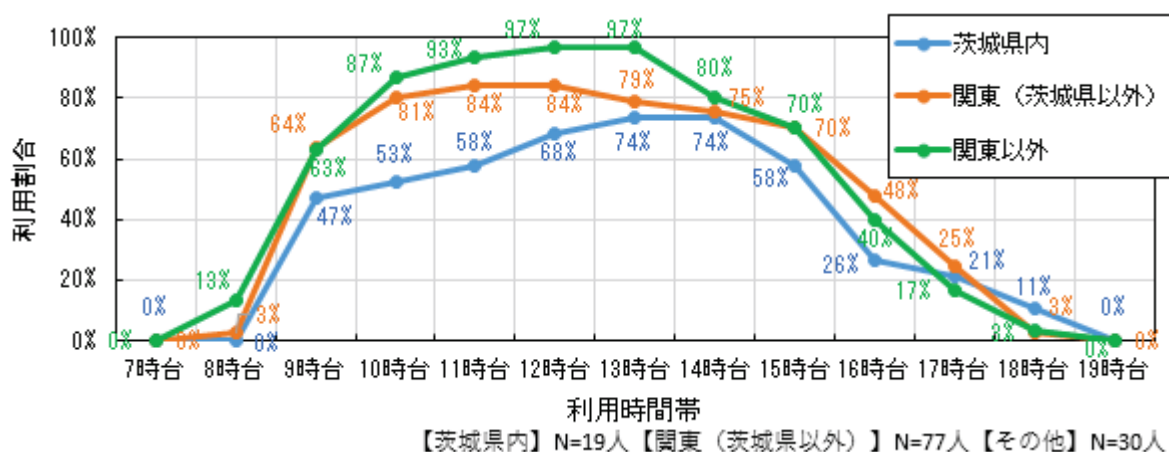


図 98 居住地別の利用時間帯（梅まつり期間）

B) 平常時

利用のピーク時間帯は、茨城県内が 14 時台、関東（茨城県以外）が 13 時台～14 時台、関東以外が 11 時台～13 時台であり、居住地が水戸市から離れるほど、利用時間帯が早い傾向にある。また、茨城県内は 13 時台で一度利用割合が減少していることから、半日の利用者が多くいると考えられる。

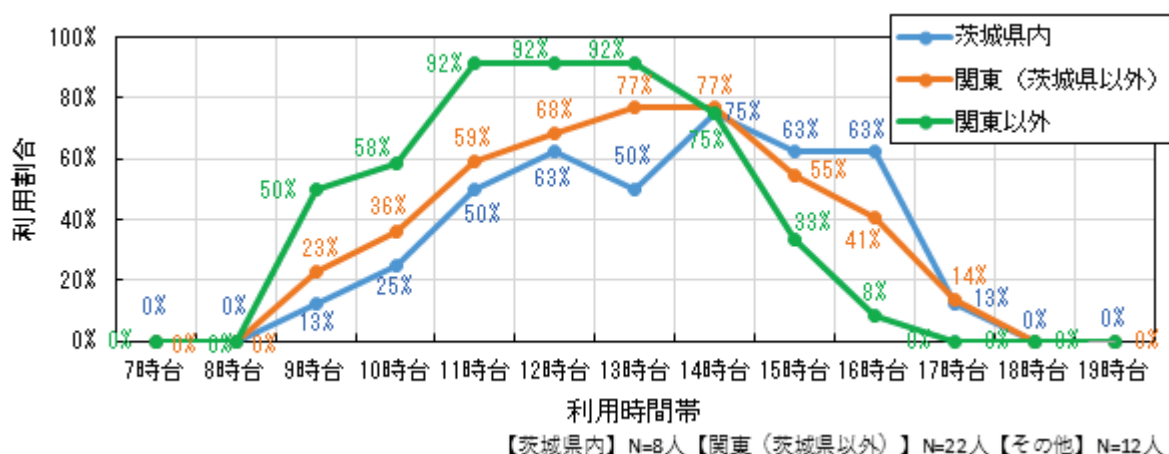


図 99 居住地別の利用時間帯（平常時）

4) グループ人数

A) 梅まつり期間

1 人の利用者と比較すると、2 人の利用者は 10 時台～15 時台で均等に利用が多く、3 人以上の利用者は、12 時台～14 時台に利用が特に集中している。

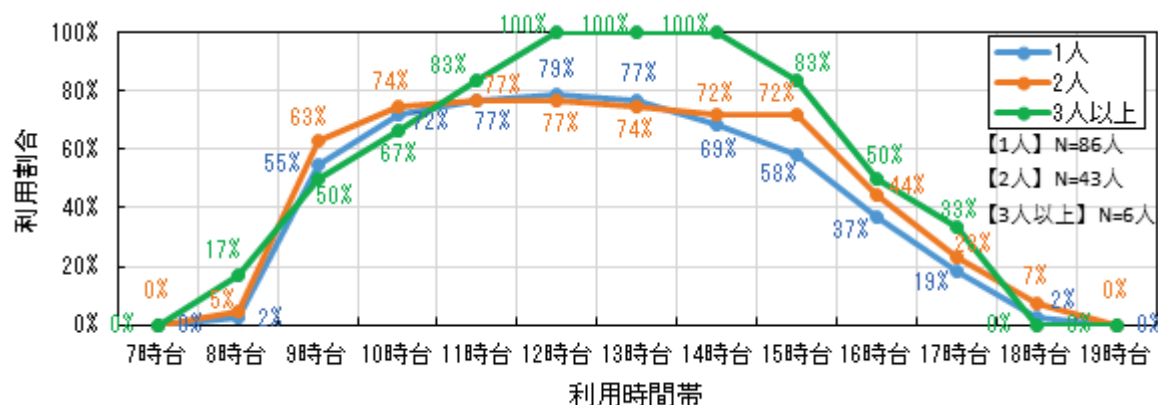


図 100 グループ人数別の利用時間帯（梅まつり期間）

B) 平常時

1 人の利用者と比較すると、2 人の利用者は 12 時台～14 時台で均等に利用が多く、3 人以上の利用者は、14 時台に利用が特に集中している。

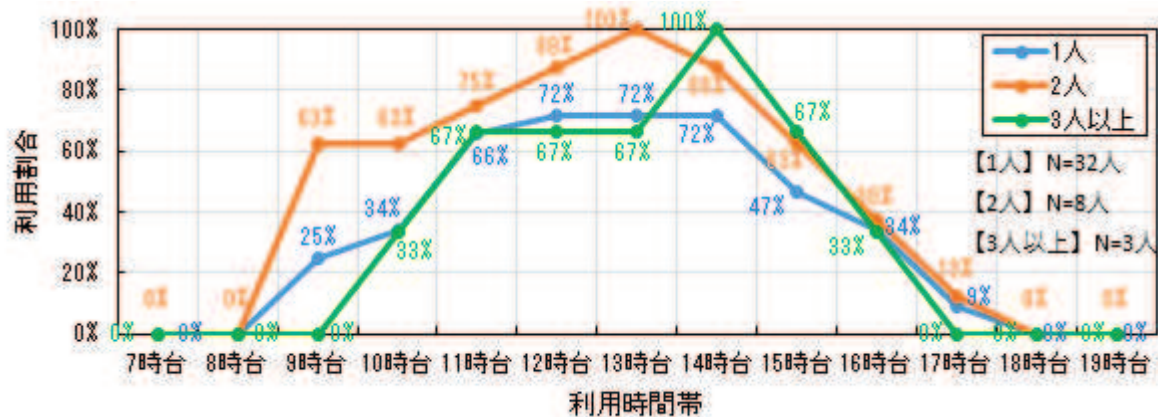


図 101 グループ人数別の利用時間帯（平常時）

5) 貸出場所（自転車の種類）

A) 梅まつり期間

北口貸出所（電動自転車）の利用者の方が、南口貸出所（普通自転車）の利用者よりも利用時間が早い傾向にある。

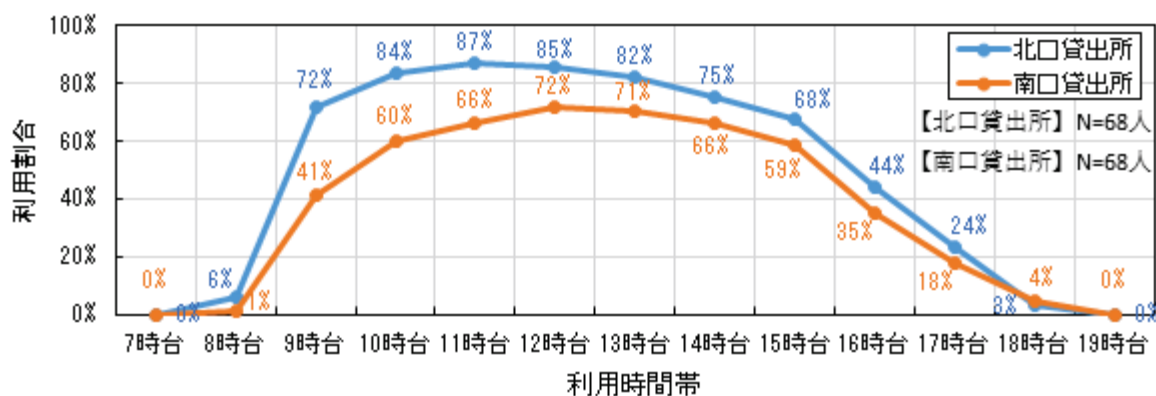


図 102 貸出場所別（自転車の種類別）の利用時間帯（梅まつり期間）

B) 平常時

北口貸出所（電動自転車）の利用者と南口貸出所（普通自転車）の利用者では、分布の傾向は類似しているが、北口貸出所（電動自転車）の方が 12 時台～14 時台に利用が集中している。

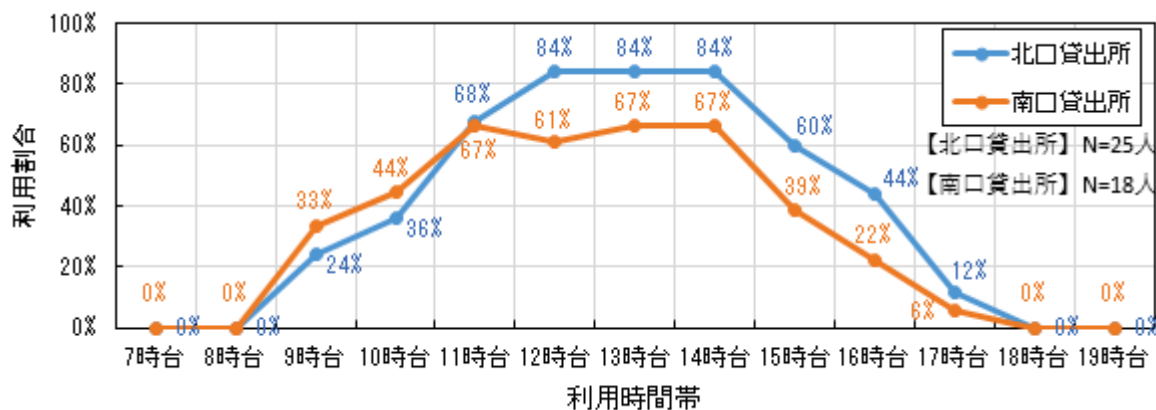


図 103 貸出場所別（自転車の種類別）の利用時間帯（平常時）

(5) 属性別集計のまとめ

前頁までの属性別の集計結果について、以下の表にまとめた。

			属性				
			性別	年齢	居住地	グループ人数	貸出場所（自転車の種類）
			男性の方が、女性と比較して行動範囲が広く、また経路に多様性が見られる。	30～40代の行動範囲は、他の年代に比べて行動範囲が広い。	茨城県内の利用者は、大通りを通る傾向がある。関東（茨城県以外）の利用者は経路に多様性が見られる。関東以外利用者は、概ね水戸駅・偕楽園臨時駅周辺の移動経路が集中している。	グループ人数が多いほど行動範囲は狭まり、大通りを通る傾向にある。	北口貸出所の利用者は、南口貸出所の利用者よりも大通りを通る傾向にある。
調査項目	移動経路	梅まつり期間		若年層の方が行動範囲は広い。			北口貸出所の利用者は、南口貸出所の利用者よりも比較的幅員が狭い通りを通る傾向にある。
		平常時					
	滞在場所	梅まつり期間	弘道館、徳川ミュージアム、茨城県立歴史館で、特に女性が多く滞在する傾向にある。	50代以上は、弘道館、偕楽園（その他）に多く滞在する傾向にある。	関東以外利用者は、茨城県立歴史館での滞在人数が少ない傾向にある。	1人グループは弘道館、2人グループは徳川ミュージアムでの滞在が多く、3人以上のグループは弘道館、徳川ミュージアム、茨城県立歴史館に滞在分散している。	北口の利用者は、南口の利用者よりも弘道館の利用が多い一方で、偕楽園（その他）の利用が少ない傾向にある。
		平常時	男性、女性ともに偕楽園（東門）、弘道館が多い。また、男性は、観光施設以外への滞在もみられる。	10～20代は商業施設が多い。30～40代は観光施設が多いが、図書館や官庁への滞在もあった。50代以上は、ほとんどが観光施設である。	茨城県内は観光施設への滞在が少なく、それ以外は主に観光施設への滞在が多い。	大きな差は見られない。	
	滞在時間	梅まつり期間	偕楽園（その他）、茨城県立歴史館で、男性が女性よりも滞在時間が長く、反対に徳川ミュージアム、千波湖西側駐車場、女性男性よりも滞在時間が長い。	茨城県立歴史館では50代以上が長く、ピレッジ310では10～20代が長い傾向にある。	大きな差は見られない。	大きな差は見られない。	大きな差は見られない。
		平常時	大きな差は見られない。	30～40代が比較的長い傾向にある。	茨城県内が短く、関東（茨城県以外）が長い傾向にある。		
	利用時間	梅まつり期間	男性は利用時間が短く、女性は利用時間が長い傾向にある。	10～20代、30～40代は比較的長い時間の利用が多く、50代以上は比較的短い利用が多い。	居住地が水戸市から遠いほど、利用時間が長い傾向にある。	グループ人数が多いほど利用時間が長い傾向にある。	北口貸出所の利用者は、利用時間が長く、逆に南口貸出所の利用者は利用時間が短い傾向にある。
		平常時	男性は利用時間が長く、女性は利用時間が短い傾向にある。	利用時間帯の分布は、50代以上の利用者がばらついている。		1人の利用者と比較すると、2人の利用者は12時台～14時台で均等に利用が多く、3人以上の利用者は14時台に利用が特に集中している。	分布の傾向は類似しているが、北口貸出所の方が12時台～14時台に利用が集中している。
	利用時間帯	梅まつり期間	女性の方が男性よりも12時以降での利用が多い。	利用時間帯の分布は、50代以上の利用者がばらついている。	居住地が水戸市から遠いほど、利用時間帯は早い傾向にある。	1人の利用者と比較すると、2人の利用者は10時台～15時台で均等に利用が多く、3人以上の利用者は、12時台～14時台に利用が特に集中している。	北口貸出所の利用者の方が、南口貸出所の利用者よりも利用時間が早い傾向にある。
		平常時	男性の方が女性よりも12時以降での利用が多い。			1人の利用者と比較すると、2人の利用者は12時台～14時台で均等に利用が多く、3人以上の利用者は、14時台に利用が特に集中している。	分布の傾向は類似しているが、北口貸出所の方が12時台～14時台に利用が集中している。

5.11. 水戸の梅まつり期間と平常時の利用実態のまとめ

前項まで、水戸の梅まつり期間と平常時の利用実態調査結果についてまとめた。その中で特に特徴的な結果を以下にまとめた。

(1) 移動経路

2つの調査期間では、属性による傾向は概ね同じであり、以下のとおりである。

- ・ 行動範囲は男性の方が広く、経路の多様性がある。
- ・ 30～40代は特に行動範囲が広い。
- ・ 茨城県内の利用者は、大通りを通る傾向がある。
- ・ 関東以外の利用者は、水戸駅・偕楽園臨時駅周辺に経路が集中している。
- ・ グループ人数が多いほど、行動範囲は狭まり、大通りを通る傾向にある。

(2) 滞在場所

2つの調査期間では、滞在場所について、以下のような違いがみられた。

【平常時】

- ・ 男性は、観光施設以外への滞在も見られた。

【梅まつり期間】

- ・ 弘道館、徳川ミュージアム、茨城県立歴史館など、特に女性の滞在が多い箇所が存在する。

(3) 滞在時間

2つの調査期間では、属性による滞在時間の違いはみられなかった。

(4) 利用時間

2つの調査期間では、属性による傾向は概ね同じであり、以下のとおりである。

- ・ 居住地が水戸市から遠いほど、利用時間が長い傾向にある。
- ・ グループ人数が多いほど利用時間が長い傾向にある。
- ・ 北口貸出所（電動自転車）の利用者は、利用時間が長く、逆に南口貸出所（普通自転車）の利用者は利用時間が短い傾向にある。

ただし、利用時間については、以下のとおり、違いがみられた。

- ・ 利用時間は、梅まつり期間は女性の方が長い、平常時は男性の方が長い傾向にある。

(5) 利用目的の整理

利用目的が観光以外と考えられる利用者は、梅まつり期間で 13 人（9%）、平常時で 17 人（40%）と期間に関係なく一定数いることが分かった。また、利用目的が観光以外と考えられる利用者の属性の特徴は、以下の通りである。

- ・ 30 代以下が多く、全体の利用者の年齢構成と比較すると、10 代割合が多い。
- ・ 性別は男性が多い（梅まつり期間で 67%、平常時で 88%）。
- ・ 茨城県内の利用者が多く、水戸市内の利用者も見られた。
- ・ ほとんどの利用者は 1 人での利用である（梅まつり期間で 92%、平常時で 82%）。

この結果から、当該地域において、観光目的以外の日常利用目的（ビジネス、買い物目的）での利用の需要が一定数あることが分かった。

(6) 利用時間帯

2 つの調査期間では、属性による傾向は概ね同じであり、以下のとおりである。

- ・ 12 時以降の利用は、梅まつり期間は女性の方が多く、平常時は男性の方が多い傾向にある。
- ・ 居住地が水戸市から遠いほど、利用時間帯は早い傾向にある。